

Ⅱ. 調査結果の分析

1. 定住意向について

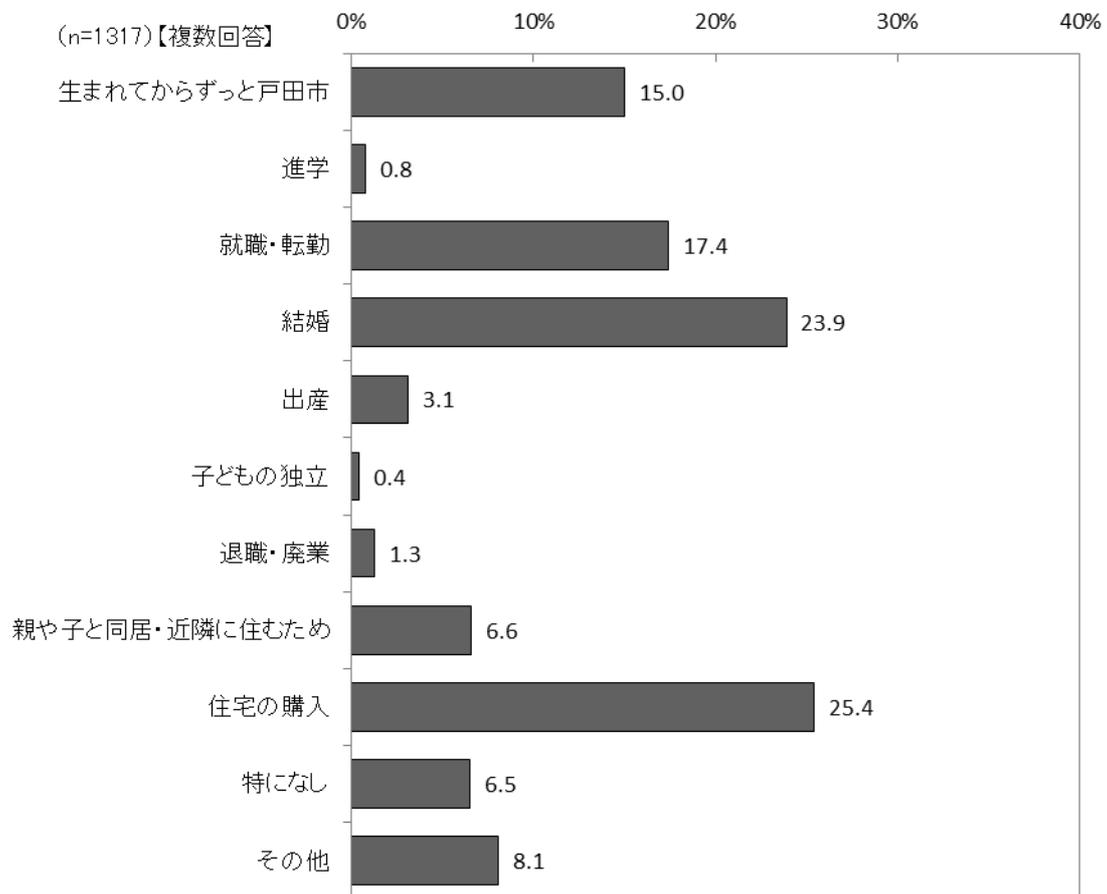
(1) 戸田市に移転したきっかけ

問 16 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市に住むことを決めた直接の理由(複数回答)については、「住宅の購入」が25.4%と最も高く、次いで「結婚」が23.9%となっています。
- ・また、「生まれてからずっと戸田市」は15.0%となっています。

図表 25 戸田市に移転したきっかけ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「就職・転勤」が女性より 8.2 ポイント高くなっており、一方、女性は「結婚」が男性と比べて 11.0 ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「生まれてからずっと戸田市」が高く、30 歳代と 40 歳代は、「結婚」が高くなっています。また、「住宅の購入」は 50 歳代以上で高くなっており、特に 70 歳以上では 40.1%と他の年代よりも高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「結婚」が多いのは上戸田 2 地区及び新曽地区でした。また、「住宅の購入」は下戸田 2 地区で 39.8%と他の地区に比べて特に高くなっています。

図表 26 戸田市に移転したきっかけ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		と生 戸 ま れ て か ら ず っ	進 学	就 職 ・ 転 勤	結 婚	出 産	子 ど も の 独 立	退 職 ・ 廃 業	隣 親 に や 子 と 同 居 ・ 近	住 宅 の 購 入	特 に な し	そ の 他
全体(1,317)		15.0	0.8	17.4	23.9	3.1	0.4	1.3	6.6	25.4	6.5	8.1
性別	男性(562)	16.4	0.7	22.1	17.6	2.8	0.2	2.3	5.7	26.7	6.8	7.5
	女性(755)	13.9	0.8	13.9	28.6	3.3	0.5	0.5	7.3	24.5	6.2	8.6
年齢別	16～19歳(32)	56.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	12.5
	20～29歳(129)	30.2	2.3	21.7	15.5	0.8	0.0	0.0	7.0	9.3	6.2	7.8
	30～39歳(262)	12.6	0.4	18.7	32.4	6.1	0.0	0.8	4.2	21.4	4.2	6.1
	40～49歳(278)	14.0	0.7	18.7	30.2	3.6	0.0	0.4	7.6	22.3	5.8	5.4
	50～59歳(192)	9.9	1.0	18.2	20.8	1.6	0.5	1.6	6.8	28.6	7.3	9.9
	60～69歳(202)	10.9	1.0	14.9	21.8	5.0	1.5	3.0	9.4	28.2	8.9	10.4
	70歳以上(222)	12.2	0.0	14.0	18.9	0.5	0.5	2.3	5.4	40.1	8.1	9.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	13.9	0.6	15.2	22.4	2.4	0.6	1.2	9.1	21.2	6.7	12.1
	下戸田2地区(251)	12.4	1.2	12.0	22.3	4.0	0.0	1.2	6.4	39.8	4.4	6.0
	上戸田1地区(142)	16.9	0.7	17.6	23.2	4.2	0.0	2.8	4.9	23.9	6.3	8.5
	上戸田2地区(195)	13.3	1.5	21.0	28.2	3.1	0.0	1.0	7.7	21.0	6.7	5.6
	新曽地区(279)	15.8	0.0	19.4	25.8	2.5	1.1	0.7	5.7	20.4	6.8	6.8
	笹目地区(164)	17.7	0.6	19.5	23.8	3.0	0.0	2.4	8.5	23.8	4.9	7.9
	美女木地区(121)	16.5	0.8	18.2	19.0	2.5	0.8	0.0	3.3	24.0	11.6	14.0

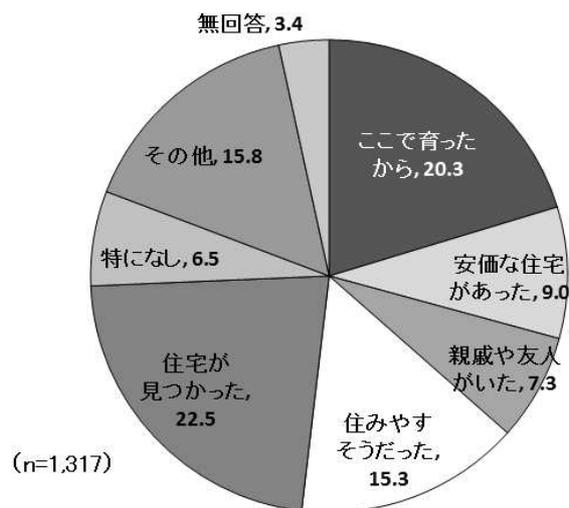
(2) 戸田市に住んでいる理由

問 17 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・ 戸田市に住んでいる理由については、「住宅が見つかった」が 22.5%と最も高く、次いで「ここで育ったから」が、20.3%となっています。

図表 27 戸田市に住んでいる理由(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・ 年齢別にみると、10歳代と20歳代及び40歳代で「ここで育ったから」が高くなっています。
- ・ 30歳代と40歳代は「比較的安価な住宅があったから」と「住みやすそうだったから」が他の年代と比べて高い傾向となっています。
- ・ 60歳代及び70歳以上では、「親戚や友人がいたから」の割合が他の年代より高くなっています。
- ・ 「たまたま住宅が見つかったから」については、年齢が上がるほど高くなっています。
- ・ 「特になし」については、20歳代、30歳代及び40歳代で低くなっています。
- ・ 居住地区別でみると、下戸田1地区及び下戸田2地区は「たまたま住宅が見つかったから」が高くなっています。また、笹目地区及び美女木地区では「ここで育ったから」が高くなっています。

図表 28 戸田市に住んでいる理由(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		こ こ で 育 つ た か ら	が あ ら な か ら	比 較 的 に 安 い か ら	親 戚 や 友 人 が い た か ら	住 み や す さ う だ つ た か ら	つ ま ま た ま ま の 住 宅 が 見 つ か れ た か ら	特 に な し	そ の 他	無 回 答
全体(1,317)		20.3	9.0	7.3	15.3	22.5	6.5	15.8	3.4	
性別	男性(562)	21.9	9.6	6.0	16.0	22.1	7.7	13.9	2.8	
	女性(755)	19.1	8.5	8.2	14.7	22.8	5.7	17.2	3.8	
年齢別	16～19歳(32)	71.9	0.0	3.1	3.1	6.3	12.5	0.0	3.1	
	20～29歳(129)	45.7	10.9	2.3	14.0	12.4	2.3	11.6	0.8	
	30～39歳(262)	13.4	14.5	6.1	23.7	17.9	2.3	16.8	5.3	
	40～49歳(278)	21.2	12.2	6.1	19.1	22.3	3.2	14.7	1.1	
	50～59歳(192)	18.8	6.8	5.7	13.5	22.9	10.4	17.2	4.7	
	60～69歳(202)	12.9	5.0	9.4	10.9	28.2	10.4	20.3	3.0	
	70歳以上(222)	13.1	4.1	13.1	8.6	30.6	10.4	15.3	5.0	
居住地区別	下戸田1地区(165)	21.8	8.5	8.5	15.8	24.2	7.9	12.1	1.2	
	下戸田2地区(251)	16.3	8.0	5.6	15.9	29.1	4.8	15.9	4.4	
	上戸田1地区(142)	21.1	7.7	9.9	16.2	16.2	8.5	17.6	2.8	
	上戸田2地区(195)	16.9	10.3	7.7	16.9	19.5	4.1	19.5	5.1	
	新曽地区(279)	19.4	11.1	7.2	17.9	21.1	4.7	16.5	2.2	
	笹目地区(164)	26.2	6.7	7.3	11.0	22.0	11.0	12.8	3.0	
	美女木地区(121)	24.8	9.1	5.8	9.1	22.3	8.3	14.9	5.8	

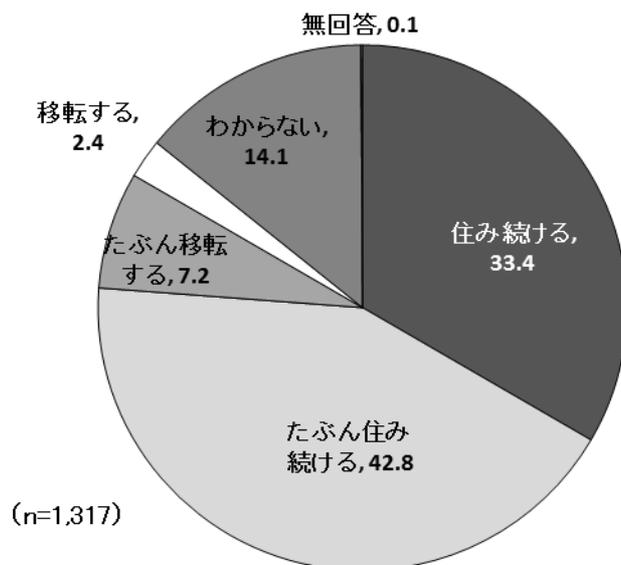
(3) 戸田市に住み続けたいか

問 18 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると 76.2%となっています。一方、「たぶん移転する」と「移転する」を合わせると 9.6%となっています。

図表 29 戸田市に住み続けたいか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「住み続ける」については、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られます。一方、「たぶん移転する」「移転する」をみると、いずれも10歳代及び20歳代で高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区で「住み続ける」が高くなっています。

図表 30 戸田市に住み続けたいか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	無回答
全体(1,317)		33.4	42.8	7.2	2.4	14.1	0.1
性別	男性(562)	33.1	43.1	8.0	3.4	12.5	0.0
	女性(755)	33.6	42.6	6.6	1.6	15.4	0.1
年齢別	16～19歳(32)	9.4	37.5	28.1	3.1	21.9	0.0
	20～29歳(129)	17.1	34.9	23.3	5.4	19.4	0.0
	30～39歳(262)	22.5	45.8	9.5	4.6	17.6	0.0
	40～49歳(278)	30.6	51.8	5.0	1.1	11.5	0.0
	50～59歳(192)	29.2	48.4	4.2	2.6	15.6	0.0
	60～69歳(202)	38.6	39.6	3.5	1.5	16.8	0.0
	70歳以上(222)	61.7	31.5	0.9	0.0	5.4	0.5
居住地区別	下戸田1地区(165)	29.1	46.1	5.5	3.6	15.8	0.0
	下戸田2地区(251)	33.5	48.2	5.6	1.2	11.6	0.0
	上戸田1地区(142)	36.6	33.1	9.9	1.4	19.0	0.0
	上戸田2地区(195)	32.8	43.1	8.2	1.0	14.9	0.0
	新曽地区(279)	26.2	47.7	8.2	4.3	13.3	0.4
	笹目地区(164)	39.6	39.0	6.7	1.2	13.4	0.0
	美女木地区(121)	44.6	32.2	6.6	3.3	13.2	0.0

2. 健康づくりについて

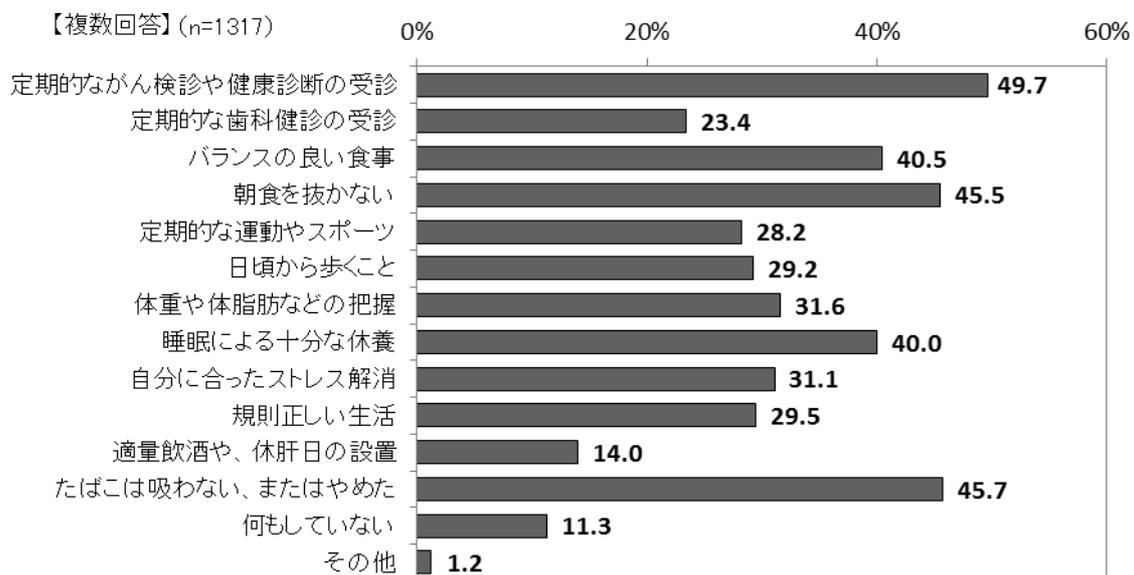
(1) 健康のために留意していること

問 19 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- 健康のために留意していることについては、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が49.7%と最も高く、次いで、「たばこは吸わない、またはやめた」(45.7%)、「朝食を抜かない」(45.5%)となっています。一方、「何もしていない」は、「その他」を除けば11.3%と最も低くなっています。

図表 31 健康のために留意していること(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男女とも「定期的ながん検診や健康診断の受診」が最も高くなっています。また、男性は女性に比べ、「定期的な運動やスポーツ」、「適量飲酒や、休肝日の設置」が高く、女性は男性に比べ、「定期的な歯科検診の受診」、「バランスの良い食事」、「規則正しい生活」が高くなっています。
- 年齢別にみると、「何もしていない」を除き、年齢が上がるにつれて高くなる傾向があります。「何もしていない」については、年齢が上がるにつれて低くなっています。また、16～19歳は「定期的ながん検診や健康診断の受診」は0.0%となっています。
- 居住地区別にみると、下戸田1地区を除く全ての居住地区で「定期的ながん検診や健康診断の受診」、「朝食を抜かない」、「たばこは吸わない、またはやめた」が上位3位までに入っています。一方、他の地域に比べ、下戸田1地区は、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が低く、「何もしていない」が高くなっています。

図表 32 健康のために留意していること(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置、適量飲酒や、	たばこは吸わない、またはやめた	何もしていない	その他
全体(1,317)		49.7	23.4	40.5	45.5	28.2	29.2	31.6	40.0	31.1	29.5	14.0	45.7	11.3	1.2
性別	男性(562)	49.5	19.4	33.6	41.5	34.7	30.2	28.6	38.6	29.0	24.0	19.0	47.7	13.7	0.9
	女性(755)	49.9	26.4	45.7	48.5	23.4	28.5	33.8	41.1	32.7	33.5	10.2	44.2	9.5	1.5
年齢別	16～19歳(32)	0.0	6.3	31.3	53.1	21.9	15.6	15.6	37.5	31.3	15.6	3.1	15.6	18.8	0.0
	20～29歳(129)	22.5	16.3	30.2	31.8	23.3	19.4	27.1	39.5	32.6	24.0	16.3	40.3	16.3	0.0
	30～39歳(262)	42.0	17.6	35.1	39.3	23.3	21.8	25.6	44.7	30.5	30.5	14.9	45.4	11.5	0.4
	40～49歳(278)	57.2	19.8	37.1	43.5	27.3	24.5	34.5	36.3	32.7	22.7	12.9	47.1	10.1	0.0
	50～59歳(192)	53.6	20.3	44.3	40.6	33.9	25.5	29.7	31.8	27.6	23.4	14.6	40.1	13.0	2.6
	60～69歳(202)	57.9	35.1	48.5	48.0	30.7	41.1	43.1	40.6	36.1	36.6	15.3	50.0	8.9	1.5
	70歳以上(222)	61.7	33.3	48.2	64.0	32.0	44.1	31.1	46.4	27.5	40.5	12.6	52.7	9.5	3.2
居住地区別	下戸田1地区(165)	38.8	21.8	41.2	46.7	26.7	27.9	27.9	40.6	30.9	29.1	16.4	46.1	18.2	1.8
	下戸田2地区(251)	53.8	19.9	42.2	45.4	29.9	29.9	32.7	42.6	28.3	30.7	13.1	43.8	7.6	0.8
	上戸田1地区(142)	54.2	27.5	43.0	43.0	31.0	33.8	31.7	40.1	36.6	23.9	12.0	48.6	9.2	0.7
	上戸田2地区(195)	53.3	26.7	43.6	46.7	31.8	31.8	39.0	39.5	29.2	33.8	19.5	49.2	9.7	1.5
	新曽地区(279)	50.2	22.9	36.2	42.3	26.9	28.0	30.5	39.8	30.1	25.8	14.0	41.2	11.1	1.1
	笹目地区(164)	48.2	22.0	43.9	47.6	26.8	26.8	28.0	42.7	35.4	33.5	10.4	48.2	10.4	1.2
	美女木地区(121)	46.3	25.6	33.9	49.6	23.1	26.4	29.8	31.4	30.6	29.8	10.7	47.1	16.5	1.7

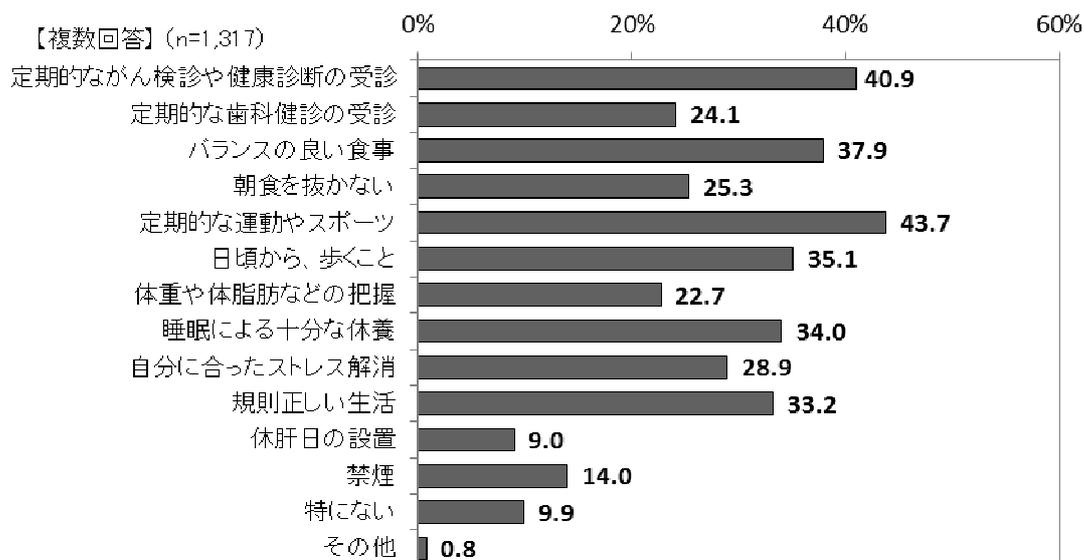
(2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 20 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- 健康のために今後取り組みたいことについて、「定期的な運動やスポーツ」(43.7%)が最も高く、次いで、「定期的ながん検診や健康診断の受診」(40.9%)となっています。

図表 33 健康のために今後取り組みたいこと(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男性は女性に比べ、「休肝日の設置」、「禁煙」、「特にない」が高く、女性は男性に比べ、それ以外の全ての項目で高く、その差が大きくなっています。特に、「バランスの良い食事」は12ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「定期的な運動やスポーツ」を除き、年齢が上がるにつれ、各項目の割合が高くなる傾向が見られます。また、20歳代から40歳代は、他の年齢と比べて「定期的な運動やスポーツ」が高く、70歳以上は、「朝食を抜かない」や「日頃から、歩くこと」が高くなっています。
- 居住地区別にみると、他の地区に比べ、下戸田1地区は、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が低く、「特にない」が高くなっています。また、新曽地区では、「バランスの良い食事」、「日頃から、歩くこと」、「体重や体脂肪などの把握」が低くなっています。一方、上戸田1地区では、「自分に合ったストレス解消」が高くなっています。

図表 34 健康のために今後取り組みたいこと(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健康診断の受診や	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から、歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置	禁煙	特にない	その他
全体(1,317)		40.9	24.1	37.9	25.3	43.7	35.1	22.7	34.0	28.9	33.2	9.0	14.0	9.9	0.8
性別	男性(562)	35.4	22.2	31.0	23.8	39.7	32.4	20.6	33.3	23.5	29.5	11.9	19.2	13.0	0.5
	女性(755)	45.0	25.6	43.0	26.4	46.8	37.1	24.2	34.6	33.0	35.9	6.9	10.1	7.5	0.9
年齢別	16～19歳(32)	9.4	3.1	31.3	25.0	40.6	15.6	21.9	34.4	12.5	46.9	0.0	3.1	15.6	0.0
	20～29歳(129)	32.6	16.3	29.5	14.7	54.3	21.7	14.7	27.9	27.9	27.1	4.7	8.5	5.4	0.8
	30～39歳(262)	35.5	26.0	29.4	14.5	54.6	26.7	14.9	30.5	28.6	30.5	7.3	11.5	8.0	0.0
	40～49歳(278)	41.4	23.4	36.0	16.2	47.8	32.7	25.5	28.8	26.6	30.6	11.5	13.3	8.6	0.4
	50～59歳(192)	36.5	20.8	38.0	22.4	40.1	35.9	23.4	34.9	28.1	30.7	13.0	15.6	11.5	0.5
	60～69歳(202)	46.0	28.7	42.6	31.2	37.1	43.6	28.2	35.6	36.1	36.1	11.9	17.8	10.4	2.5
	70歳以上(222)	55.4	29.3	51.8	52.7	29.3	50.0	27.5	45.9	29.3	40.5	5.9	17.6	13.5	0.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	33.9	22.4	38.2	25.5	35.8	38.2	21.8	38.8	31.5	36.4	8.5	13.9	14.5	1.2
	下戸田2地区(251)	45.4	26.3	41.8	23.5	44.6	37.8	26.3	31.1	28.3	32.3	10.4	13.9	8.4	1.2
	上戸田1地区(142)	45.8	26.1	40.1	30.3	45.1	36.6	25.4	38.7	38.7	34.5	10.6	17.6	6.3	0.7
	上戸田2地区(195)	37.4	27.2	39.0	22.1	48.2	33.3	24.1	32.3	26.2	34.4	11.8	10.8	8.7	0.5
	新曽地区(279)	42.3	21.9	33.0	23.7	47.3	30.5	17.9	33.3	27.2	30.8	7.5	13.6	11.5	1.1
	笹目地区(164)	41.5	21.3	37.2	28.0	44.5	34.8	23.2	30.5	28.7	33.5	5.5	15.9	9.1	0.0
	美女木地区(121)	37.2	24.0	37.2	28.1	34.7	37.2	21.5	37.2	24.0	32.2	9.1	13.2	9.9	0.0

【定期的ながん検診や健康診断の受診について】

「健康のために留意していること」(問 19) 及び「健康のために今後取り組みたいこと」(問 20) のいずれにおいても高い値を示した「定期的ながん検診や健康診断の受診」について、問 19 及び問 20 に対する回答(選択していれば○、選択していなければ×)に基づき、回答者を4つに分類し、集計しました(図表 35)。

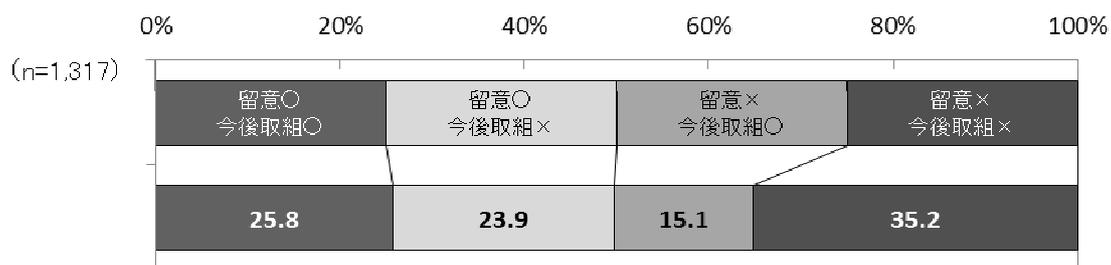
今後、がん検診や健康診断の受診者の増加を目指す場合、「現在留意していないが、今後取り組みたいと思っている(留意×今後取組○)」層に対する対策が効果的であると考えられます。

「留意×今後取組○」は、全体では 15.1%でした。さらに内訳を見ると、性別では、女性が 68.3%と男性の2倍以上という結果でした。年齢別では、30 歳代(27.1%)と 40 歳代(25.1%)の子育て世代の合計が 52.2%と半数を超えており、全体の年齢構成(41.0%、図表 2 参照)よりも多くなっています。また、雇用形態別でみると、「フルタイム正社員」(21.1%)と「パート・アルバイト」(23.6%)が多くなっています。

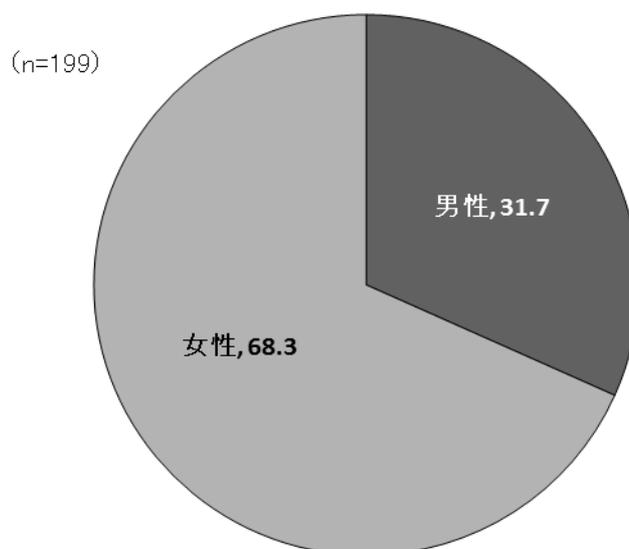
まとめると、定期的ながん検診や健康診断の受診について、「留意×今後取組○」の集団は、女性の割合が高く、年齢では 30 歳代・40 歳代の子育て世代、雇用形態では、パート・アルバイトなどが多い、という結果でした。

なお、この「留意×今後取組○」は、全体(n=1,317)の 15.1%であり、n=199 と集計母数が十分とは言えないため、そこから得た結果については、あくまで傾向を見る程度である点に留意してください。

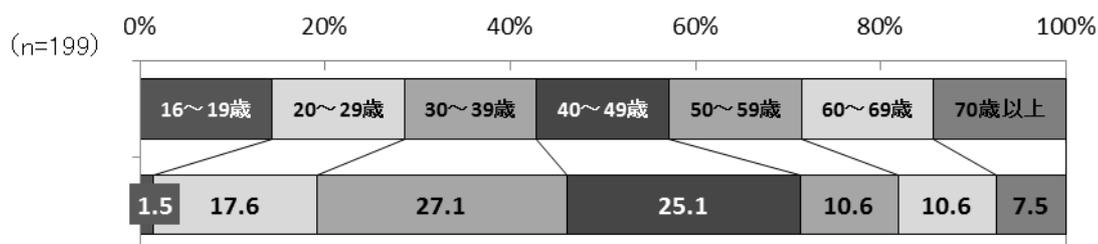
図表 35 「定期的ながん検診や健康診断の受診」(全体)



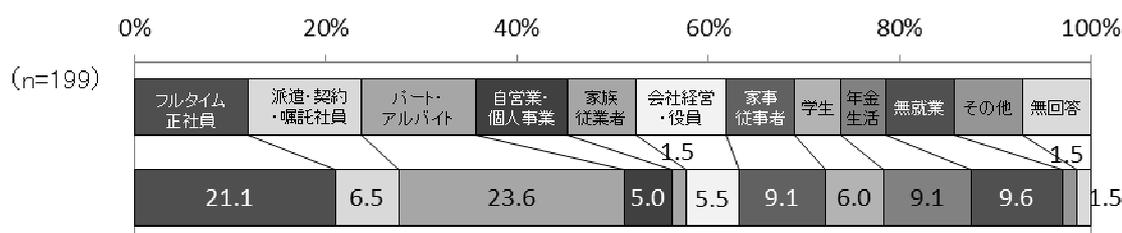
図表 36 「留意× 今後取組○」(性別)



図表 37 「留意× 今後取組○」(年齢別)



図表 38 「留意× 今後取組○」(雇用形態別)



3. 子育てについて

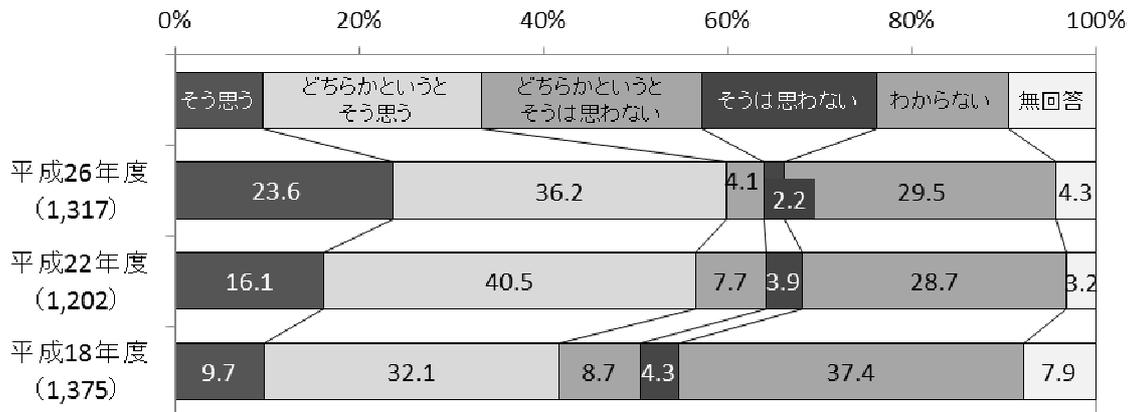
(1) 子育てのしやすさ

問 21 戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市の子育てのしやすさについては、「そう思う」(23.6%)と「どちらかというと思う」(36.2%)を合わせた肯定的な意見が59.8%で半数を超えています。
- ・これまでの推移をみると、平成18年度調査以降、肯定的な意見が最も高くなっており、平成22年度調査から3.2%上昇しています。

図表 39 子育てのしやすさ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見について、男性が55.3%であるのに対し、女性は63.2%と女性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代～40歳代の現役世代の「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が60%を超えています。また、16～19歳の「そう思う」が31.3%となっており、最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、すべての地区で、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が50%を超えています。また、肯定的な意見が最も多いのが下戸田2地区の63.3%、最も低いのが美女木地区の56.2%となっています。

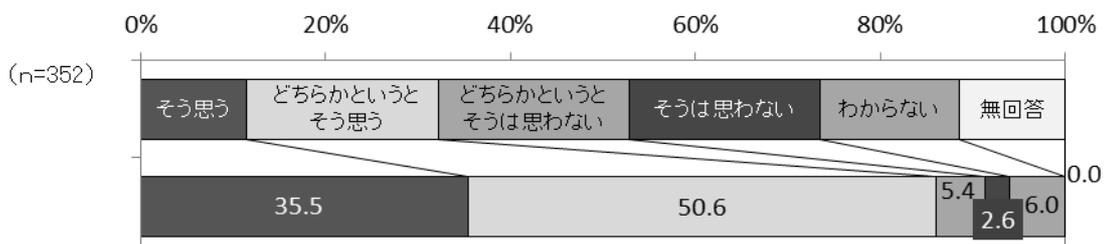
図表 40 子育てのしやすさ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという と	どちらかという と	そうは 思わない	わからない	無 回 答
全体(1,317)		23.6	36.2	4.1	2.2	29.5	4.3
性別	男性(562)	20.1	35.2	3.9	2.3	34.3	4.1
	女性(755)	26.2	37.0	4.2	2.1	26.0	4.5
年齢別	16～19歳(32)	31.3	15.6	3.1	0.0	50.0	0.0
	20～29歳(129)	20.9	43.4	3.9	0.8	30.2	0.8
	30～39歳(262)	27.9	40.5	5.3	2.3	24.0	0.0
	40～49歳(278)	28.1	39.9	5.4	2.2	23.0	1.4
	50～59歳(192)	16.7	39.6	3.6	3.6	33.9	2.6
	60～69歳(202)	18.3	31.2	4.0	2.0	38.1	6.4
	70歳以上(222)	24.3	27.0	1.8	2.3	29.3	15.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	21.2	37.6	4.2	3.0	27.9	6.1
	下戸田2地区(251)	24.3	39.0	3.6	3.2	24.3	5.6
	上戸田1地区(142)	21.1	35.2	4.9	0.7	33.8	4.2
	上戸田2地区(195)	24.1	36.9	5.1	1.0	27.7	5.1
	新嘗地区(279)	25.8	34.8	3.9	2.5	30.5	2.5
	笹目地区(164)	26.2	32.3	3.0	0.6	34.1	3.7
	美女木地区(121)	19.0	37.2	4.1	4.1	32.2	3.3

【現役の子育て世代の回答傾向】

末子年齢が中学生以下である現役子育て世代の「子育てしやすさ」に対する意識は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた 86.1%が子育てしやすいと回答しました。

図表 41 子育てのしやすさ(末子年齢が中学生以下の層)



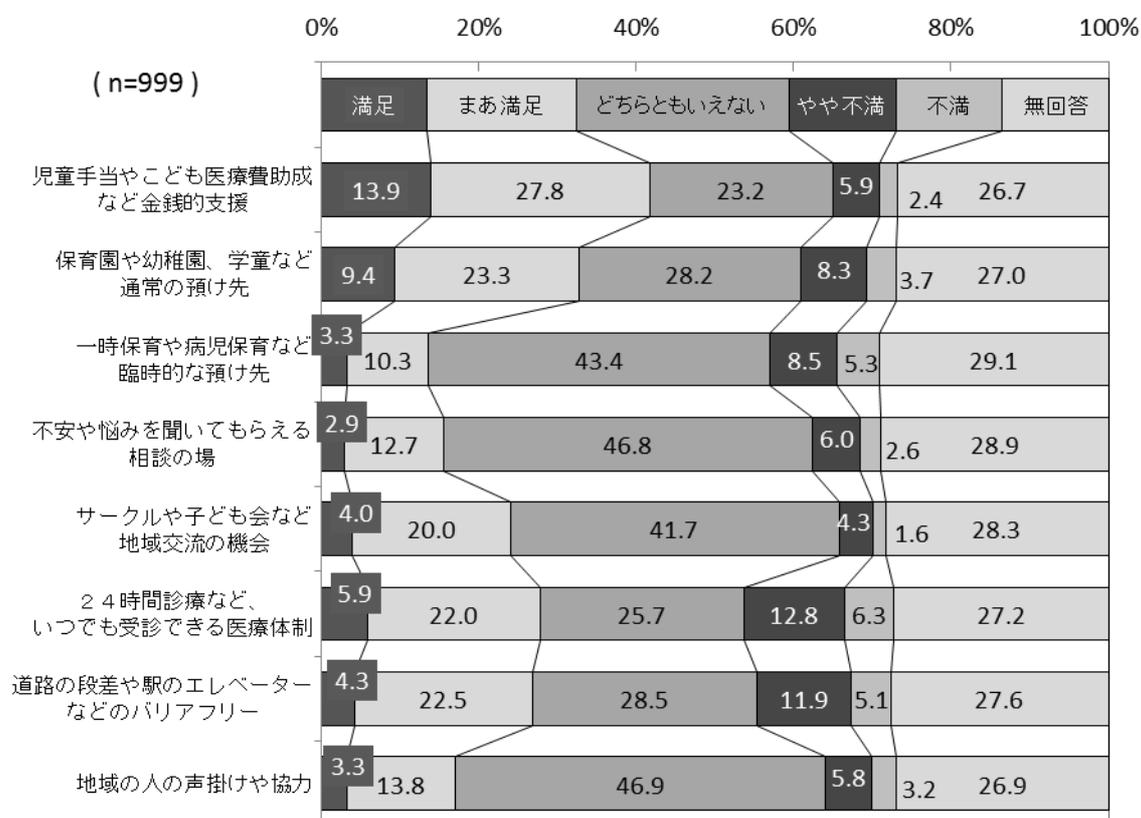
(2) 子育てに関する満足度

問 22 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

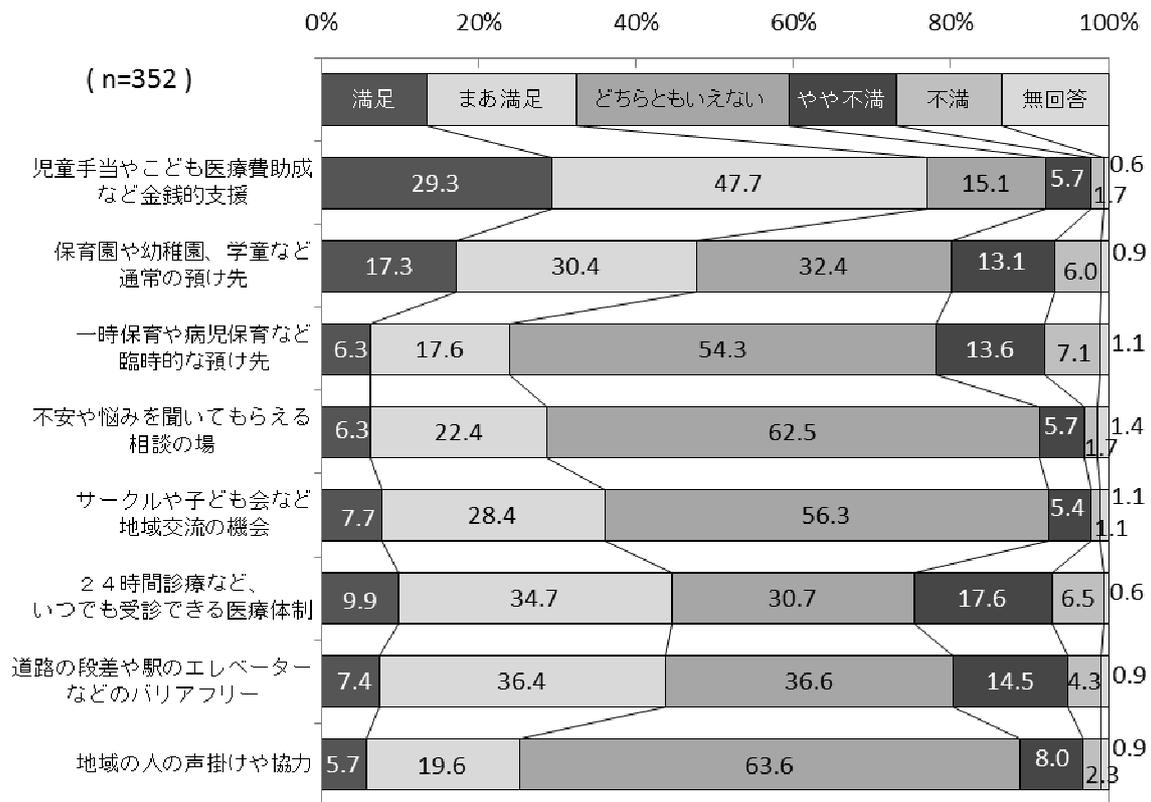
【回答傾向】

- ・この設問は、子どもがいる方のみ回答する設問であり、全体（n=1,317）から、子どもがいない方（n=318）を除いた n=999 が集計母数となります。
- ・「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」と「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」については、「満足」と「まあ満足」を合わせた肯定的な意見が 30%を超えています。一方で、「一時保育や病児保育など臨時的な預け先」、「不安や悩みを聞いてもらえる相談の場」、「地域の人声掛けや協力」については、肯定的な意見に関して、10%台と満足している人の割合が低くなっています。

図表 42 子育てに関する満足度(全体)



図表 43 子育てに関する満足度(末子年齢が中学生以下の層)



- ・ 現役の子育て世代である、末子年齢が中学生以下の層については、全体（図表 42）と比べて、無回答者が少なく、その分、各項目に分散しています。このことから、全ての項目で全体の割合に比べて、「満足」と「まあ満足」の割合が大きくなり、「不満」と「やや不満」の割合も大きくなっています。
- ・ 「満足」と「まあ満足」の合計が、全体（図表 42）と比べて最も高いのは、「児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援」でした。一方、「不満」と「やや不満」の合計が全体と比べて高かったのは、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」（+7.1%）、次いで「一時保育や病児保育など臨時的な預け先」（+6.9%）でした。

4. 高齢化について

(1) 高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うか

問 23 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

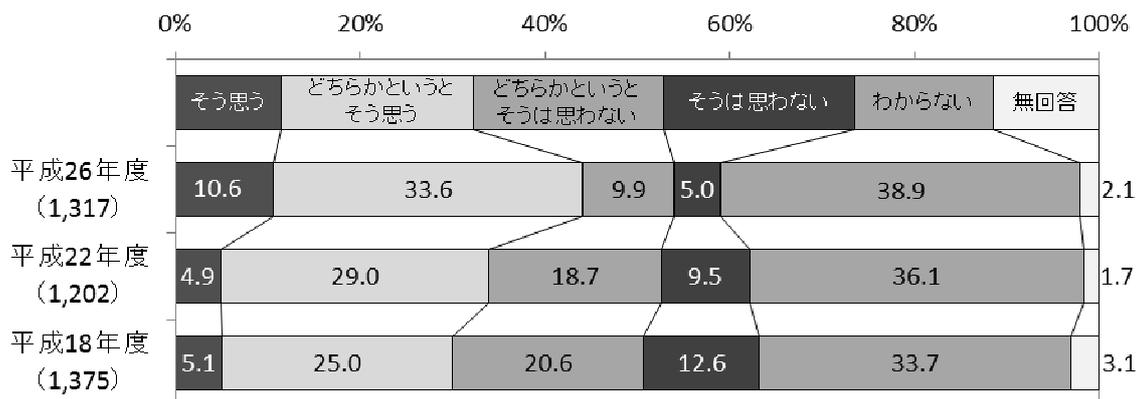
【全体の回答傾向】

- ・「そう思う」(10.6%)と「どちらかというと思う」(33.6%)を合わせた肯定的な意見が44.2%となっており、平成22年度調査(33.9%)から10.3ポイント増えています。また、否定的な意見は13.3ポイント減っています。
- ・この原因としては設問の違いが考えられます。平成22年度調査の設問は、下記のとおり、「安心して快適な生活」という具体的かつ複数の問いかけとなっており、回答者が肯定しにくい側面があったことが考えられます。

(参考) 平成22年度及び平成18年度調査の設問

「あなたは、市内に住む高齢者または高齢者のいる世帯が、安心して快適な生活を送ることができると思いますか。1つだけ選んでください。」

図表 44 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳及び70歳以上で肯定的な意見が多い傾向でした。特に70歳以上は、「そう思う」(26.6%)が突出して高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田1地区と笹目地区で「そう思う」が15.2%と高い割合となっています。
- ・介護経験の有無については、回答数は少ないものの、65歳以上介護中の集計を見ると、「そう思う」が17.2%と全体に比べて高い値を示すとともに、「そうは思わない」も10.3%と全体よりも高くなっています。

図表 45 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか

(全体・性別・年齢別・居住地区別・介護経験別)

		そう 思う	そう 思う か と い う と	そう は 思 わ な い と	そう は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,317)		10.6	33.6	9.9	5.0	38.9	2.1
性別	男性(562)	10.9	31.0	9.6	5.2	41.5	2.0
	女性(755)	10.3	35.6	10.1	4.9	37.0	2.1
年齢別	16～19歳(32)	15.6	40.6	3.1	6.3	34.4	0.0
	20～29歳(129)	8.5	37.2	6.2	3.1	42.6	2.3
	30～39歳(262)	7.6	28.2	11.1	6.9	46.2	0.0
	40～49歳(278)	5.8	36.3	10.1	2.9	42.1	2.9
	50～59歳(192)	6.3	30.7	12.0	6.3	43.8	1.0
	60～69歳(202)	7.9	33.7	12.4	6.4	36.6	3.0
	70歳以上(222)	26.6	36.0	7.2	4.1	22.5	3.6
居住地区別	下戸田1地区(165)	15.2	30.9	6.7	5.5	38.2	3.6
	下戸田2地区(251)	8.4	37.5	9.6	5.2	38.6	0.8
	上戸田1地区(142)	9.9	35.2	12.7	4.9	36.6	0.7
	上戸田2地区(195)	6.7	30.8	10.3	5.1	45.6	1.5
	新嘗地区(279)	11.1	34.8	9.0	6.8	36.9	1.4
	笹目地区(164)	15.2	32.3	11.6	1.2	36.6	3.0
	美女木地区(121)	8.3	31.4	10.7	5.0	39.7	5.0
介護経験	65歳以上介護中(58)	17.2	32.8	10.3	10.3	25.9	3.4
	65歳未満介護中(12)	8.3	58.3	16.7	0.0	16.7	0.0
	過去介護経験あり(239)	9.6	40.6	13.4	7.1	27.6	1.7
	介護したことない(990)	9.9	32.3	9.1	4.3	42.3	2.0

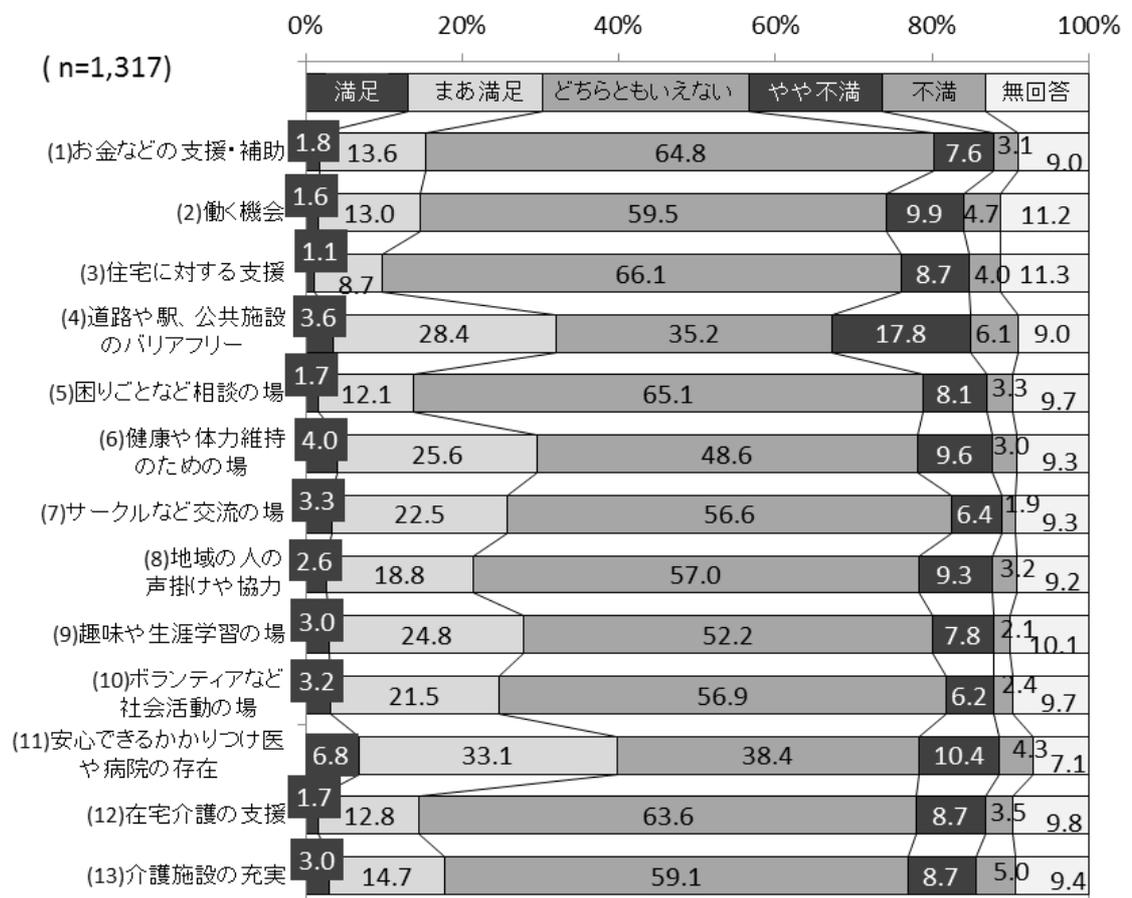
(2) 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか

問 24 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)
 ※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・どの項目も、「どちらともいえない」が最も多い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」を見ると、「(11)安心できるかかりつけ医や病院の存在」が合計で39.9%と他の項目に比べて高い割合でした。また、「(4)道路や駅、公共施設のバリアフリー」については、「満足」及び「まあ満足」が合計で32.0%と2番目に高い満足度を示す一方で、「やや不満」及び「不満」の合計が25.9%と突出して高いことが特徴でした。

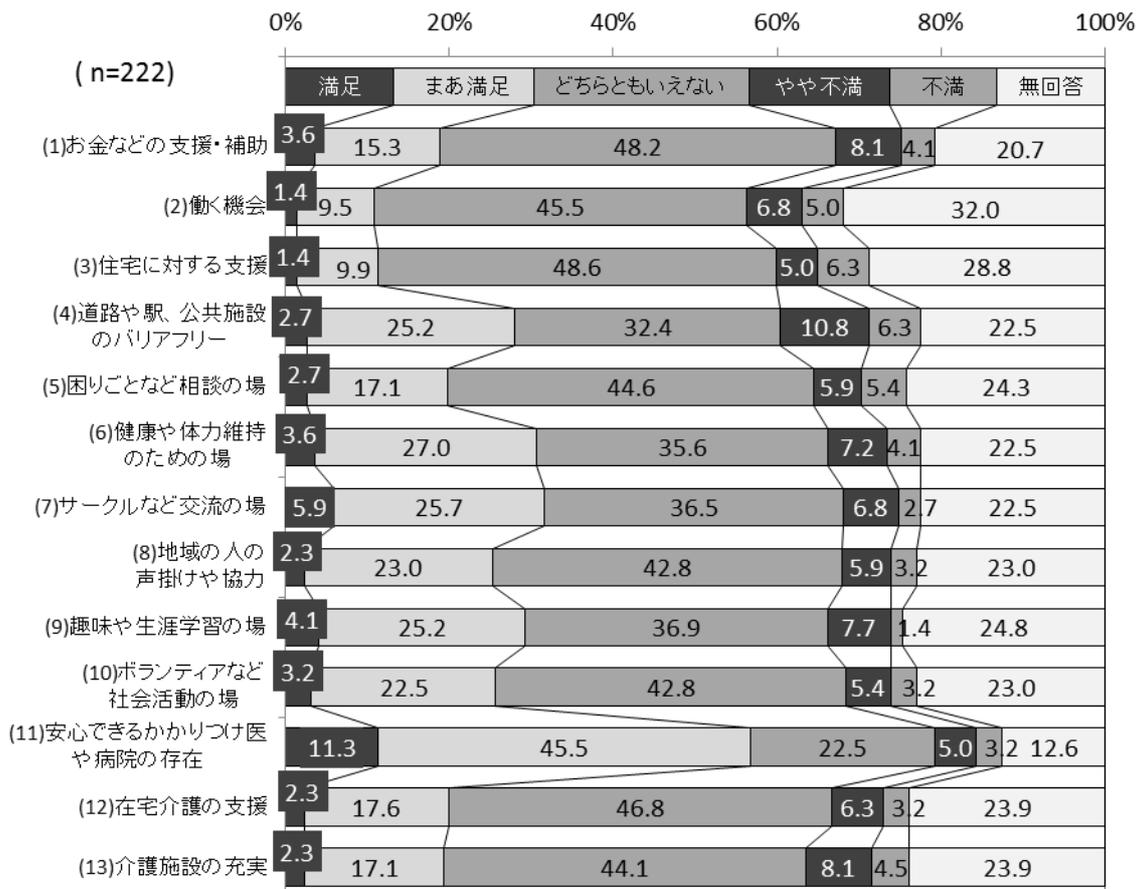
図表 46 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(全体)



【70歳以上の満足度】

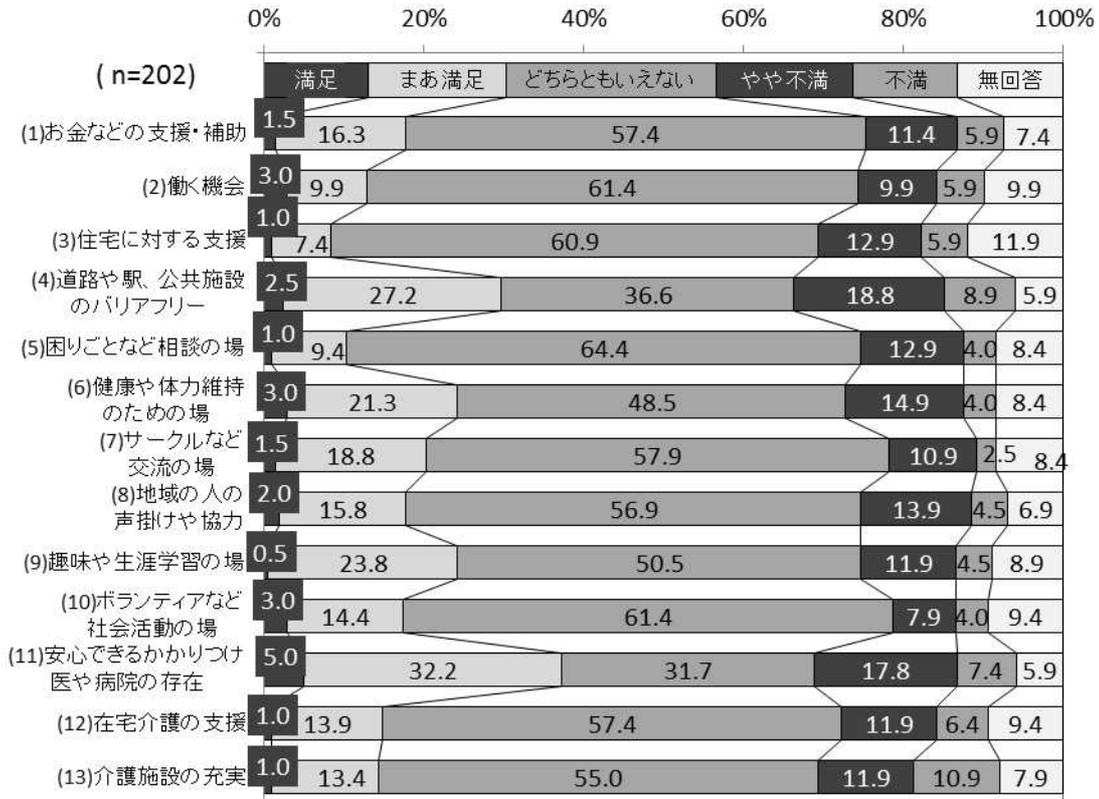
- ・70歳以上の満足度は総じて満足度が高い結果でした。最も顕著なのは、「(11)安心できるかかりつけ医や病院の存在」であり、「満足」「まあ満足」が突出して高くなっています。また、「(5)困りごとなど相談の場」が全体（図表 46）と比べて高くなっています。一方で、「(2)働く機会」や「(4)道路や駅、公共施設のバリアフリー」は、全体よりも低い値となっていました。

図表 47 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(70歳以上)

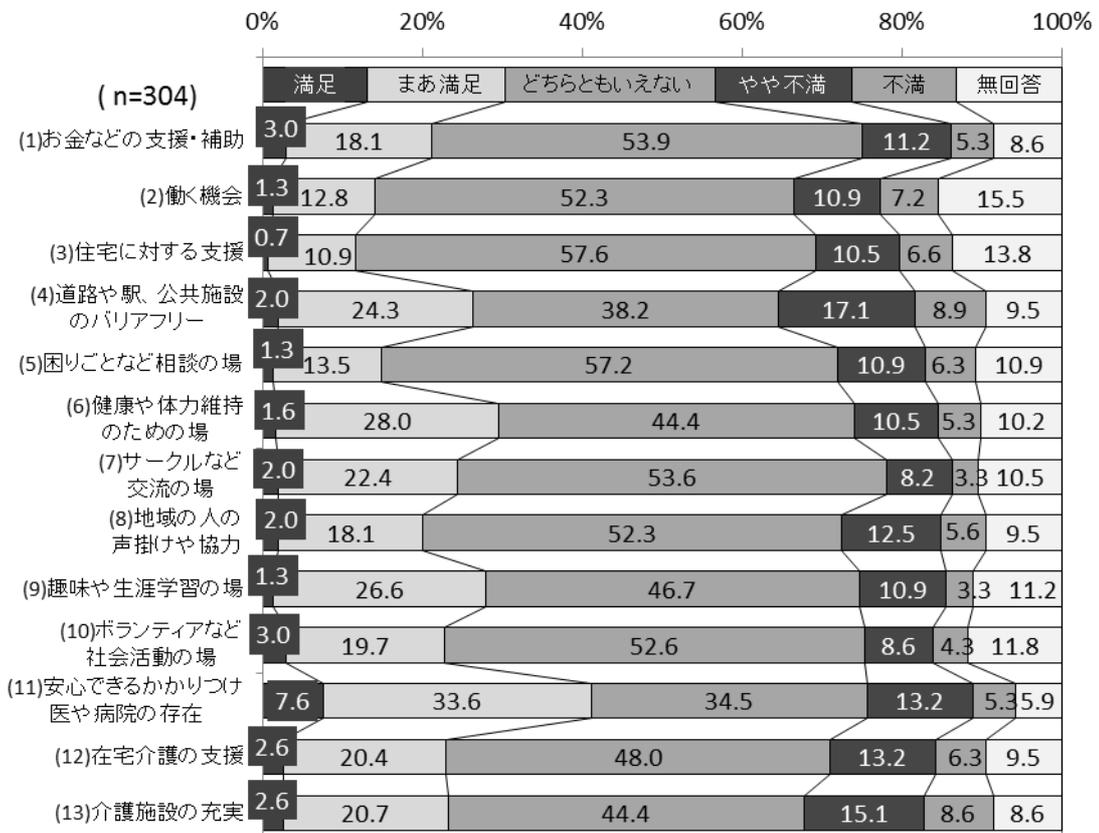


- ・60歳代（図表 48）を見ると、全体（図表 46）や70歳代（図表 47）と比べて、「やや不満」「不満」の割合が高く、無回答が少なくなっています。一方、「満足」「まあ満足」が全体（図表 46）と比べて高くなっているのは、「(1)お金などの支援・補助」及び「(12)在宅介護の支援」です。
- ・介護経験者（図表 49）については、「(12)在宅介護支援」「(13)介護施設の充実」の「満足」「まあ満足」が全体（図表 46）と比べて高くなっています。一方で全体的に「不満」「やや不満」が高く、「(12)在宅介護支援」「(13)介護施設の充実」についても、全体（図表 46）と比べて、「不満」と「やや不満」が高い結果でした。

図表 48 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(60~69歳)



図表 49 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(介護経験者)



5. 生活環境について

(1) 地域の生活環境

問 25 あなたは住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

《本設問の集計方法とグラフの見方》

- ・地域の生活環境について、保健・衛生、安全、利便、快適の4分野 23項目とそれらの総合評価からなる計 24項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- ・評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
- ・したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

【全体の回答傾向】

- ・23項目のうちプラスの評価点となったものは14項目あり、評価点の高い順に「(1)ごみの回収」「(15)日用品・食料品等の買い物の便利さ」「(21)日当たりや風通しの良さ」「(16)通勤・通学の便利さ」となっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは9項目で、評価点の低い順に「(23)川の水のきれいさ」「(14)周りの道路の安全性」「(3)蚊、ハエ等の害虫対策の状況」「(13)夜道の明るさ」となっています。

① 保健・衛生

- ・保健・衛生に関する7項目は、プラス評価・マイナス評価が混在しています。「(1)ごみの回収」は評価点が0.68と23項目の中で最も高くなっており、一方、「(2)雨水など水のはげぐあい」や「(3)蚊、ハエ等の害虫対策の状況」など、環境衛生や水はけに関する項目の評価が低くなっています。

② 安全

- ・安全に関しては、7項目中5項目がマイナス評価となっています。特に、「(14)周りの道路の安全性」が-0.26、「(13)夜道の明るさ」が-0.21と、低い評価でした。

③ 利便

- ・利便に関する5項目は、すべてプラス評価になっています。特に「(15)日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.56、「(16)通勤・通学の便利さ」が+0.48と高い評価点となっています。

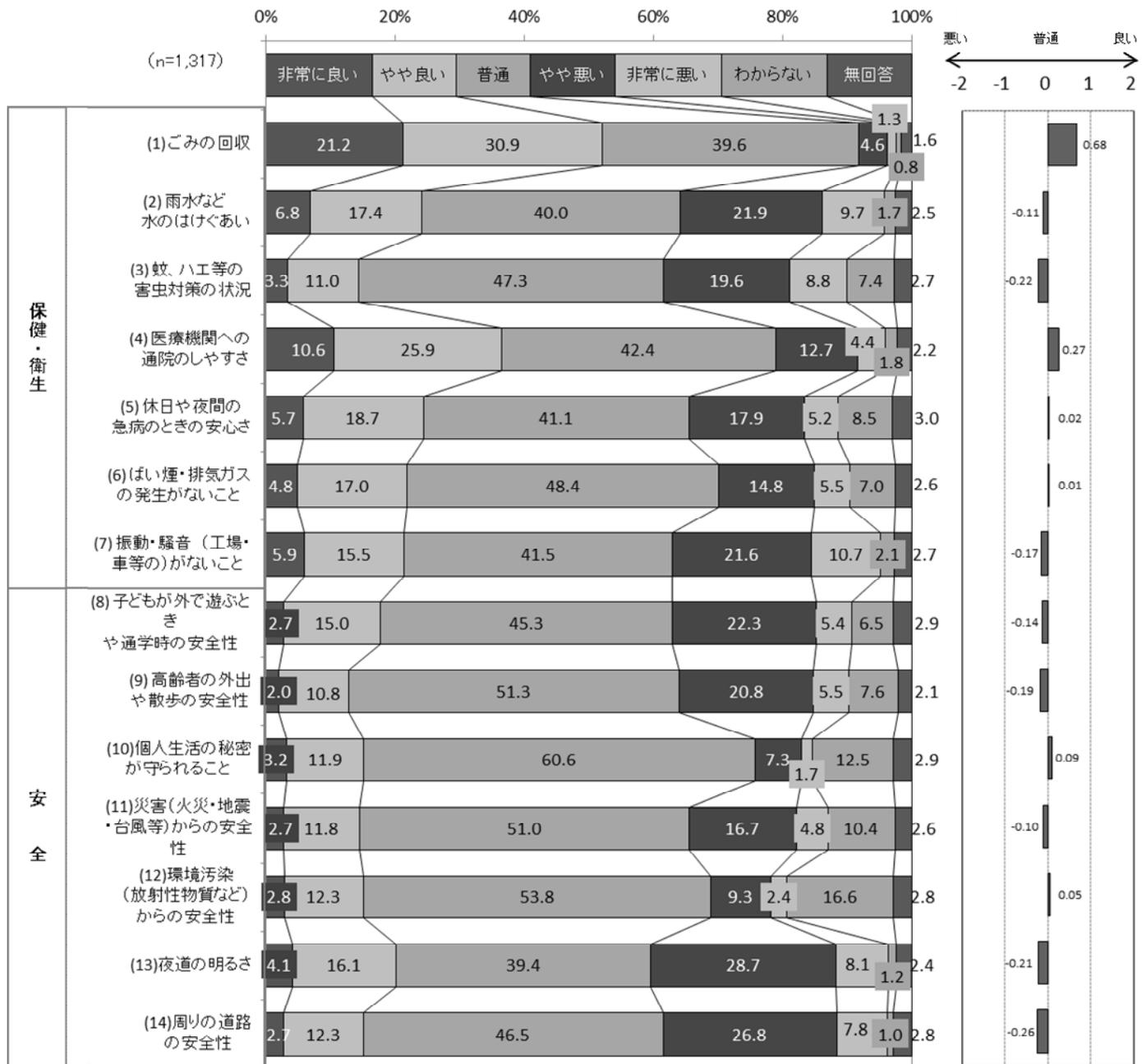
④ 快適

- ・快適に関する4項目は、「(23)川の水のきれいさ」の-0.48を除き、プラス評価となっています。「(21)日当たりや風通しの良さ」は、+0.51と全体でも2番目に高い評価となっています。

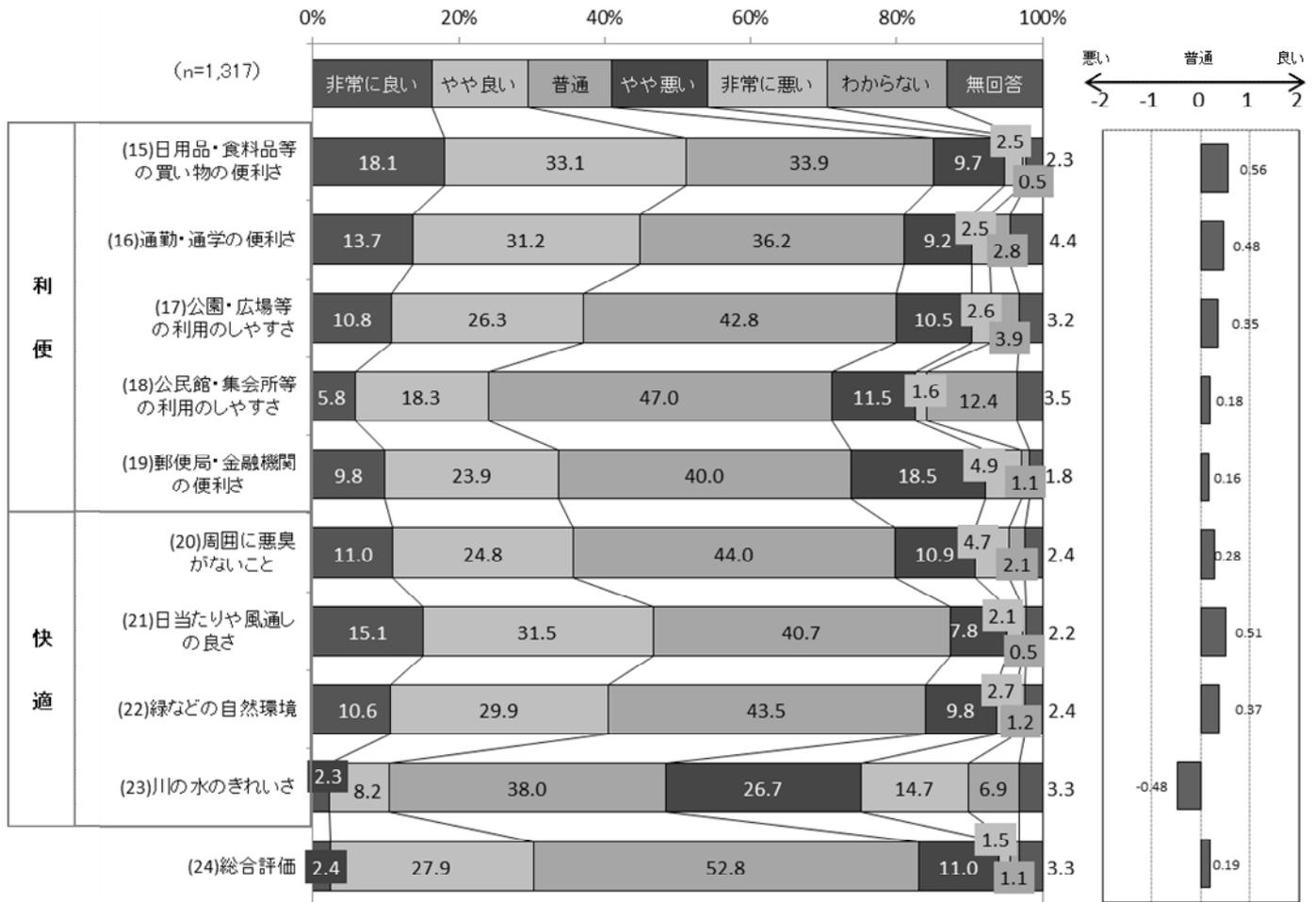
⑤ 総合

・①～④を総合した場合の評価点は+0.19で、地域の生活環境については総じてプラス評価となっています。

図表 50-1 地域の生活環境(全体・評価点)



図表 50-2 地域の生活環境(全体・評価点)(つづき)

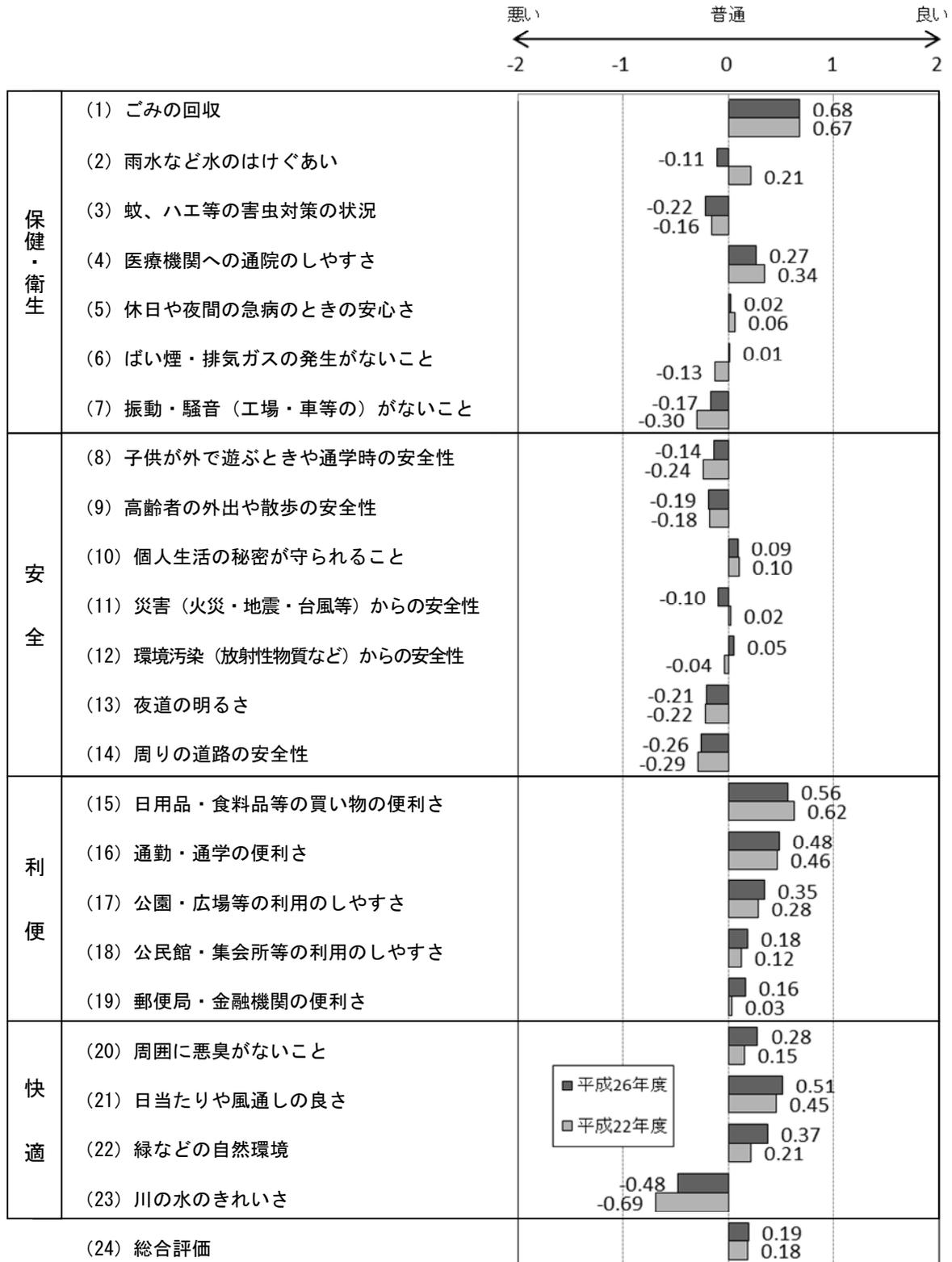


【平成 22 年度調査との比較】

- ・ 前回調査である平成 22 年度調査と比較すると、「(24)総合評価」では、0.01 ポイントのプラスでした。
- ・ 4つの大きな項目で見ると、「利便」と「快適」の分野では、「(15)日用品・食料品等の買い物の便利さ」(前回比-0.06)を除き、9項目中8項目で前回比プラスとなりました。
- ・ 一方、「保健・衛生」と「安全」の分野では、特に大きく上下した項目として、前回比プラスとなった項目では、「(6)ばい煙・排気ガスの発生がないこと」(前回比+0.14)が最も高く、次いで、「(7)振動・騒音(工場・車等の)がないこと」(前回比+0.13)でした。また、前回比マイナスとなった項目では、「(2)雨水など水のはけぐあい」(前回比-0.32)、「(11)災害(火災・地震・台風)からの安全性」(前回比-0.12)でした。
- ・ 平成 26 年度調査においてマイナス評価で、かつ前回比がマイナスとなった項目は、「(2)雨水など水のはけぐあい」(評価点-0.11、前回比-0.32)、「(3)蚊、ハエ等の害虫対策の状況」(評価点-0.22、前回比-0.06)、「(9)高齢者の外出や散歩の安全

性」(評価点-0.19、前回比-0.01)、「(11)災害(火災・地震・台風)からの安全性」(評価点-0.10、前回比-0.12)の4項目でした。

図表 51 地域の生活環境(平成 22 年度調査との比較)



※ (12) は、前回調査(平成 22 年度)では「放射性物質」ではなく「ダイオキシン」

【属性別の回答傾向】

①平成 26 年度の評価点と、前回比がともにマイナスとなった項目について

- ・「(2) 雨水など水のはけぐあい」(評価点-0.11、前回比-0.32)

平成 26 年度調査の評価点を属性別に見ると、年齢は 40 歳代で最も低く、20 歳代～50 歳代までが低い傾向となっています。また、地区別で見ると、新曽地区(-0.54)と上戸田 1 地区(-0.35)が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、年齢が高いほど前回比でマイナスが大きい傾向があります。また、地区別では、上戸田 1 地区が最もマイナスが大きく、次いで、新曽地区、美女木地区が前回比で大きくマイナスとなっています。

- ・「(3) 蚊、ハエ等の害虫対策の状況」(評価点-0.22、前回比-0.06)

平成 26 年度の評価点を見ると、年齢別では、若い年代の方が低い傾向となっています。また、居住地区別には、新曽地区(-0.51)と上戸田 1 地区(-0.41)が最も低い値となっており、「(2) 雨水など水のはけぐあい」と同様の傾向でした。居住期間別でみると、居住期間が短いほど低い傾向となっています。

前回比でみると、年齢では 50 歳代以上で低い傾向があります。地区別にみると、上戸田 1 地区が最もマイナスが大きい結果でした。新曽地区は-0.08 と横ばいであり、前回から評価が低いままであることが分かります。

- ・「(9) 高齢者の外出や散歩の安全性」(評価点-0.19、前回比-0.01)

平成 26 年度の評価点で見ると、年齢別では 30 歳代～50 歳代で低い結果であり、居住地区別では美女木地区(-0.34)が最も低く、次いで新曽地区(-0.23)、下戸田 2 地区(-0.20)、上戸田 2 地区(-0.20)と続いています。

前回比でみると、美女木地区が前回比-0.17 とマイナスが大きく、下戸田 2 地区でも-0.15 と前回より大きくマイナスとなっています。

- ・「(11)災害(火災・地震・台風)からの安全性」(評価点-0.10、前回比-0.12)

平成 26 年度の評価点で見ると、年齢別では年齢が高いほど低い傾向であり、60 歳代が最も低い値(-0.21)でしたが、70 歳以上では、-0.04 と大きいマイナスではないことが特徴的です。居住地区別にみると、下戸田 1 地区で唯一+0.05 とプラスであり、最も低かったのは、新曽地区の-0.19 でした。

前回比で見ると、年齢では 60 歳代が前回比-0.30 と最も低く、次いで 70 歳代が前回比-0.19 と大きいマイナスとなっています。居住地区別で見ると、すべての地区でマイナスとなっており、美女木地区で前回比-0.28 と最も低い値でした。

②前回比はプラスとなったものの、評価点はマイナスとなった項目の傾向

- ・「(7)振動・騒音(工場・車等の)がないこと」(評価点-0.17、前回比+0.13)

平成 26 年度の評価点で見ると、居住地区別が特徴的で、美女木地区(-0.46)で最も低く、次いで笹目地区(-0.29)が低い結果でした。また、下戸田 1 地区で唯一プラスの評価(+0.19)でした。

前回比で見ると、年齢別では 40 歳代(+0.26)及び 70 歳以上(+0.23)で大きくプラスとなっています。居住地区別では、上戸田 1 地区で唯一前回比でマイナス(-

0.10) となっています。一方、下戸田1地区は前回比+0.28と大きくプラスとなっています。評価点が低かった美女木地区及び笹目地区でも、それぞれ前回比+0.13、前回比+0.18とプラスになっています。

・「(8) 子どもが外で遊ぶ時や通学時の安全性」(評価点-0.14、前回比+0.10)

平成26年度の評価点で見ると、30歳代~50歳代で他の年代より低い値となっています。居住地区別では、新曽地区(-0.24)、美女木地区(-0.22)、笹目地区(-0.21)で低い値となっています。

前回比で見ると、年齢別では、評価点が低かった30歳代~50歳代でも前回比ではプラスになっています。一方、60歳以上の年代では大きな変化は見られませんでした。居住地区別では、前回比でマイナスとなった地区はありませんでした。評価点の低い美女木地区、笹目地区では、前回比でほとんど変化はなく、横ばいの状況でした。一方、下戸田1地区では、前回比+0.23となっています。

・「(13)夜道の明るさ」(評価点-0.21、前回比+0.01)

平成26年度の評価点で見ると、性別では女性が-0.27と男性の-0.14よりも低い値でした。年齢別では、集計母数が少ない10歳代を除き、50歳代で最も低く(-0.33)、次いで40歳代(-0.30)となっています。また、居住地区別で特徴的なのは、新曽地区(-0.40)と美女木地区(-0.31)、上戸田1地区(-0.26)で低い値となっています。

前回比で見ると、年齢別では、10歳代を除くと、40歳代以下の年代では前回比でプラスとなっており、50歳以上で前回比マイナスとなっています。居住地区別では、笹目地区で前回比+0.28と他の地区より突出して大きなプラスとなっています。

・「(14)周りの道路の安全性」(評価点-0.26、前回比+0.03)

平成26年度の評価点で見ると、年齢別では30歳代~50歳代で低い値となっています。また、居住地区別では、新曽地区(-0.38)と上戸田1地区(-0.31)で低い値となっています。

前回比で見ると、居住地区別では、上戸田1地区で前回比-0.15と大きくマイナスしており、一方、笹目地区は前回比+0.21と大きくプラスになっています。

・「(23)川の水のきれいさ」(評価点-0.48、前回比+0.21)

平成26年度の評価点で見ると、年齢別では、10歳代を除くと、50歳代が-0.61と最も低く、次いで60歳代の-0.53、40歳代の-0.48が続きます。居住地区別では、上戸田2地区が-0.64と最も低く、次いで下戸田1地区が-0.61でした。また、最も高かったのは、美女木地区の-0.25で、次いで上戸田1地区の-0.28でした。

前回比で見ると、50歳代以下の年代、居住地区で前回比プラスとなっています。年齢別では、60歳代以上で前回比が若干ではあるもののマイナスとなっており、50歳代以下では、前回比でプラスとなっています。特に40歳代で前回比+0.40、20歳代で前回比+0.35となっています。また、地区別で見ると、下戸田1地区(前回比+0.08)、上戸田1地区(前回比+0.11)でプラス幅が小さくなっています。

図表 52-1 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		保健・衛生							安全						
		(1) ごみの回収	(2) い雨水など水のはけぐあ	(3) の蚊、ハ工等の害虫対策	(4) や医療機関への通院のし	(5) き休日や夜間の急病のと	(6) 生ばい煙いこと	(7) 等振動・騒音(工場・車)	(8) や子どもが外で遊ぶとき	(9) 安全高年齢者の外出や散歩の	(10) れ個人生活の秘密が守ら	(11) 風災害(火災・地震・台	(12) な環境汚染(放射線物質	(13) 夜道の明るさ	(14) 周りの道路の安全性
全体(1,317)		0.68	-0.11	-0.22	0.27	0.02	0.01	-0.17	-0.14	-0.19	0.09	-0.10	0.05	-0.21	-0.26
性別	男性(562)	0.65	-0.09	-0.19	0.22	0.02	0.00	-0.15	-0.13	-0.17	0.11	-0.11	0.09	-0.14	-0.22
	女性(755)	0.70	-0.13	-0.24	0.30	0.02	0.02	-0.18	-0.15	-0.20	0.07	-0.10	0.01	-0.27	-0.29
年齢別	16～19歳(32)	0.46	0.19	-0.37	0.69	0.29	-0.17	-0.40	-0.03	-0.14	0.52	0.48	0.33	-0.37	-0.10
	20～29歳(129)	0.62	-0.09	-0.30	0.37	0.11	0.09	-0.19	0.00	-0.03	0.21	0.06	0.12	-0.29	-0.16
	30～39歳(262)	0.63	-0.15	-0.37	0.33	0.08	-0.11	-0.28	-0.30	-0.25	0.10	-0.10	0.06	-0.21	-0.35
	40～49歳(278)	0.58	-0.29	-0.27	0.19	-0.04	-0.12	-0.29	-0.25	-0.28	0.10	-0.16	-0.01	-0.30	-0.42
	50～59歳(192)	0.57	-0.17	-0.29	0.10	-0.16	-0.03	-0.21	-0.23	-0.29	-0.06	-0.18	-0.01	-0.33	-0.29
	60～69歳(202)	0.78	-0.06	-0.08	0.29	-0.01	0.15	-0.02	-0.01	-0.22	0.04	-0.21	0.01	-0.18	-0.19
	70歳以上(222)	0.93	0.15	0.05	0.29	0.13	0.22	0.13	0.10	0.02	0.12	-0.04	0.11	0.05	-0.04
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.73	0.12	-0.05	0.38	0.08	0.24	0.19	0.07	-0.02	0.17	0.05	0.11	-0.09	-0.15
	下戸田2地区(251)	0.65	-0.03	-0.03	0.38	-0.01	-0.05	-0.16	-0.13	-0.20	0.07	-0.11	0.00	-0.16	-0.28
	上戸田1地区(142)	0.63	-0.35	-0.41	0.44	0.02	-0.06	-0.21	-0.04	-0.15	0.07	-0.09	0.05	-0.26	-0.31
	上戸田2地区(195)	0.66	0.03	-0.17	0.64	0.21	0.03	-0.09	-0.14	-0.20	0.14	-0.12	0.11	-0.07	-0.16
	新嘗地区(279)	0.65	-0.54	-0.51	0.16	-0.02	0.06	-0.21	-0.24	-0.23	0.05	-0.19	0.00	-0.40	-0.38
	笹目地区(164)	0.76	0.13	-0.12	0.04	0.03	0.02	-0.29	-0.21	-0.18	0.11	-0.07	0.08	-0.15	-0.21
	美女木地区(121)	0.71	0.12	-0.11	-0.40	-0.23	-0.28	-0.46	-0.22	-0.34	0.03	-0.13	0.01	-0.31	-0.23
居住期間別	5年未満(160)	0.59	-0.14	-0.38	0.30	0.09	0.04	-0.22	-0.05	-0.04	0.14	-0.13	0.04	-0.26	-0.27
	5年以上10年未満(150)	0.68	-0.07	-0.34	0.30	0.08	-0.08	-0.28	-0.37	-0.24	0.08	-0.13	0.02	-0.24	-0.36
	10年以上20年未満(336)	0.70	-0.26	-0.23	0.34	0.12	0.01	-0.23	-0.15	-0.22	0.16	-0.08	0.10	-0.30	-0.30
	20年以上(662)	0.69	-0.03	-0.13	0.22	-0.05	0.03	-0.08	-0.10	-0.20	0.05	-0.10	0.03	-0.15	-0.20
	無回答(9)	0.78	-0.44	-0.56	-0.50	-0.67	-0.25	-0.63	0.00	0.11	0.14	-0.38	-0.20	-0.22	-0.22

図表 52-2 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		利便					快適				総合
		(15) 日用品の 便・食料 品等の買	(16) 通勤・通 学の便利 さ	(17) 公園・広 場等の利 用のしやす さ	(18) 公民館・集 会所等の利 やすさ	(19) 郵便局・金 融機関の便 利さ	(20) 周囲に悪臭 がないこと	(21) 日当たりや 風通しの良 さ	(22) 緑などの自 然環境	(23) 川の水のき れいさ	(24) 総合評価
全体(1,317)		0.56	0.48	0.35	0.18	0.16	0.28	0.51	0.37	-0.48	0.19
性別	男性(562)	0.54	0.44	0.37	0.18	0.09	0.26	0.46	0.34	-0.50	0.17
	女性(755)	0.58	0.51	0.33	0.18	0.21	0.29	0.55	0.39	-0.47	0.21
年齢別	16～19歳(32)	0.80	0.84	0.81	0.68	0.53	0.50	0.74	0.52	-0.72	0.48
	20～29歳(129)	0.89	0.57	0.41	0.28	0.18	0.54	0.61	0.48	-0.44	0.40
	30～39歳(262)	0.56	0.52	0.49	0.18	0.03	0.29	0.62	0.53	-0.42	0.21
	40～49歳(278)	0.58	0.55	0.38	0.17	-0.03	0.31	0.58	0.44	-0.48	0.22
	50～59歳(192)	0.38	0.40	0.27	0.05	0.08	0.10	0.42	0.24	-0.61	0.06
	60～69歳(202)	0.49	0.41	0.17	0.12	0.32	0.25	0.41	0.23	-0.53	0.15
	70歳以上(222)	0.52	0.32	0.23	0.24	0.42	0.21	0.37	0.26	-0.38	0.11
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.76	0.56	0.38	0.22	0.27	0.43	0.45	0.13	-0.61	0.24
	下戸田2地区(251)	0.56	0.47	0.25	0.18	0.09	0.29	0.57	0.43	-0.41	0.19
	上戸田1地区(142)	0.59	0.53	0.55	0.25	0.21	0.31	0.47	0.53	-0.28	0.25
	上戸田2地区(195)	0.51	0.78	0.40	0.12	0.36	0.40	0.53	0.39	-0.64	0.26
	新曽地区(279)	0.63	0.51	0.23	0.13	-0.01	0.21	0.55	0.35	-0.53	0.16
	笹目地区(164)	0.32	0.13	0.41	0.25	0.06	0.13	0.40	0.41	-0.52	0.13
	美女木地区(121)	0.51	0.19	0.38	0.17	0.27	0.17	0.53	0.37	-0.25	0.11
居住期間別	5年未満(160)	0.43	0.43	0.41	0.11	-0.10	0.29	0.57	0.59	-0.41	0.22
	5年以上10年未満(150)	0.61	0.62	0.42	0.21	0.14	0.32	0.62	0.45	-0.42	0.29
	10年以上20年未満(336)	0.65	0.54	0.42	0.23	0.05	0.32	0.59	0.43	-0.56	0.24
	20年以上(662)	0.53	0.43	0.28	0.16	0.28	0.24	0.43	0.27	-0.47	0.14
	無回答(9)	0.56	0.13	-0.22	0.00	0.22	0.56	0.33	0.33	-0.67	0.00

図表 53-1 地域の生活環境【前回比】(平成26年度調査の値と平成22年度調査の値の差)

	保健・衛生							安全							
	(1) ごみの回収	(2) い雨水など水のはけぐあ	(3) の蚊、ハ工等の害虫対策	(4) や医療機関への通院のし	(5) き休日や夜間の急病のと	(6) 生ばい煙いこと	(7) 等振動・騒音(工場・車)	(8) や子どもが外で遊ぶとき	(9) 安全高年齢者の外出や散歩の	(10) れる個人生活の秘密が守ら	(11) 風災害(火災・地震・台	(12) な環境汚染(放射線物質	(13) 夜道の明るさ	(14) 周りの道路の安全性	
全体	0.01	-0.32	-0.06	-0.07	-0.04	0.14	0.13	0.10	-0.01	-0.01	-0.12	0.09	0.01	0.03	
性別	男性	-0.06	-0.40	-0.06	-0.12	-0.08	0.05	0.07	0.04	-0.01	0.00	-0.16	0.05	0.02	0.03
	女性	0.05	-0.26	-0.06	-0.05	-0.01	0.22	0.18	0.14	0.00	-0.03	-0.10	0.10	-0.01	0.04
年齢別	16～19歳	-0.18	0.06	-0.14	0.30	0.10	-0.02	-0.22	0.07	0.15	0.35	0.33	0.14	-0.40	0.18
	20～29歳	0.17	-0.28	0.01	0.09	0.00	0.34	0.19	0.21	0.24	0.16	0.01	0.08	0.02	0.12
	30～39歳	0.11	-0.28	-0.03	-0.01	0.08	0.17	0.10	0.11	0.00	0.00	-0.09	0.17	0.08	0.05
	40～49歳	-0.02	-0.22	0.07	-0.05	0.04	0.33	0.26	0.19	0.15	0.16	-0.05	0.16	0.19	0.13
	50～59歳	-0.13	-0.37	-0.18	-0.19	-0.14	0.07	0.04	0.07	-0.08	-0.12	-0.15	0.12	-0.12	0.04
	60～69歳	-0.08	-0.36	-0.18	-0.07	-0.13	-0.08	0.04	0.01	-0.25	-0.13	-0.30	-0.04	-0.09	-0.10
	70歳以上	-0.03	-0.54	-0.15	-0.26	-0.14	-0.01	0.23	-0.04	-0.07	-0.21	-0.19	-0.03	-0.15	-0.09
居住地区別	下戸田1地区	0.08	-0.30	-0.01	-0.15	-0.09	0.17	0.28	0.23	0.16	0.02	-0.06	0.02	-0.11	0.02
	下戸田2地区	-0.11	-0.28	-0.13	-0.15	-0.15	0.07	0.21	0.06	-0.15	-0.04	-0.12	0.06	-0.11	-0.04
	上戸田1地区	-0.01	-0.67	-0.33	-0.38	-0.40	-0.08	-0.10	0.17	-0.04	-0.09	-0.11	-0.06	-0.07	-0.15
	上戸田2地区	-0.03	-0.08	0.05	0.07	0.12	0.21	0.13	0.15	0.05	0.04	-0.08	0.23	0.09	0.03
	新曽地区	0.01	-0.43	-0.08	-0.06	-0.03	0.18	0.08	0.08	0.00	-0.02	-0.12	0.05	-0.04	0.06
	笹目地区	0.19	-0.19	0.13	0.15	0.29	0.28	0.18	0.00	0.07	0.07	-0.10	0.17	0.28	0.21
	美女木地区	-0.09	-0.34	-0.15	-0.18	-0.12	0.09	0.13	0.04	-0.17	-0.10	-0.28	0.13	0.03	0.10
居住期間別	5年未満	0.05	-0.34	-0.11	-0.03	-0.01	0.11	0.06	0.12	0.11	-0.01	-0.22	0.03	0.01	-0.05
	5年以上10年未満	0.05	-0.11	-0.10	0.05	0.04	0.17	0.23	-0.03	0.04	0.00	-0.02	0.17	0.03	0.15
	10年以上20年未満	0.06	-0.31	-0.06	0.05	0.11	0.21	0.05	0.14	0.00	0.11	-0.04	0.16	-0.06	0.04
	20年以上	-0.05	-0.41	-0.10	-0.17	-0.11	0.07	0.15	0.04	-0.10	-0.05	-0.17	0.01	-0.01	0.00
	無回答	-0.42	-0.64	-0.16	-1.50	-0.67	-0.25	-0.03	0.75	0.31	0.39	0.42	0.40	0.03	0.58

図表 53-2 地域の生活環境【前回比】(平成26年度調査の値と平成22年度調査の値の差)

つづき

		利便					快適				総合 評価
		(15) 日用品の 便・食料品 等の買 利	(16) 通 勤・通 学 の 便 利 さ	(17) 公園・広 場等 の 利 用 の 便 易 さ	(18) 公民館・集 会所等 の 利 便 さ	(19) 郵便局・金 融機 関 の 便 利 さ	(20) 周囲に悪 臭が ない こ と	(21) さ 日 当 たり や 風 通 し の 良 さ	(22) 緑 な ど の 自 然 環 境	(23) 川 の 水 の き れ い さ	
全体		-0.06	0.02	0.07	0.06	0.13	0.13	0.06	0.16	0.21	0.01
性別	男性	-0.07	-0.02	0.07	0.06	0.08	0.09	0.00	0.08	0.15	-0.07
	女性	-0.06	0.04	0.06	0.05	0.17	0.15	0.10	0.22	0.24	0.08
年齢別	16～19歳	-0.05	0.07	0.64	0.64	-0.05	0.29	0.03	0.40	0.28	0.14
	20～29歳	0.14	0.04	0.08	0.18	0.11	0.29	0.20	0.27	0.35	0.26
	30～39歳	-0.09	0.05	0.11	0.06	0.26	0.18	0.05	0.20	0.24	0.00
	40～49歳	-0.06	0.05	0.20	0.16	0.11	0.31	0.14	0.32	0.40	0.19
	50～59歳	-0.26	-0.05	-0.02	-0.03	0.04	0.03	-0.01	0.05	0.21	-0.13
	60～69歳	0.02	0.08	-0.06	-0.06	0.12	0.00	0.04	0.05	-0.01	-0.06
	70歳以上	-0.04	-0.09	-0.09	-0.05	0.07	-0.14	0.02	0.05	-0.02	-0.15
居住地区別	下戸田1地区	-0.08	-0.03	0.01	0.14	0.01	0.11	0.04	0.04	0.08	-0.05
	下戸田2地区	-0.30	-0.11	-0.01	0.08	0.00	0.06	0.10	0.26	0.24	-0.07
	上戸田1地区	-0.10	-0.10	0.11	-0.01	0.11	-0.04	0.00	0.28	0.11	-0.06
	上戸田2地区	-0.38	-0.03	0.03	0.02	0.18	0.26	0.06	0.10	0.31	0.04
	新曽地区	0.20	-0.01	0.18	0.11	0.21	0.19	0.12	0.24	0.21	0.04
	笹目地区	0.13	0.22	0.13	0.07	0.23	0.14	0.00	0.16	0.20	0.19
	美女木地区	0.04	0.21	-0.11	-0.12	0.12	0.07	-0.01	-0.09	0.18	-0.03
居住期間別	5年未満	-0.17	-0.04	-0.08	0.04	0.12	0.15	0.05	0.26	0.03	-0.04
	5年以上10年未満	0.05	0.24	0.20	0.15	0.37	0.28	0.12	0.25	0.30	0.28
	10年以上20年未満	-0.03	0.06	0.23	0.16	0.04	0.21	0.05	0.22	0.20	0.04
	20年以上	-0.07	0.01	0.03	0.00	0.04	0.02	0.11	0.12	0.10	-0.04
	無回答	-0.04	-0.47	0.58	0.00	-0.03	0.76	0.13	0.53	0.13	0.20

(2) 公共施設の利用状況

問 26 あなたは市の施設をどの程度利用していますか。(施設ごとに○は1つ)

市内の公共施設について、平成 26 年度調査では新たな施設（「(9)新曽南多世代交流館（さくらパル）」「(15)福祉保健センター」等）を加えるなど、計 26 施設についてそれぞれの利用状況を尋ねました。

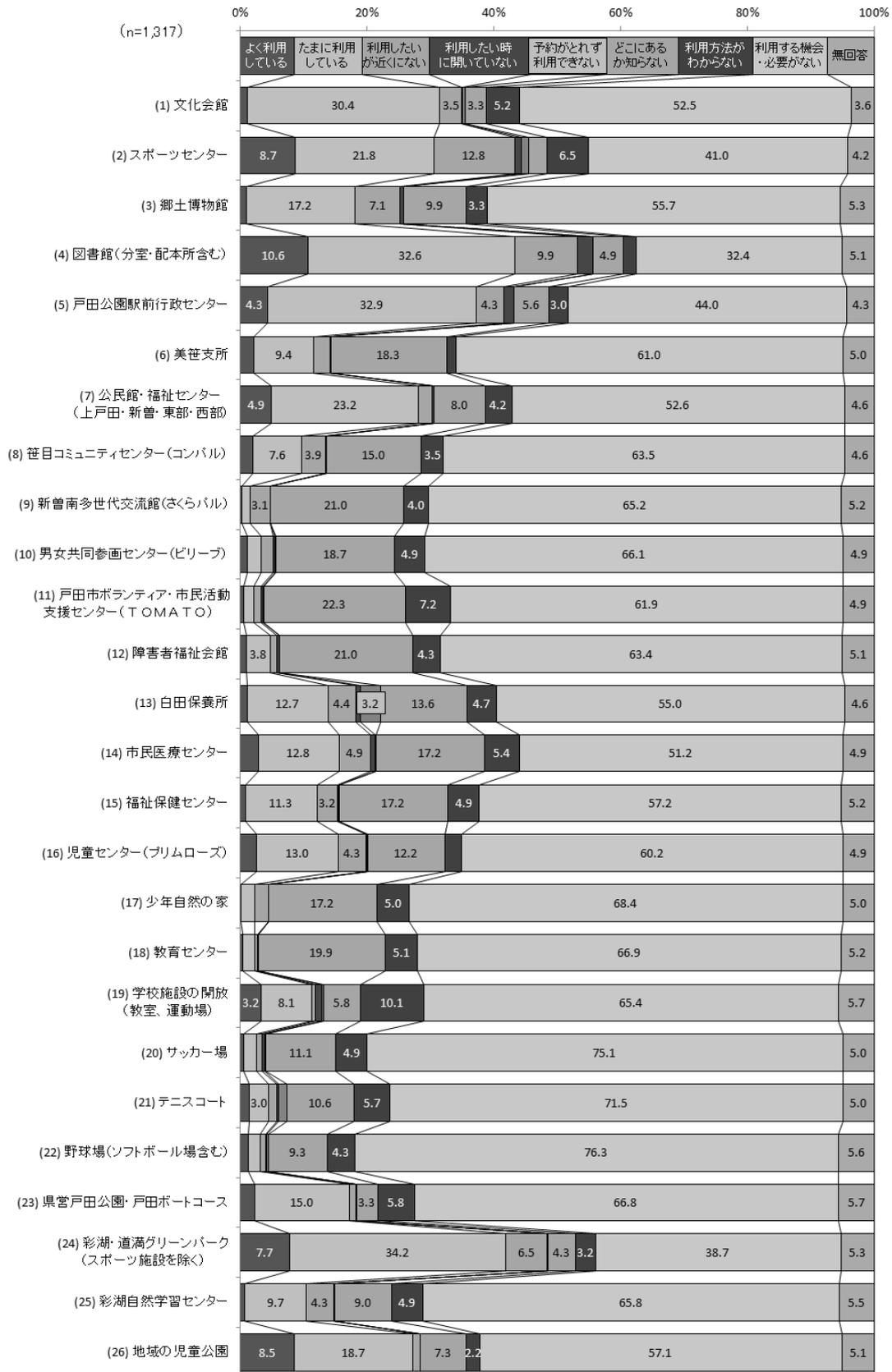
【全体の回答傾向】

- ・「利用する」（「よく利用している」と「たまに利用している」の計。以下同様。）の割合が比較的高い施設は、割合が高いものから「(4)図書館（分室含む）」（43.2%）、「(24)彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」（41.9%）、「(5)戸田公園駅前行政センター」（37.2%）となっています。
- ・一方、利用しない（「よく利用している」「たまに利用している」「利用する機会・必要がない」と「無回答」以外の計。以下同様）の割合が高い施設は、「(11)戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」（31.1%）、次いで「(14)市民医療センター」（28.4%）、「(9)新曽南多世代交流館（さくらパル）」（28.1%）となっています。

【平成 22 年度調査との比較】

- ・平成 22 年度調査（前回調査）と比較すると、ほとんどの施設は「利用する」に大きな変化はありませんが、「(5)戸田公園駅前行政センター」は利用頻度が大きく増加しています（前回比+28.8）。また、「(3)郷土博物館」は、「利用する」が前回比+3.0と増加し、さらに「利用しない」が前回比-7.3と、利用者増加の傾向が見て取れます。
- ・一方、「利用する」が前回比でマイナスとなっていて、「利用する機会・必要がない」が前回比で他の施設より大きくプラスとなっている施設は、「(8)笹目コミュニティセンター（コンパル）」や「(14)市民医療センター」、「(13)白田保養所」、「(11)戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」、「(10)男女共同参画センター（ビリーブ）」であり、それぞれ前回比で+7.0以上となっています。「利用する機会・必要がない」が増えていることに対しては、公共施設の利用者の拡大や、利用方法そのものの再検討など、公共施設の利活用の在り方について検討する必要性を示唆しています。

図表 54 公共施設の利用状況(全体)



(注) 3%未満は非表示

図表 55 公共施設の利用状況(平成 22 年度調査との比較)

施設名	利用する		利用しない		利用する機会・必要がない		無回答	
	H26	H22	H26	H22	H26	H22	H26	H22
(1) 文化会館	31.5	28.4	12.6	13.7	52.5	53.1	3.6	4.8
(2) スポーツセンター	30.5	29.7	24.4	25.4	41.0	39.9	4.2	4.9
(3) 郷土博物館	18.1	15.1	20.8	28.1	55.7	50.9	5.3	6.0
(4) 図書館(分室・配本所含む)	43.2	43.9	19.2	21.4	32.4	29.1	5.1	5.5
(5) 戸田公園駅前行政センター	37.2	8.4	14.5	29.1	44.0	55.4	4.3	7.2
(6) 美笹支所	11.5	-	22.5	-	61.0	-	5.0	-
(7) 公民館・福祉センター (上戸田・新曽・東部・西部)	28.1	29.8	14.7	16.5	52.6	48.6	4.6	5.0
(8) 笹目コミュニティセンター (コンパル)	9.6	11.5	22.5	28.2	63.5	54.6	4.6	5.7
(9) 新曽南多世代交流館(さくらパル)	1.6	-	28.1	-	65.2	-	5.2	-
(10) 男女共同参画センター(ビリーブ)	3.3	4.3	25.9	31.4	66.1	58.5	4.9	5.7
(11) 戸田市ボランティア・市民活動支援 センター(TOMATO)	2.1	2.4	31.1	37.7	61.9	54.2	4.9	5.9
(12) 障害者福祉会館	4.7	7.3	26.8	28.0	63.4	59.2	5.1	5.5
(13) 白田保養所	13.8	14.3	26.6	33.1	55.0	47.1	4.6	5.5
(14) 市民医療センター	15.6	23.5	28.4	27.9	51.2	42.4	4.9	6.2
(15) 福祉保健センター	12.1	-	25.6	-	57.2	-	5.2	-
(16) 児童センター(プリムローズ)	15.5	15.7	19.4	18.6	60.2	59.2	4.9	6.5
(17) 少年自然の家	2.2	2.4	24.4	27.5	68.4	63.6	5.0	6.4
(18) 教育センター	2.2	2.4	25.7	28.1	66.9	63.1	5.2	6.4
(19) 学校施設の開放(教室、運動場)	11.3	12.0	17.7	18.3	65.4	63.1	5.7	6.6
(20) サッカー場	2.6	1.3	17.4	18.3	75.1	74.0	5.0	6.5
(21) テニスコート	4.4	3.9	19.2	19.9	71.5	69.9	5.0	6.2
(22) 野球場(ソフトボール場含む)	3.1	3.2	14.9	15.4	76.3	74.9	5.6	6.4
(23) 県営戸田公園・戸田ポートコース	17.2	19.8	10.2	10.6	66.8	63.3	5.7	6.2
(24) 彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	41.9	38.8	14.1	16.4	38.7	38.7	5.3	6.2
(25) 彩湖自然学習センター	10.4	8.3	18.4	22.3	65.8	63.2	5.5	6.2
(26) 地域の児童公園	27.2	25.7	10.6	10.0	57.1	58.2	5.1	6.2

(注) 表中の「利用する」は「よく利用」と「たまに利用」の合計。また、「利用しない」は「利用したいが近くにない」「利用したい時に開いていない」「予約がとれず利用できない」「どこにあるか知らない」「利用方法がわからない」の合計。

図表 56 公共施設の利用状況(平成26年度調査の値と平成22年度調査の値の差)

施設名	利用する	利用しない	必要がない機会・	無回答
(1) 文化会館	3.1	-1.1	-0.6	-1.2
(2) スポーツセンター	0.8	-1.0	1.1	-0.7
(3) 郷土博物館	3.0	-7.3	4.8	-0.7
(4) 図書館(分室・配本所含む)	-0.7	-2.2	3.3	-0.4
(5) 戸田公園駅前行政センター	28.8	-14.6	-11.4	-2.9
(6) 美笹支所	-	-	-	-
(7) 公民館・福祉センター (上戸田・新曽・東部・西部)	-1.7	-1.8	4.0	-0.4
(8) 笹目コミュニティセンター (コンパル)	-1.9	-5.7	8.9	-1.1
(9) 新曽南多世代交流館(さくらパル)	-	-	-	-
(10) 男女共同参画センター(ビリーブ)	-1.0	-5.5	7.6	-0.8
(11) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)	-0.3	-6.6	7.7	-1.0
(12) 障害者福祉会館	-2.6	-1.2	4.2	-0.4
(13) 白田保養所	-0.5	-6.5	7.9	-0.9
(14) 市民医療センター	-7.9	0.5	8.8	-1.3
(15) 福祉保健センター	-	-	-	-
(16) 児童センター(プリムローズ)	-0.2	0.8	1.0	-1.6
(17) 少年自然の家	-0.2	-3.1	4.8	-1.4
(18) 教育センター	-0.2	-2.4	3.8	-1.2
(19) 学校施設の開放(教室、運動場)	-0.7	-0.6	2.3	-0.9
(20) サッカー場	1.3	-0.9	1.1	-1.5
(21) テニスコート	0.5	-0.7	1.6	-1.2
(22) 野球場(ソフトボール場含む)	-0.1	-0.5	1.4	-0.8
(23) 県営戸田公園・戸田ポートコース	-2.6	-0.4	3.5	-0.5
(24) 彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	3.1	-2.3	0.0	-0.9
(25) 彩湖自然学習センター	2.1	-3.9	2.6	-0.7
(26) 地域の児童公園	1.5	0.6	-1.1	-1.1

【属性別の回答傾向】

・性別にみると、男性は女性と比べて「(23)県営戸田公園・戸田ボートコース」「(24)彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」など屋外・スポーツ施設の利用頻度が高く、一方、女性は「(7)公民館・福祉センター（上戸田・新曾・東部・西部）」「(16)児童センター（プリムローズ）」など文化施設や福祉関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 57-1 公共施設の利用状況「よく利用」・「たまに利用」の合計
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		(1) 文化会館	(2) スポーツセンター	(3) 郷土博物館	(4) 図書館（分室・配本所含む）	(5) 戸田公園駅前行政センター	(6) 美笹支所	(7) 公民館・福祉センター （上戸田・新曾・東部・西部）	(8) 笹目コミュニティセンター （コンパル）	(9) 新曾南多世代交流館 （さくらパル）	(10) 男女共同参画センター （ピリブ）	(11) 戸田市ボランティア・市民活動センター （TOMATO）	(12) 障害者福祉会館	(13) 白田保養所
全体(1,317)		31.4	30.4	18.1	43.3	37.1	11.5	28.1	9.6	1.5	3.3	2.1	4.7	13.8
性別	男性(562)	27.2	30.5	16.9	40.7	34.0	12.1	22.9	8.0	0.6	1.1	1.7	3.9	13.2
	女性(755)	34.6	30.5	19.1	45.2	39.5	11.0	31.9	10.8	2.2	4.9	2.3	5.3	14.3
年齢別	16～19歳(32)	31.3	59.4	21.9	56.3	25.0	9.4	21.9	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	3.1
	20～29歳(129)	20.9	32.6	14.0	47.3	46.5	4.7	11.7	4.7	0.0	1.6	0.0	2.4	5.5
	30～39歳(262)	34.8	36.6	22.1	56.5	46.6	10.0	28.7	9.5	2.7	5.0	1.9	3.1	8.4
	40～49歳(278)	32.8	39.5	21.6	52.8	43.2	10.8	30.9	11.5	1.4	1.1	1.4	5.7	15.1
	50～59歳(192)	25.0	31.2	17.7	41.2	36.4	10.4	24.0	6.8	1.5	3.1	2.6	6.3	8.9
	60～69歳(202)	32.7	21.2	16.3	32.7	29.8	15.9	32.2	8.4	1.0	3.0	3.0	5.5	14.4
	70歳以上(222)	36.5	14.0	13.1	23.0	22.1	15.3	34.3	14.9	1.9	5.4	3.2	5.0	28.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	25.4	16.4	7.3	27.9	25.5	0.0	27.3	3.0	0.0	1.2	1.8	4.8	15.1
	下戸田2地区(251)	29.5	25.1	16.7	45.9	50.6	2.4	36.3	3.2	1.6	2.0	2.8	12.8	12.0
	上戸田1地区(142)	39.4	33.1	17.6	47.2	33.8	1.4	28.1	3.5	2.1	9.1	2.8	2.1	11.3
	上戸田2地区(195)	34.8	30.3	19.0	43.6	77.5	0.5	24.6	4.1	2.6	3.0	1.5	3.6	12.3
	新曾地区(279)	32.3	43.0	21.9	50.5	31.9	2.2	31.6	8.7	2.6	4.6	1.1	2.1	12.2
	笹目地区(164)	32.9	29.2	22.5	41.4	14.6	44.5	22.0	32.3	0.6	1.2	1.2	1.8	20.7
	美女木地区(121)	24.8	30.5	20.7	39.7	6.6	52.1	18.2	19.0	0.0	1.6	4.1	2.5	15.7

・年齢別にみると、70歳以上を除くすべての年代は、「(4)図書館（分室含む）」「(24)彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」ともに利用頻度が上位3位までに入っています。これに加えて、70歳以上は「(1)文化会館」「(7)公民館・福祉センター（上戸田・新曽・東部・西部）」「(13)白田保養所」など文化施設や福祉関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 57-2 公共施設の利用状況「よく利用」・「たまに利用」の合計
（全体・性別・年齢別・居住地区別）つづき

		(14) 市民医療センター	(15) 福祉保健センター	(16) 児童センター（プリムローズ）	(17) 少年自然の家	(18) 教育センター	(19) 学校施設の開放（教室、運動場）	(20) サッカー場	(21) テニスコート	(22) 野球場（ソフトボール場含む）	(23) ス県営戸田公園・戸田ボートコース	(24) 彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）	(25) 彩湖自然学習センター	(26) 地域の児童公園
全体(1,317)		15.6	12.1	15.5	2.2	2.2	11.3	2.6	4.3	3.1	17.2	42.0	10.4	27.2
性別	男性(562)	12.1	9.1	11.0	2.5	2.3	10.3	2.8	4.4	4.8	19.8	45.0	10.8	24.1
	女性(755)	18.2	14.3	18.8	2.0	2.1	12.0	2.4	4.2	1.9	15.4	39.7	10.1	29.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	0.0	28.1	6.3	6.3	9.4	9.4	9.4	3.1	12.5	34.4	12.5	34.4
	20～29歳(129)	7.0	10.9	11.7	0.0	0.0	3.1	0.8	3.9	2.3	14.8	36.5	6.2	16.3
	30～39歳(262)	21.0	28.3	28.6	0.8	1.2	18.3	5.3	3.8	3.0	23.2	59.2	12.2	46.6
	40～49歳(278)	18.7	9.7	24.8	5.4	2.6	23.4	4.4	6.9	8.0	22.3	55.0	15.8	38.9
	50～59歳(192)	11.9	5.7	9.9	2.1	4.1	6.2	1.0	6.2	1.5	15.6	38.6	13.0	18.2
	60～69歳(202)	14.4	6.9	5.0	2.0	2.0	3.0	0.0	3.0	1.0	15.9	34.2	7.4	17.8
	70歳以上(222)	15.8	8.6	3.2	0.9	2.3	5.0	0.9	1.0	0.9	8.6	19.8	4.1	11.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	2.4	5.4	7.3	1.2	0.6	7.9	0.6	3.6	2.4	12.7	26.6	7.9	20.7
	下戸田2地区(251)	10.8	13.1	9.6	4.0	4.4	10.4	3.2	5.2	3.2	24.3	40.7	6.0	29.9
	上戸田1地区(142)	9.9	16.9	12.0	2.1	3.5	7.7	2.1	6.3	2.8	18.3	35.2	11.3	25.4
	上戸田2地区(195)	8.7	12.3	13.4	2.6	2.6	8.2	2.0	4.1	1.0	26.7	35.4	8.7	28.2
	新曽地区(279)	14.7	14.3	20.8	1.1	2.2	14.4	3.6	4.4	2.8	15.7	45.2	10.1	27.3
	笹目地区(164)	31.7	7.9	23.1	1.2	0.6	12.2	1.8	3.6	4.2	9.7	51.8	9.7	24.4
	美女木地区(121)	41.3	13.2	23.9	3.3	0.0	19.0	4.1	2.5	6.6	5.8	63.6	26.5	34.7

6. 地域コミュニティについて

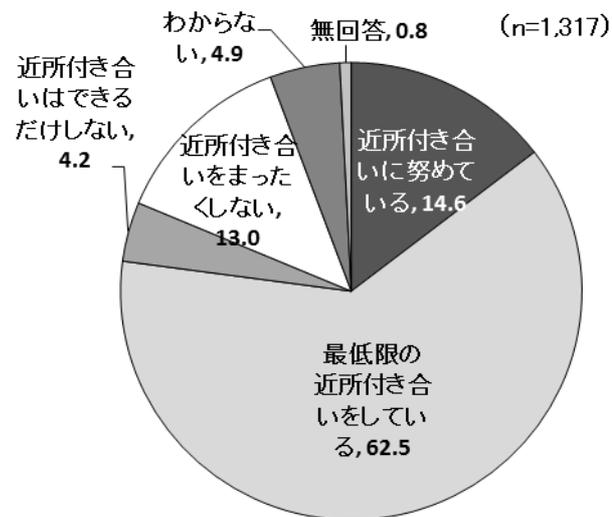
(1) 近所付き合いの程度

問 27 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「近所付き合いに努めている」が14.6%となっています。また、「最低限の近所付き合いをしている」が62.5%と、半数以上を占めています。

図表 58 近所付き合いの程度(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性に比べて女性は「近所付き合いに努めている」が多く、反対に女性に比べて男性は「近所付き合いをまったくしない」が多くなっています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるほど「近所付き合いに努めている」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区で「近所付き合いに努めている」(18.3%)が最も高くなっています。一方、上戸田1地区で「近所付き合いをまったくしない」(16.9%)が最も高くなっています。

図表 59 近所付き合いの程度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		い 近 所 付 き 合 い に 努 め て	を 最 低 限 の 近 所 付 き 合 い	だ 近 所 付 き 合 い は で き る	く 近 所 付 き 合 い を ま っ た	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,317)		14.6	62.5	4.2	13.0	4.9	0.8
性別	男性(562)	11.0	61.2	5.5	15.3	6.4	0.5
	女性(755)	17.2	63.4	3.2	11.3	3.8	1.1
年齢別	16～19歳(32)	6.3	68.8	3.1	9.4	12.5	0.0
	20～29歳(129)	7.0	52.7	2.3	27.1	10.1	0.8
	30～39歳(262)	9.9	62.2	5.0	18.3	4.6	0.0
	40～49歳(278)	12.9	65.8	5.4	11.9	4.0	0.0
	50～59歳(192)	9.9	66.7	5.2	12.0	4.7	1.6
	60～69歳(202)	17.3	66.8	4.0	7.4	4.5	0.0
	70歳以上(222)	29.3	55.9	2.3	6.3	3.2	3.2
居住地区別	下戸田1地区(165)	16.4	59.4	4.8	10.3	7.3	1.8
	下戸田2地区(251)	13.9	63.3	3.2	14.3	4.4	0.8
	上戸田1地区(142)	16.2	54.9	3.5	16.9	7.0	1.4
	上戸田2地区(195)	12.8	66.7	7.7	10.3	2.6	0.0
	新曽地区(279)	11.8	65.2	2.2	14.7	5.4	0.7
	笹目地区(164)	18.3	62.2	5.5	9.1	4.3	0.6
	美女木地区(121)	15.7	61.2	3.3	14.9	4.1	0.8

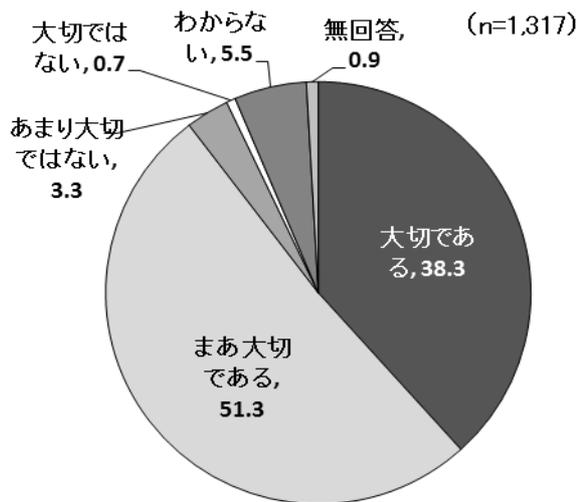
(2) 近所付き合いの大切さ

問 28 あなたは、近所付き合いは大切だと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの大切さについて、「大切である」が 38.3%、「まあ大切である」が 51.3%と、約 90%となっています。

図表 60 近所付き合いは大切か



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、年齢が上がるほど大切である割合（「大切である」と「まあ大切である」の合計）が高くなる傾向です。特に70歳以上は「大切である」が54.1%と他の年代と比べて突出して高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区と美女木地区で90%を超える人が大切である（「大切である」と「まあ大切である」の割合の合計）と感じています。

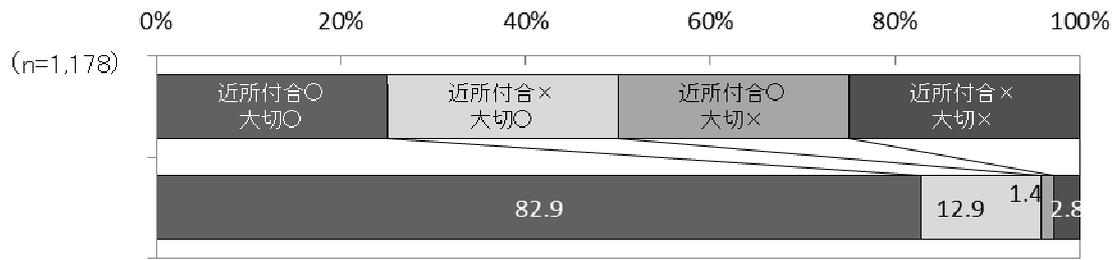
図表 61 近所付き合いは大切か(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		大切である	まあ大切である	あまり大切ではない	大切ではない	わからない	無回答
全体(1,317)		38.3	51.3	3.3	0.7	5.5	0.9
性別	男性(562)	35.4	53.6	3.9	0.9	5.2	1.1
	女性(755)	40.4	49.5	2.9	0.5	5.8	0.8
年齢別	16～19歳(32)	37.5	50.0	6.3	0.0	6.3	0.0
	20～29歳(129)	35.7	50.4	4.7	1.6	7.0	0.8
	30～39歳(262)	37.4	52.7	3.8	0.8	5.3	0.0
	40～49歳(278)	29.9	60.4	3.2	0.4	6.1	0.0
	50～59歳(192)	34.4	54.7	4.2	1.0	4.2	1.6
	60～69歳(202)	39.1	49.5	3.0	0.5	6.9	1.0
	70歳以上(222)	54.1	37.4	1.4	0.5	4.1	2.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	33.9	53.3	1.2	0.6	8.5	2.4
	下戸田2地区(251)	39.0	52.2	2.0	0.0	5.6	1.2
	上戸田1地区(142)	35.9	52.1	3.5	0.7	5.6	2.1
	上戸田2地区(195)	42.1	47.2	4.1	0.0	6.7	0.0
	新曽地区(279)	35.8	53.0	4.3	1.4	5.0	0.4
	笹目地区(164)	42.7	47.0	5.5	0.0	4.3	0.6
	美女木地区(121)	38.8	53.7	2.5	2.5	2.5	0.0

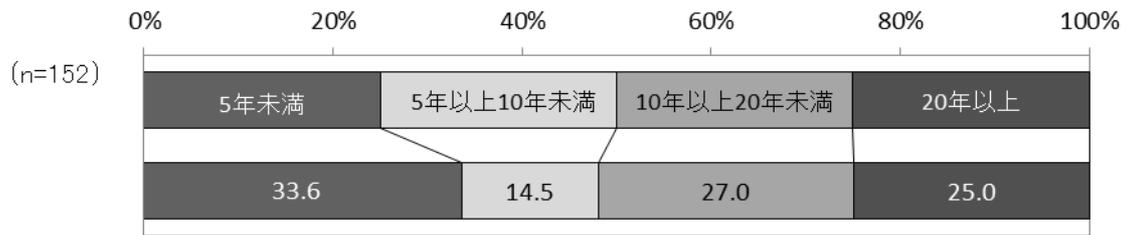
【近所付き合いに関する行動と意識について】

- ・近所付き合いについて、問 27 で行動を、問 28 では意識について回答を得ました。各標本の回答を、行動と意識の回答によって 4 つに分けて分析しました。行動については、「近所付き合いに努めている」及び「最低限の近所付き合いをしている」と回答した場合は○（行動している）、「近所付き合いはできるだけしない」及び「近所付き合いをまったくしない」の場合は×（行動していない）としました。また、意識については、「大切である」及び「まあ大切である」と回答した場合は○（大切だと思っている）、「あまり大切ではない」及び「大切ではない」の場合は×（大切だと思っていない）としました。行動と意識の○、×の組み合わせにより、4 つの区分に分けて集計しました。
- ・近所付き合いに関する行動と意識に関する全体（n=1,178）では、「近所付合○大切○」が 82.9%とほとんどを占めており、次いで、「近所付合×大切○」が 12.9%でした。
- ・「近所付合×大切○」の層（n=152）に着目すると、居住期間では、「5 年未満」が 33.6%と最も高い割合でした。「20 年以上」は、25.0%であり、全体（50.3%。図表 6）よりも大幅に低い値でした。
- ・また、子どもの人数で見ると、子どもがいない（0 人）の割合が 48.0%であり、全体全体（24.5%。図表 12）より高くなっています。
- ・さらにもう一つの特徴として、住宅の種類で見ると、「近所付合×大切○」の層（n=152）では、「借家(民間アパート・マンション)」の割合が 49.3%と最も高く、全体（32.1%。図表 7）と比べて高くなっています。また、「持ち家(戸建て)」は 11.8%と全体（37.4%。図表 7）と比べて低い割合となっています。

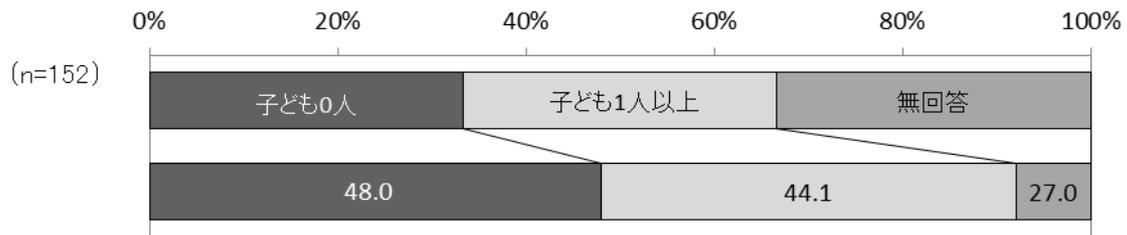
図表 62 近所付き合いに関する行動と意識について(全体)



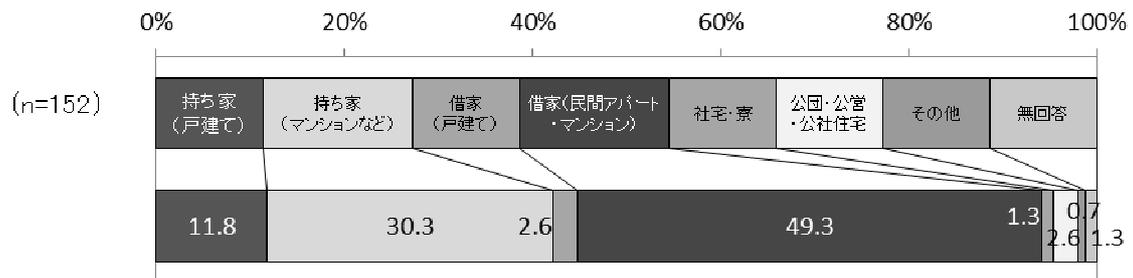
図表 63 「近所付合×大切○」の居住期間



図表 64 「近所付合×大切○」の子ども人数



図表 65 「近所付合×大切○」の住宅の種類



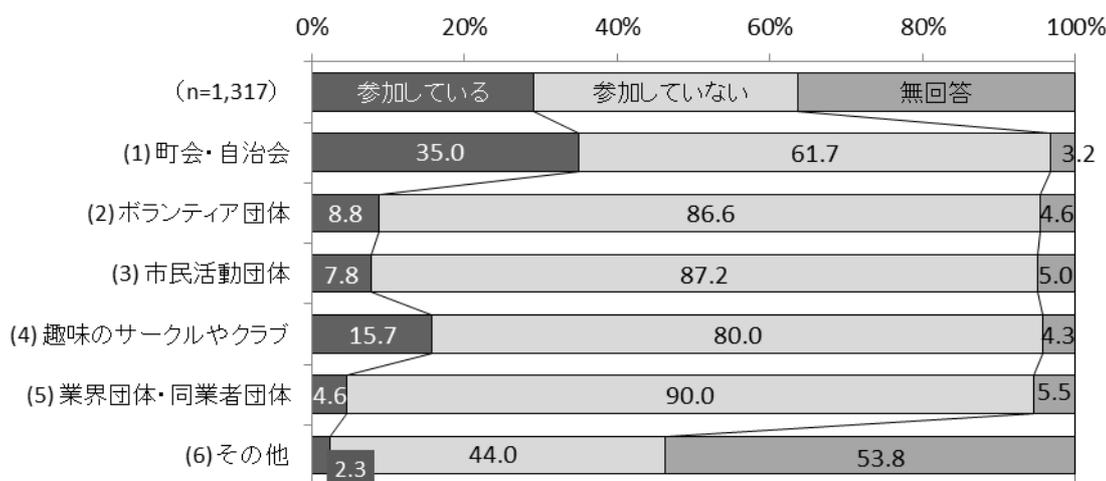
(3) 団体等の活動への参加

問 29 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。(活動内容ごとに○は1つずつ)

【全体の回答傾向】

- ・地域の団体等の活動への参加状況について、参加割合が比較的高い団体等は「(1) 町会・自治会」が 35.0%と最も多く、次いで「(4) 趣味のサークルやクラブ」が 15.7%となっています。

図表 66 団体等の活動への参加(全体)



(注) 参加している = 「まったく参加していない」「無回答」以外の合計

参加していない = 「まったく参加していない」

- ・団体活動別にみると、「(4) 趣味のサークルやクラブ」は、比較的参加頻度が高くなっています。

図表 67 団体等の活動への参加頻度

	ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度
(1) 町会・自治会(462)	0.6	6.3	16.7	42.6	33.8
(2) ボランティア団体(116)	0.0	19.8	17.2	32.8	30.2
(3) 市民活動団体(103)	0.0	8.7	15.5	35.0	40.8
(4) 趣味のサークルやクラブ(207)	2.4	42.0	30.9	15.5	9.2
(5) 業界団体・同業者団体(59)	3.4	3.4	23.7	42.4	27.1
(6) その他(28)	3.6	21.4	32.1	21.4	21.4

【属性別の回答傾向】

①町会・自治会への参加

- ・性別にみると、女性は男性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代は「全く参加していない」が90%を超えています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区は、参加頻度が他の地区に比べ高くなっています。

図表 68 団体等の活動への参加頻度①町会・自治会(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.2	2.2	5.8	15.0	11.8	61.7	3.2
性別	男性(562)	0.0	2.1	5.7	12.8	12.6	63.7	3.0
	女性(755)	0.4	2.3	6.0	16.6	11.3	60.3	3.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	84.4	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.8	0.0	5.4	2.3	90.7	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.0	3.8	14.5	9.2	72.5	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	0.0	6.1	14.4	13.7	65.1	0.7
	50〜59歳(192)	0.0	1.0	4.7	16.1	17.7	57.3	3.1
	60〜69歳(202)	0.0	3.5	8.4	20.3	15.8	48.5	3.5
	70歳以上(222)	1.4	8.6	10.8	18.0	9.9	40.5	10.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	1.2	5.5	17.6	8.5	61.8	5.5
	下戸田2地区(251)	0.4	1.6	6.0	13.9	15.1	59.8	3.2
	上戸田1地区(142)	0.0	0.7	4.9	15.5	11.3	65.5	2.1
	上戸田2地区(195)	0.0	2.6	6.2	10.8	10.3	68.2	2.1
	新曽地区(279)	0.4	1.1	3.6	13.6	10.4	67.7	3.2
	笹目地区(164)	0.0	5.5	7.3	18.3	12.8	52.4	3.7
	美女木地区(121)	0.8	4.1	9.9	18.2	14.9	49.6	2.5

②ボランティア団体への参加

- ・性別にみると、女性は男性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ70歳以上の参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田1地区は、「まったく参加していない」が90%を超えています。

図表 69 団体等活動への参加頻度②ボランティア団体(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.0	1.7	1.5	2.9	2.7	86.6	4.6
性別	男性(562)	0.0	0.2	1.8	2.0	2.5	89.0	4.6
	女性(755)	0.0	1.1	0.8	3.3	3.7	85.8	5.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	84.4	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.8	0.0	2.3	3.1	93.0	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.4	0.0	1.9	3.1	94.7	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	0.4	2.9	3.2	1.4	91.7	0.4
	50〜59歳(192)	0.0	2.1	0.5	2.1	2.1	89.1	4.2
	60〜69歳(202)	0.0	3.0	0.5	3.0	3.0	86.1	4.5
	70歳以上(222)	0.0	4.5	4.5	5.0	2.7	65.3	18.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	1.8	0.6	1.8	5.5	84.2	6.1
	下戸田2地区(251)	0.0	2.0	1.2	4.0	2.8	84.9	5.2
	上戸田1地区(142)	0.0	0.0	0.7	0.7	2.1	90.8	5.6
	上戸田2地区(195)	0.0	2.1	1.5	3.6	2.6	88.2	2.1
	新曽地区(279)	0.0	1.4	1.4	2.9	3.2	86.7	4.3
	笹目地区(164)	0.0	1.8	2.4	3.7	0.0	85.4	6.7
	美女木地区(121)	0.0	3.3	3.3	2.5	1.7	86.8	2.5

③市民活動団体への参加

- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ70歳以上の参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田2地区は「まったく参加していない」が90%を超えています。

図表 70 団体等の活動への参加頻度③市民活動団体(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.0	0.7	1.2	2.7	3.2	87.2	5.0
性別	男性(562)	0.0	1.4	1.6	2.8	2.0	88.4	3.7
	女性(755)	0.0	2.0	1.5	2.9	3.2	85.2	5.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	87.5	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.0	0.0	2.3	1.6	95.3	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.4	0.4	1.5	1.9	95.8	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	0.4	0.7	2.2	2.2	93.9	0.7
	50〜59歳(192)	0.0	1.6	0.5	1.0	3.1	88.5	5.2
	60〜69歳(202)	0.0	0.5	1.5	3.5	5.4	85.1	4.0
	70歳以上(222)	0.0	1.4	4.1	6.3	4.5	64.4	19.4
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	0.6	0.0	2.4	4.8	86.7	5.5
	下戸田2地区(251)	0.0	0.4	0.8	4.0	3.6	85.3	6.0
	上戸田1地区(142)	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	87.3	7.0
	上戸田2地区(195)	0.0	1.5	1.5	1.0	3.1	90.8	2.1
	新曽地区(279)	0.0	1.1	1.8	2.2	2.5	87.5	5.0
	笹目地区(164)	0.0	0.0	1.2	3.0	3.7	86.0	6.1
	美女木地区(121)	0.0	0.8	3.3	4.1	1.7	86.8	3.3

④趣味のサークルやクラブへの参加

- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区は参加割合が他の地区に比べ高くなっています。

図表 71 団体等の活動への参加頻度④趣味のサークルやクラブ
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	なまじく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.4	6.6	4.9	2.4	1.4	80.0	4.3
性別	男性(562)	0.0	5.3	5.2	3.0	1.1	81.0	4.4
	女性(755)	0.7	7.5	4.6	2.0	1.7	79.2	4.2
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	3.1	0.0	0.0	9.4	81.3	6.3
	20〜29歳(129)	0.8	3.1	0.8	0.8	0.8	93.0	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	2.7	5.7	2.3	1.5	87.8	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	4.0	4.3	2.9	0.7	87.8	0.4
	50〜59歳(192)	0.5	8.3	4.7	1.0	1.0	80.2	4.2
	60〜69歳(202)	0.0	7.9	5.0	3.5	1.5	79.2	3.0
	70歳以上(222)	1.4	14.4	7.7	3.6	1.8	53.6	17.6
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	6.7	4.8	1.2	0.6	81.2	5.5
	下戸田2地区(251)	0.8	6.4	2.0	2.8	2.4	80.9	4.8
	上戸田1地区(142)	0.0	6.3	5.6	3.5	0.7	77.5	6.3
	上戸田2地区(195)	0.5	4.6	6.2	2.6	1.5	83.1	1.5
	新曽地区(279)	0.4	6.8	5.0	2.2	1.1	80.6	3.9
	笹目地区(164)	0.0	10.4	5.5	3.0	0.6	75.0	5.5
	美女木地区(121)	0.8	5.0	6.6	1.7	3.3	79.3	3.3

⑤業界団体・同業者団体への参加

- ・性別にみると、男性は女性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて参加割合が高くなっています
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区は、他の地区に比べ「まったく参加していない」の割合が低くなっています。

図表 72 団体等の活動への参加頻度⑤業界団体・同業者団体
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.2	0.2	1.1	1.9	1.2	90.0	5.5
性別	男性(562)	0.0	1.4	1.6	2.8	1.4	88.4	5.0
	女性(755)	0.1	0.3	0.4	1.1	1.1	91.1	6.0
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	87.5	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	99.2	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.0	0.8	0.8	1.1	97.3	0.0
	40〜49歳(278)	0.4	0.0	0.7	1.4	0.4	96.4	0.7
	50〜59歳(192)	0.5	0.0	2.1	2.6	1.0	89.6	4.2
	60〜69歳(202)	0.0	0.0	1.5	3.0	1.5	88.6	5.4
	70歳以上(222)	0.0	0.9	1.4	3.6	2.3	69.8	22.1
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	0.0	0.0	1.8	0.6	91.5	6.1
	下戸田2地区(251)	0.0	0.4	1.6	1.2	1.6	89.2	6.0
	上戸田1地区(142)	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	90.1	5.6
	上戸田2地区(195)	0.0	0.0	0.5	1.5	1.5	93.3	3.1
	新曽地区(279)	0.0	0.4	1.4	1.1	1.1	90.7	5.4
	笹目地区(164)	1.2	0.0	0.0	3.7	0.6	86.6	7.9
	美女木地区(121)	0.0	0.0	2.5	4.1	1.7	86.8	5.0

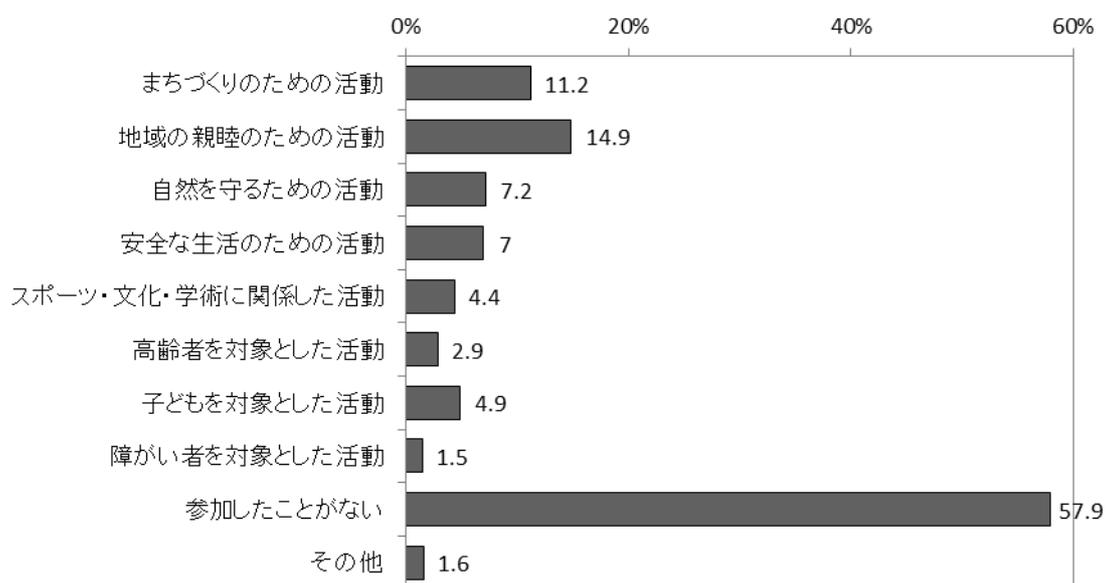
(4) 地域活動やボランティア活動への参加

問 30 あなたは、ここ 1 年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。
参加したものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことがない」が 57.9%と最も高くなっています。
- ・一方、活動に参加した人では、地域住民による祭りや運動会などの「地域の親睦のための活動」が 14.9%と最も高く、次いで道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動などの「まちづくりのための活動」が 11.2%と高くなっています。

図表 73 地域活動やボランティア活動への参加(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「(2) 地域の親睦のための活動」「(7) 子どもを対象とした活動」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「(2) スポーツ・文化・学術に関係した活動」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、70歳以上は他の年齢に比べ「(1) まちづくりのための活動」(24.8%)、「(2) 地域の親睦のための活動」(21.2%)及び「(3) 自然を守るための活動」(17.1%)が最も高くなっています。また、40歳代は、他の年代に比べ「(4) 安全な生活のための活動」(14.4%)が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区は他の地区に比べ、「(1) まちづくりのための活動」(24.0%)、「(2) 地域の親睦のための活動」(24.8%)及び「(3) 自然を守るための活動」(14.9%)が最も高くなっています。また、笹目地区は他の地区に比べ「(6) 高齢者を対象とした活動」(6.1%)が最も高くなっています。

図表 74 地域活動やボランティア活動への参加(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		(1) 活 ま ち づ く り の た め の	(2) 活 地 域 の 親 睦 の た め の	(3) 動 自 然 を 守 る た め の 活	(4) 活 安 全 な 生 活 の た め の	(5) 術 ス ポ ー ツ ・ 文 化 ・ 学 に 関 係 し た 活 動	(6) 活 高 齢 者 を 対 象 と し た	(7) 活 子 ど も を 対 象 と し た	(8) た 障 が い 者 を 対 象 と し	(9) 参 加 し た こ と が な い	(10) そ の 他
全体(1,317)		11.2	14.9	7.2	7.0	4.4	2.9	4.9	1.5	57.9	1.6
性別	男性(562)	11.6	12.5	6.6	7.1	5.3	2.3	2.7	1.8	60.0	1.8
	女性(755)	11.0	16.7	7.7	6.9	3.7	3.3	6.5	1.3	56.3	1.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	12.5	3.1	3.1	3.1	0.0	3.1	0.0	62.5	3.1
	20～29歳(129)	3.9	5.4	2.3	0.0	5.4	0.8	4.7	2.3	72.9	0.0
	30～39歳(262)	4.6	13.0	1.9	4.2	2.7	1.1	7.6	0.8	61.8	1.1
	40～49歳(278)	10.4	19.1	5.8	14.4	4.7	0.4	8.6	1.1	56.8	0.7
	50～59歳(192)	9.9	9.4	6.3	4.7	5.2	0.5	3.1	1.0	59.4	1.0
	60～69歳(202)	12.9	16.3	9.9	6.9	4.5	7.4	2.5	2.0	57.4	4.5
	70歳以上(222)	24.8	21.2	17.1	7.7	5.0	7.7	0.9	2.7	44.1	1.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	7.3	10.9	7.3	6.1	4.2	4.2	1.2	0.6	57.0	3.6
	下戸田2地区(251)	12.4	16.7	6.0	8.0	5.2	2.4	6.0	2.8	61.0	0.0
	上戸田1地区(142)	7.7	12.0	4.2	7.7	2.1	0.7	1.4	0.7	65.5	0.7
	上戸田2地区(195)	8.7	11.3	7.2	6.7	6.2	1.5	4.6	1.5	56.4	2.1
	新嘗地区(279)	8.6	14.3	7.2	5.7	2.9	2.5	7.2	1.4	59.1	1.8
	笹目地区(164)	14.6	16.5	6.1	9.1	5.5	6.1	4.9	1.8	53.0	1.2
	美女木地区(121)	24.0	24.8	14.9	5.8	5.0	3.3	6.6	0.8	49.6	2.5

7. 市政への参加について

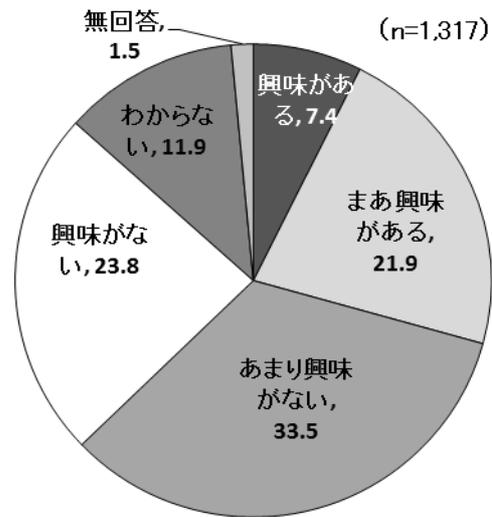
(1) 市政参加への興味

問 31 あなたは、市政への参加（市の会議への参加やイベントの企画運営など）に興味がありますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・ 市政参加への興味は、「あまり興味がない」（33.5%）と「興味がない」（23.8%）を合わせた否定的な意見が 57.3%となっています。

図表 75 市政参加への興味(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、興味がある傾向にあります。また、20歳代は「興味がある」の割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、新曽地区で「あまり興味が無い」と「興味が無い」を合わせると60%を超えており、最も高くなっています。

図表 76 市政参加への興味(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		興味がある	まあ興味がある	あまり興味がない	興味がない	わからない	無回答
全体(1,317)		7.4	21.9	33.5	23.8	11.9	1.5
性別	男性(562)	9.6	23.7	33.1	22.6	9.8	1.2
	女性(755)	5.7	20.7	33.8	24.6	13.5	1.7
年齢別	16～19歳(32)	3.1	28.1	21.9	31.3	15.6	0.0
	20～29歳(129)	10.1	24.8	26.4	31.0	6.2	1.6
	30～39歳(262)	7.3	20.6	32.8	28.2	10.7	0.4
	40～49歳(278)	2.5	19.4	41.0	25.9	10.4	0.7
	50～59歳(192)	4.7	26.0	34.4	20.8	13.0	1.0
	60～69歳(202)	10.4	17.8	37.6	19.8	13.4	1.0
	70歳以上(222)	12.2	24.3	26.1	16.7	15.8	5.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	4.8	20.6	32.7	26.1	11.5	4.2
	下戸田2地区(251)	8.0	23.1	33.9	22.3	11.2	1.6
	上戸田1地区(142)	8.5	27.5	28.2	23.2	10.6	2.1
	上戸田2地区(195)	7.7	27.2	35.9	20.5	8.7	0.0
	新曽地区(279)	8.2	18.6	34.8	26.2	11.8	0.4
	笹目地区(164)	7.3	18.3	35.4	23.8	12.8	2.4
	美女木地区(121)	5.8	19.0	30.6	24.0	19.8	0.8

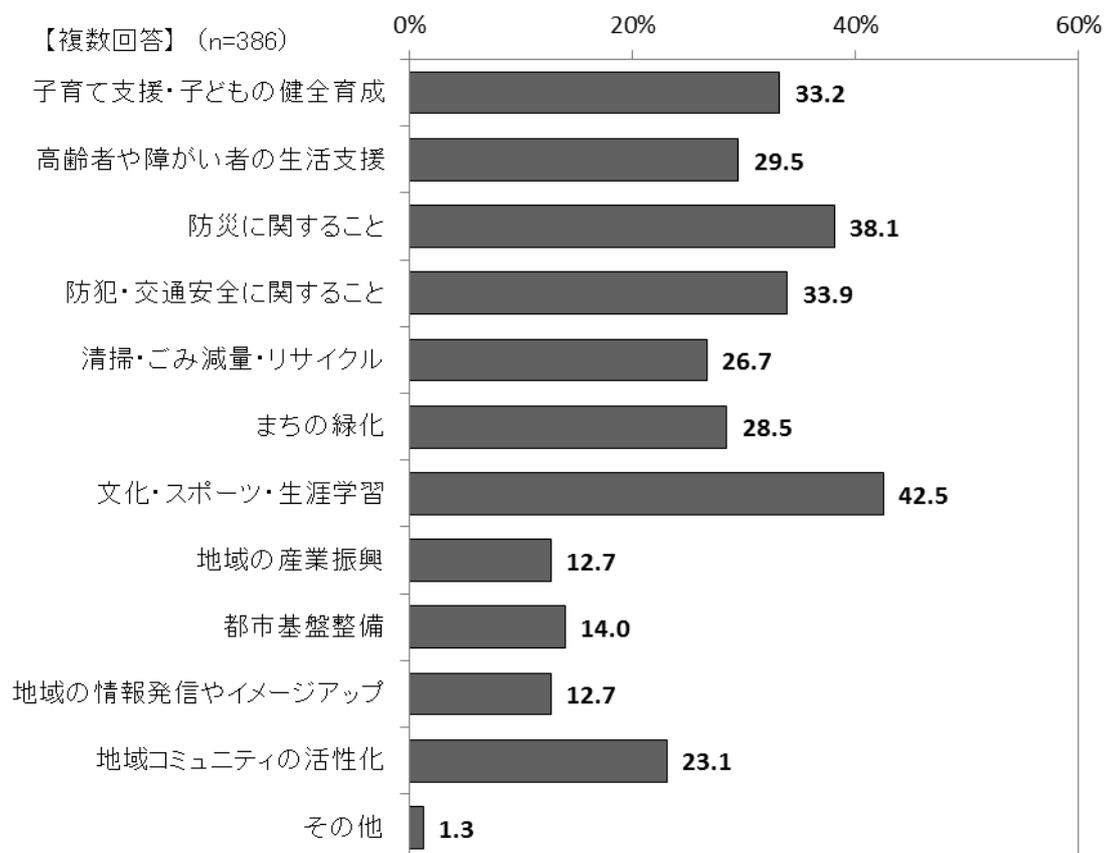
(2) 参加に興味のある市政の分野

問 32 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・参加に興味のある市政の分野については、問 31 で市政参加に「興味がある」及び「まあ興味がある」と回答した層 (n=386) に絞り、集計を行いました。
- ・結果は、「文化・スポーツ・生涯学習」(42.5%) が最も高く、次いで、「防災に関すること」が 38.1%、「防犯・交通安全に関すること」が 33.9%と高くなっています。

図表 77 参加に興味のある市政の分野(市政参加への興味がある層)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「防災に関すること」や「防犯・交通安全に関すること」で高く、女性は男性に比べ、「文化・スポーツ・生涯学習」や「地域コミュニティの活性化」で高くなっています。
- ・年齢別では、全ての年代で標本数が少ないことに注意が必要ですが、50歳未満と50歳以上で分かれる傾向が見られます。50歳未満では、「子育て支援・子どもの健全育成」や、「地域の産業振興」、「地域の情報発信やイメージアップ」で高い傾向があり、一方、50歳以上では、「高齢者や障がい者の生活支援」や「防災に関すること」、「清掃・ごみ減量・リサイクル」や「地域コミュニティの活性化」で高い割合になっています。

図表 78 参加に興味のある市政の分野(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健全育成	子育て支援・子どもの	高齢者や障がい者の生活	防災に関すること	防犯・交通安全に関する	清掃・ごみ減量・リサ	ま	学文化・スポーツ・生涯	地域の産業振興	都市基盤整備	地域の情報発信やイ	地域コミュニティの活	その他
全体(386)		33.2	29.5	38.1	33.9	26.7	28.5	42.5	12.7	14.0	12.7	23.1	1.3	
性別	男性(187)	32.6	28.9	43.9	39.0	27.8	28.9	40.1	16.0	21.4	14.4	21.9	1.6	
	女性(199)	33.7	30.2	32.7	29.1	25.6	28.1	44.7	9.5	7.0	11.1	24.1	1.0	
年齢別	16～19歳(10)	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	50.0	50.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	
	20～29歳(45)	35.6	13.3	26.7	26.7	22.2	35.6	48.9	15.6	11.1	24.4	22.2	4.4	
	30～39歳(73)	72.6	26.0	37.0	35.6	20.5	28.8	41.1	21.9	21.9	9.6	19.2	0.0	
	40～49歳(61)	39.3	18.0	34.4	36.1	14.8	19.7	50.8	18.0	19.7	18.0	18.0	0.0	
	50～59歳(59)	20.3	40.7	42.4	30.5	25.4	28.8	37.3	10.2	13.6	8.5	25.4	1.7	
	60～69歳(57)	19.3	40.4	52.6	36.8	29.8	33.3	47.4	7.0	14.0	10.5	36.8	0.0	
	70歳以上(81)	11.1	35.8	37.0	37.0	44.4	24.7	33.3	4.9	6.2	9.9	22.2	2.5	
居住地区別	下戸田1地区(42)	19.0	33.3	47.6	35.7	26.2	40.5	35.7	14.3	9.5	14.3	23.8	4.8	
	下戸田2地区(78)	33.3	32.1	47.4	37.2	26.9	24.4	50.0	9.0	14.1	12.8	20.5	1.3	
	上戸田1地区(51)	35.3	27.5	33.3	43.1	25.5	39.2	31.4	15.7	35.3	15.7	25.5	2.0	
	上戸田2地区(68)	32.4	23.5	32.4	33.8	17.6	19.1	55.9	16.2	13.2	13.2	19.1	0.0	
	新曽地区(75)	34.7	26.7	36.0	25.3	29.3	32.0	45.3	12.0	9.3	16.0	26.7	1.3	
	笹目地区(42)	45.2	33.3	31.0	28.6	31.0	16.7	26.2	9.5	4.8	4.8	16.7	0.0	
	美女木地区(30)	30.0	36.7	36.7	36.7	36.7	33.3	36.7	13.3	10.0	6.7	33.3	0.0	

8. 防災について

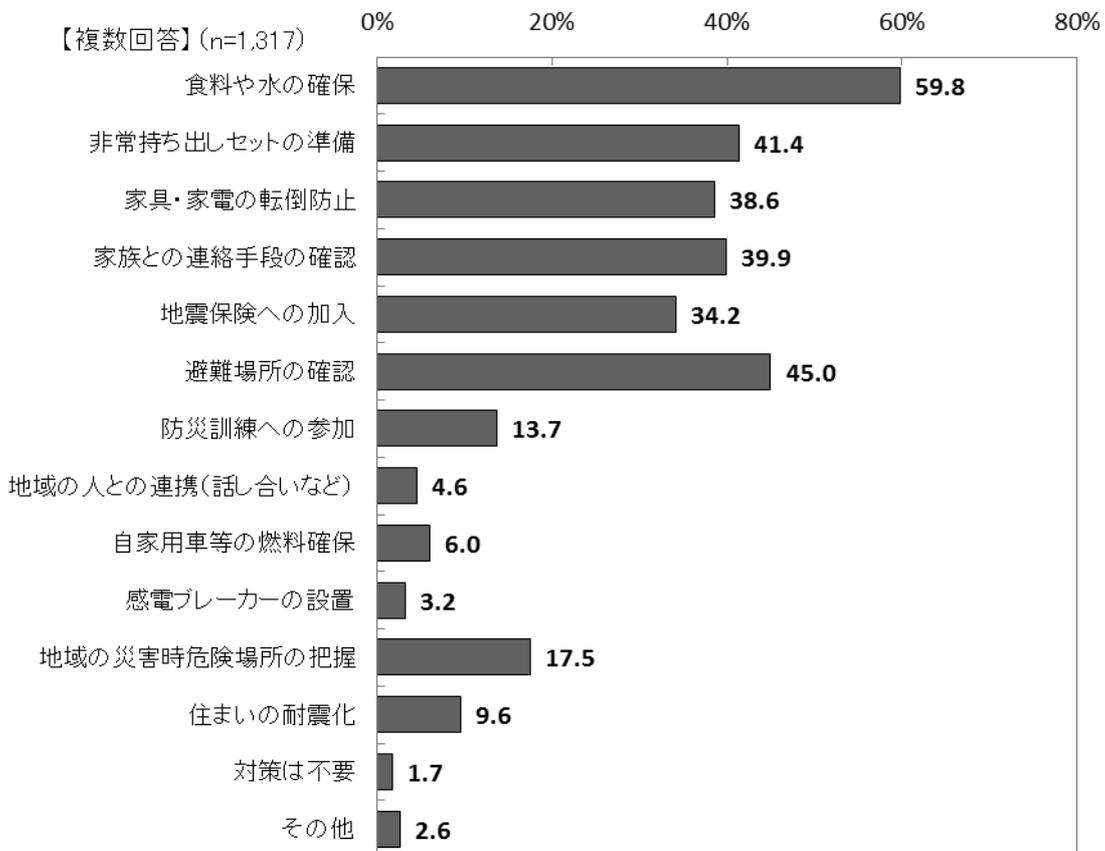
(1) 家庭での災害対策

問 33 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・「食料や水の確保」、「避難場所の確認」、「非常持ち出しセットの準備」であり、40%以上となっています。
- ・特に「食料や水の確保」については、59.8%と約60%の人が対策を取っています。
- ・「対策は不要」が最も低く1.7%となっています。

図表 79 家庭での災害対策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、30歳代～70歳代以上の約60%以上が、「食料や水の確保」の災害対策をとっています。一方で、10歳代～20歳代の「食料や水の確保」の災害対策をとっているのが、半数以下となっており、年代による差が見られます。
- ・年齢別の「防災訓練への参加」についてみると、歳を重ねるにつれ、災害対策として、防災訓練に参加するようになっています。
- ・年齢別の「防災訓練への参加」をみると、30歳代から歳を経るにつれて、回答が増加傾向にあります。

- ・年齢別の「対策は不要」についてみると、20歳代が6.2%と最も高く、次いで、70歳以上が3.2%と高くなっています。
- ・居住地区別の「食料や水の確保」についてみると、下戸田2地区が63.3%と最も高く、美女木地区が57.9%と最も低くなっています。
- ・家庭での災害対策について、○を付けた数は、平均で3.2個でした。○を付けなかった4.4%（○を付けた数が0のn=58）と、「対策は不要」と回答した1.7%を合わせた6.1%を除いた93.9%が何らかの対策を講じていました。

図表 80 家庭での災害対策(全体・性別・年齢・居住地区別)

		食料や水の確保	非常持ち出しセットの準備	家具・家電の転倒防止	家族との連絡手段の確認	地震保険への加入	避難場所の確認	防災訓練への参加	地域の人の連携（話し合いなど）	自家用車等の燃料確保	感電ブレーカーの設置	地域の災害時危険場所の把握	住まいの耐震化	対策は不要	その他
全体(1,317)		59.8	41.4	38.6	39.9	34.2	45.0	13.7	4.6	6.0	3.2	17.5	9.6	1.7	2.6
性別	男性(562)	56.9	39.5	37.2	37.9	34.3	42.9	13.2	5.7	8.9	4.6	17.8	10.1	2.7	3.2
	女性(755)	61.9	42.8	39.6	41.5	34.2	46.5	14.2	3.8	3.8	2.1	17.2	9.1	1.1	2.1
年齢別	16～19歳(32)	46.9	37.5	28.1	50.0	3.1	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3
	20～29歳(129)	48.8	31.0	30.2	39.5	20.2	40.3	3.1	3.1	3.9	0.0	9.3	3.9	6.2	1.6
	30～39歳(262)	61.1	41.2	38.2	36.6	33.6	40.8	10.3	1.1	5.0	1.1	16.4	11.1	0.4	1.9
	40～49歳(278)	61.2	46.0	45.0	38.1	41.4	47.1	14.4	3.2	7.6	2.5	17.6	6.8	1.4	3.2
	50～59歳(192)	59.9	37.5	34.9	38.5	34.9	39.6	12.0	2.6	8.3	1.0	20.3	8.3	1.0	3.6
	60～69歳(202)	61.9	41.1	41.1	45.5	40.6	52.0	17.8	7.9	5.4	5.9	21.8	12.4	0.5	2.0
	70歳以上(222)	62.6	45.9	38.3	41.0	32.4	49.1	22.5	10.8	5.9	8.1	17.6	13.5	3.2	2.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	58.8	40.6	37.0	35.2	29.7	52.1	13.3	4.2	7.3	4.2	17.6	11.5	1.8	2.4
	下戸田2地区(251)	63.3	46.6	37.1	39.8	44.2	44.2	15.5	5.6	4.0	3.2	17.9	10.4	1.2	1.6
	上戸田1地区(142)	59.9	45.1	39.4	47.2	32.4	52.1	11.3	4.2	12.0	4.9	19.0	8.5	2.1	3.5
	上戸田2地区(195)	65.1	47.2	40.0	44.1	34.4	39.5	15.9	1.5	4.1	1.0	14.4	7.2	2.6	1.5
	新曽地区(279)	52.7	35.5	40.5	40.9	31.5	39.4	10.4	4.3	4.7	2.5	17.6	9.7	1.8	3.2
	笹目地区(164)	62.2	37.2	36.0	33.5	32.9	45.1	15.9	7.3	7.9	2.4	20.7	7.3	1.2	1.2
	美女木地区(121)	57.9	37.2	39.7	38.0	29.8	49.6	14.9	5.8	5.0	5.8	14.9	13.2	1.7	5.8

図表 81 家庭での災害対策(○を付けた数とその人数及び平均値)

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
人数	58	253	272	264	148	135	90	55	18	15	3	1	4	1	3.2

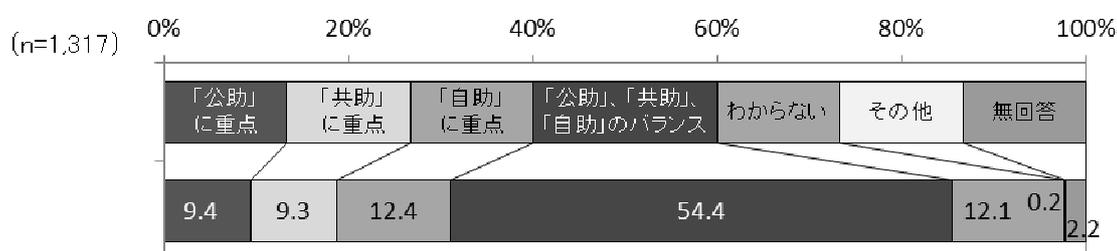
(2) 災害発生時に取るべき対応

問 34 災害が発生したときにその被害を軽減するために取る対応について、国や市による「公助」、地域の住民やボランティア、企業などの連携による「共助」、自ら身を守る「自助」というものがあります。災害発生時に取るべき対応として、この中からあなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・災害発生時に取るべき対応として、『「公助」、「共助」、「自助」のバランスのとれた対応をするべきである』が、54.4%を占めています。
- ・次いで、『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』が 12.4%と高くなっています。

図表 82 災害発生時に取るべき対応（全体）



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』は、男性は16.2%に対し、女性は9.5%と災害時の自助に対する意識の違いが見られました。
- ・年齢別にみると、災害発生時に取るべき対応として、70歳未満の年代で、約50%以上が『「公助」、「共助」、「自助」のバランスのとれた対応をするべきである』と回答しています。
一方で、『「公助」、「共助」、「自助」のバランスのとれた対応をするべきである』について、70歳以上は約40%にとどまっています。
- ・年齢別の『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』についてみると、30歳代が6.1%と低くなっています。
また、年齢別の『「公助」に重点を置いた対応をすべきである』についてみると、30歳代が13.4%、40歳代が12.6%と他に比べて高くなっています。
- ・居住地区別の『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』についてみると、上戸田2地区が17.9%と最も高く、新曽地区が9.3%と最も低くなっています。

図表 83 災害発生時に取るべき対応(全体・性別・年齢・居住地区別)

		を「公助」に重点を置いた対応	を「共助」に重点を置いた対応	を「自助」に重点を置いた対応	を助るべきである	「公助」のバランスが取れた対応	わからない	その他	無回答
全体(1,317)		9.4	9.3	12.4	54.4	12.1	0.2	2.2	
性別	男性(562)	10.7	8.7	16.2	51.1	10.7	0.2	2.5	
	女性(755)	8.5	9.7	9.5	56.8	13.2	0.3	2.0	
年齢別	16～19歳(32)	3.1	9.4	18.8	50.0	18.8	0.0	0.0	
	20～29歳(129)	8.5	10.1	16.3	48.8	15.5	0.0	0.8	
	30～39歳(262)	13.4	14.1	6.1	56.9	8.0	0.8	0.8	
	40～49歳(278)	12.6	9.0	10.1	58.6	9.0	0.0	0.7	
	50～59歳(192)	4.7	9.4	12.0	60.4	12.0	0.0	1.6	
	60～69歳(202)	7.4	4.0	15.3	57.4	13.9	0.0	2.0	
	70歳以上(222)	8.1	8.1	17.1	41.9	16.7	0.5	7.7	
居住地区別	下戸田1地区(165)	8.5	7.9	12.7	53.9	12.7	0.0	4.2	
	下戸田2地区(251)	9.6	9.6	10.0	57.0	11.6	0.4	2.0	
	上戸田1地区(142)	12.7	7.7	12.7	52.1	10.6	0.7	3.5	
	上戸田2地区(195)	10.3	10.3	17.9	53.8	7.2	0.0	0.5	
	新曽地区(279)	9.0	10.4	9.3	53.8	14.7	0.4	2.5	
	笹目地区(164)	9.8	7.9	14.0	54.3	12.8	0.0	1.2	
	美女木地区(121)	5.8	9.9	12.4	54.5	15.7	0.0	1.7	

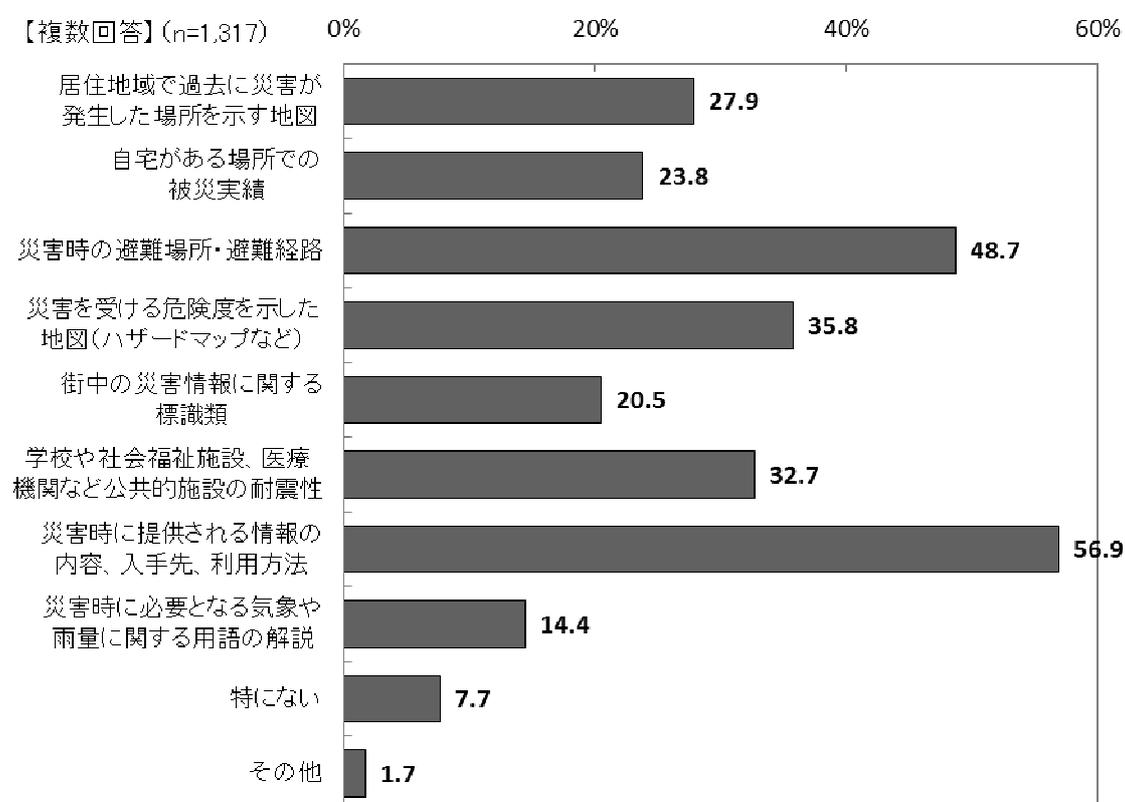
(3) 充実して欲しい防災情報

問 35 あなたが住んでいる地域で、災害の危険性に関する情報や災害対策に役立つ情報について、あなたが今より充実して欲しいものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・充実して欲しい防災情報について、最も高いものが「災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法」の 56.9%であり、次いで、「災害時の避難場所・避難経路」の 48.7%となっています。

図表 84 充実して欲しい防災情報(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別で「学校や社会福祉施設、医療機関など公共的施設の耐震性」について、男性が 27.2%に対し、女性が 36.8%となっています。
- ・年齢別にみると、20 歳代～60 歳代では「災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法」が、50%以上となっている一方で、16～19 歳では 34.4%となっています。また、「自宅がある場所での被災実績」については、20 歳代～70 歳代以上が約 20%であるのに対し、16～19 歳では、3.1%でした。
- ・居住地区別の「特にない」についてみると、美女木地区が 14.0%と最も高くなっています。
- ・充実してほしい防災情報について、○を付けた数は平均で 2.6 個でした。

図表 85 充実して欲しい防災情報(全体・性別・年齢・居住地区別)

		た居住場所を示す地図	居住地域で過去に災害が発生した	自宅がある場所での被災実績	災害時の避難場所・避難経路	災害を受ける危険度を示した地図(ハザードマップなど)	街中の災害情報に関する標識類	学校や社会的施設の耐震性、医療機関	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	災害時に必要となる用語の解説	気象や雨量	特になし	その他
全体(1,317)		27.9	23.8	48.7	35.8	20.5	32.7	56.9	14.4	7.7	1.7		
性別	男性(562)	29.4	23.3	47.9	37.5	21.9	27.2	52.1	12.1	9.8	2.0		
	女性(755)	26.9	24.1	49.4	34.6	19.5	36.8	60.5	16.2	6.2	1.5		
年齢別	16～19歳(32)	21.9	3.1	34.4	21.9	9.4	43.8	34.4	9.4	12.5	0.0		
	20～29歳(129)	20.9	19.4	44.2	33.3	18.6	30.2	55.0	15.5	14.0	0.0		
	30～39歳(262)	34.4	27.9	51.5	37.4	23.7	38.5	63.4	13.0	6.1	3.1		
	40～49歳(278)	28.4	21.2	47.1	34.2	18.3	36.0	65.8	9.7	5.0	1.8		
	50～59歳(192)	30.7	25.0	47.9	38.0	21.9	28.6	54.7	10.4	8.3	1.0		
	60～69歳(202)	21.3	21.8	49.0	38.1	19.3	32.2	56.4	16.3	8.4	0.0		
	70歳以上(222)	28.4	28.4	52.7	35.6	22.1	25.7	45.0	23.9	7.7	3.2		
居住地区別	下戸田1地区(165)	26.7	24.2	50.3	42.4	25.5	35.8	58.2	16.4	6.7	0.6		
	下戸田2地区(251)	29.9	23.5	47.8	30.3	22.3	36.3	59.4	14.7	7.2	2.0		
	上戸田1地区(142)	30.3	26.8	52.1	40.1	22.5	28.9	52.8	11.3	6.3	4.2		
	上戸田2地区(195)	25.1	23.1	51.3	40.5	16.9	32.3	60.0	17.4	7.7	0.5		
	新曽地区(279)	27.6	20.4	50.2	33.0	21.1	34.1	55.6	9.7	5.7	2.2		
	笹目地区(164)	29.9	26.8	42.1	31.7	15.9	26.8	54.9	16.5	9.8	1.2		
	美女木地区(121)	25.6	24.8	46.3	38.0	18.2	31.4	56.2	18.2	14.0	0.8		

図表 86 充実して欲しい防災情報(○を付けた数とその人数及び平均値)

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均
人数	134	256	328	265	143	82	43	19	45	2	2.6

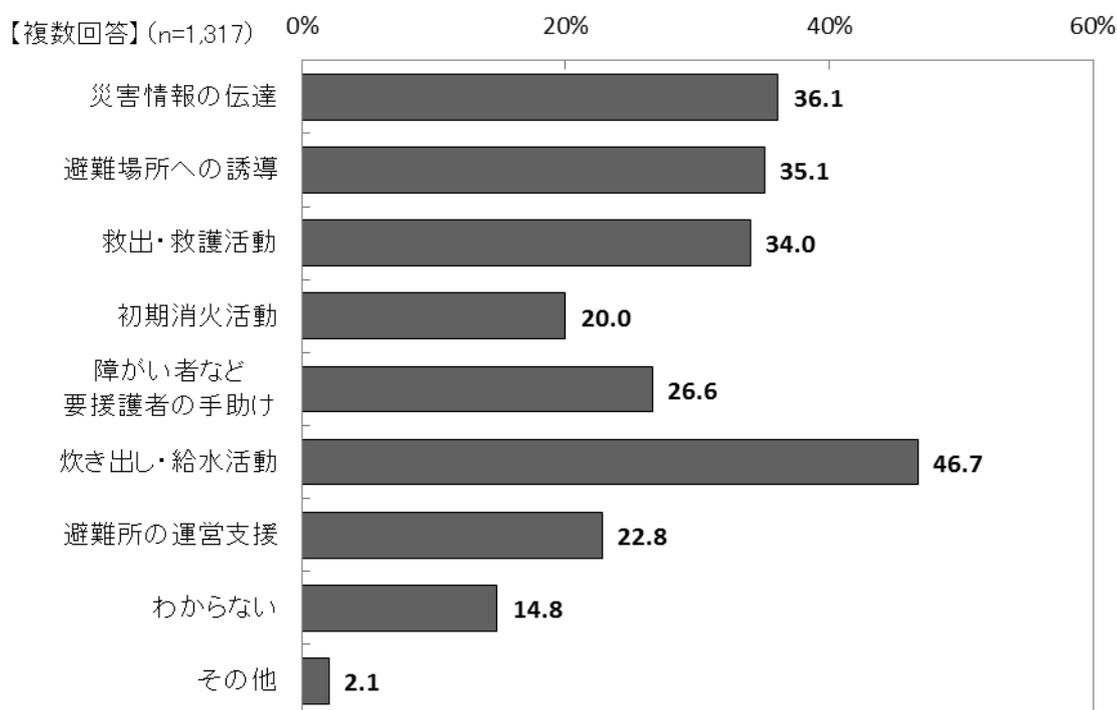
(4) 災害時に協力できる助け合い

問 36 万一、災害が起こった場合に、地域ぐるみで行う助け合いのうち、あなたはどのような協力をしたいと思いますか。家族の安否確認はできていることを前提に、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・「炊き出し・給水活動」が 46.7%と高くなっています。また、30%以上の回答となっているのは、「災害情報の伝達」で 36.1%、「避難場所への誘導」が 35.1%、「救出・救護活動」が 34.0%でした。

図表 87 災害時に協力できる助け合い(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、女性に比べて、男性が「救出・救護活動」が 47.3%と高くなっています。また、男性に比べて女性は、「炊き出し・給水活動」が 57.4%と高くなっています。
- ・年齢別にみると、「炊き出し・給水活動」は、30歳代が 53.1%と最も高くなっています。
- ・災害時に協力できる助け合いについて、〇を付けた平均は 2.2 個でした。

図表 88 災害時に協力できる助け合い(全体・性別・年齢・居住地区別)

		災害情報の伝達	避難場所への誘導	救出・救護活動	初期消火活動	障がい者など要援護者の手助け	炊き出し・給水活動	避難所の運営支援	わからない	その他
全体(1,317)		36.1	35.1	34.0	20.0	26.6	46.7	22.8	14.8	2.1
性別	男性(562)	37.5	38.8	47.3	30.6	30.2	32.4	27.4	12.8	1.8
	女性(755)	35.1	32.3	24.1	12.1	23.8	57.4	19.3	16.3	2.3
年齢別	16～19歳(32)	25.0	25.0	37.5	9.4	31.3	40.6	12.5	21.9	0.0
	20～29歳(129)	37.2	43.4	35.7	17.8	24.0	51.9	22.5	13.2	0.0
	30～39歳(262)	36.6	36.6	34.7	19.8	24.8	53.1	25.6	13.4	1.5
	40～49歳(278)	42.4	30.9	34.2	22.7	24.5	47.8	24.8	11.9	1.1
	50～59歳(192)	29.2	32.8	32.3	18.8	29.2	39.6	22.9	17.7	1.6
	60～69歳(202)	34.7	38.1	34.2	19.3	28.7	46.0	20.8	17.3	1.5
	70歳以上(222)	36.0	34.2	32.9	21.2	27.9	42.3	20.3	15.3	6.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	35.8	35.2	32.7	22.4	30.9	41.2	20.6	17.0	0.0
	下戸田2地区(251)	37.8	33.9	34.3	20.3	27.1	46.6	24.3	15.5	2.0
	上戸田1地区(142)	38.0	35.9	37.3	24.6	19.7	54.2	27.5	12.0	2.8
	上戸田2地区(195)	34.4	36.9	34.4	19.0	24.1	44.1	25.6	13.3	3.1
	新曽地区(279)	35.8	34.4	34.1	18.6	26.5	49.5	19.7	14.7	1.8
	笹目地区(164)	32.9	37.8	32.3	18.3	29.9	45.1	18.3	15.2	1.8
	美女木地区(121)	38.8	31.4	33.1	17.4	27.3	45.5	25.6	15.7	3.3

図表 89 災害時に協力できる助け合い(○を付けた数とその人数及び平均値)

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
人数	209	318	312	216	122	47	24	68	1	2.2

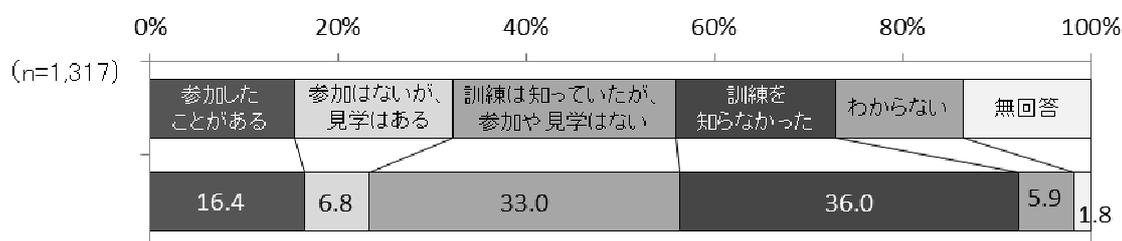
(5) 防災訓練への参加

【全体の回答傾向】

問 37 あなたは、ここ 5 年間で、市が行っている防災訓練に参加したり見学したりしたことがありますか。

- ・「訓練が行われていることを知らなかった」が 36.0%であり、最も高い回答となっています。また、「参加したことはないが、見学したことはある」(6.8%)、「訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したりしたことはない」(33.0%)、「訓練が行われていることを知らなかった」(36.0%) となっており、訓練に参加したことの割合が 75.8%となっています。

図表 90 防災訓練への参加(全体)



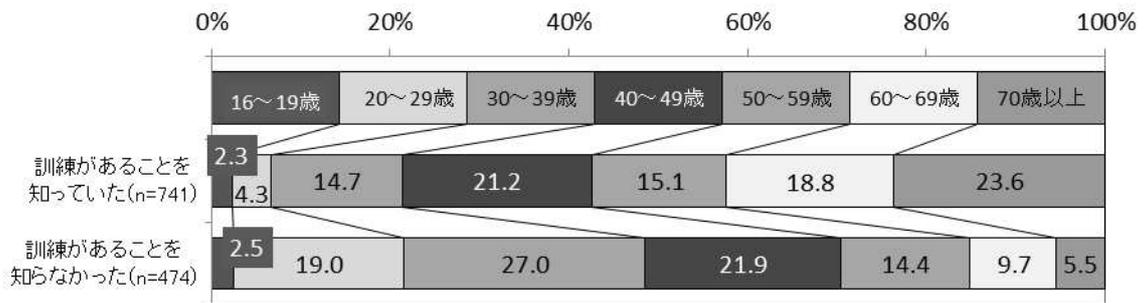
【属性別の回答傾向】

- ・年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ参加割合が高いことが分かります。
- ・居住地区別の「訓練が行われていることを知らなかった」についてみると、下戸田1地区(25.5%)、笹目地区(26.2%)が低く、上戸田2地区(42.6%)、新曽地区(41.9%)で高く、居住地区によって異なる傾向があります。
- ・居住地区別の「参加したことがある」についてみると、美女木地区(23.1%)と新曽地区(11.5%)で開きがあります。
- ・また、「訓練があることを知っていた」(「参加したことがある」、「参加したことはないが、見学したことはある」及び「訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない」の合計)と、「訓練が行われていることを知らなかった」を比較すると、20歳代～40歳代は、「訓練が行われていることを知らなかった」割合が高くなっています。また、雇用形態別では、「フルタイム正社員」の割合が高くなっています。通勤通学地別では、戸田市外に通勤通学している割合が59.3%と高くなっています。また、友人・知人の数別では、「0人」及び「1～5人」の割合が高くなっています。

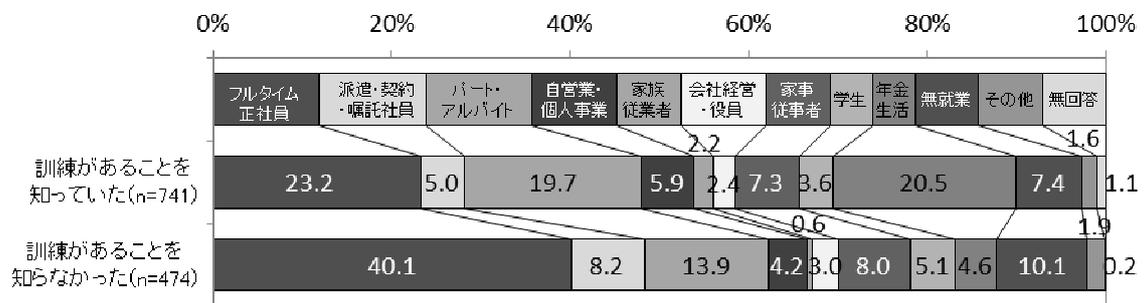
図表 91 防災訓練への参加(全体・性別・年齢・居住地区別)

		参加したことがある	学参加したことはあるが、見	見知訓練が行われたことは参加したことは	知訓練が行われていない	わからぬ	無回答
全体(1,317)		16.4	6.8	33.0	36.0	5.9	1.8
性別	男性(562)	14.6	6.6	30.4	39.1	6.9	2.3
	女性(755)	17.7	7.0	35.0	33.6	5.2	1.5
年齢別	16～19歳(32)	3.1	3.1	46.9	37.5	9.4	0.0
	20～29歳(129)	2.3	3.9	18.6	69.8	4.7	0.8
	30～39歳(262)	8.0	5.7	27.9	48.9	8.8	0.8
	40～49歳(278)	16.2	3.2	37.1	37.4	6.1	0.0
	50～59歳(192)	12.0	6.3	40.1	35.4	4.7	1.6
	60～69歳(202)	25.2	6.4	37.1	22.8	5.9	2.5
	70歳以上(222)	32.4	15.8	30.6	11.7	3.6	5.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	14.5	8.5	43.6	25.5	5.5	2.4
	下戸田2地区(251)	14.3	8.0	31.1	39.8	6.0	0.8
	上戸田1地区(142)	17.6	7.7	33.1	36.6	3.5	1.4
	上戸田2地区(195)	19.5	4.1	27.7	42.6	4.6	1.5
	新曽地区(279)	11.5	4.3	33.3	41.9	6.8	2.2
	笹目地区(164)	20.1	9.8	32.3	26.2	8.5	3.0
	美女木地区(121)	23.1	7.4	31.4	30.6	5.8	1.7

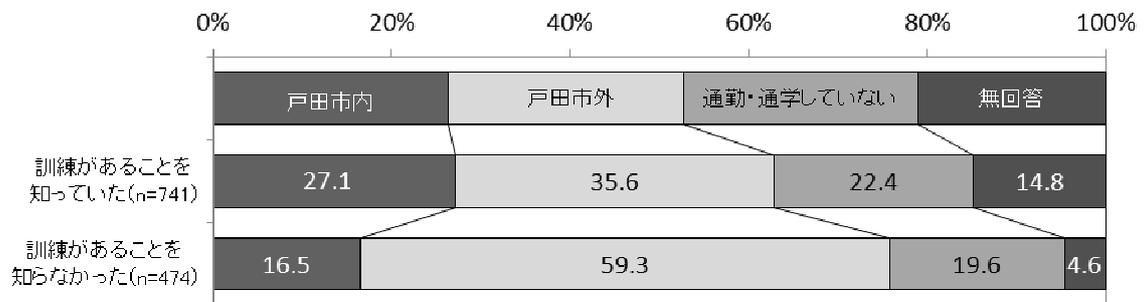
図表 92 防災訓練の認知(年齢別)



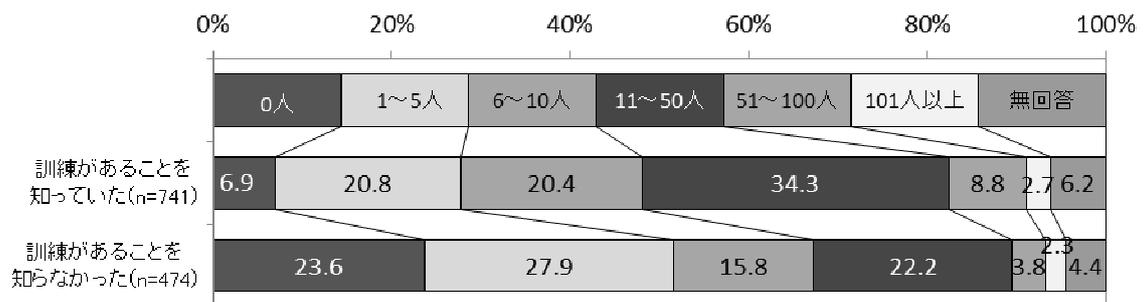
図表 93 防災訓練の認知(雇用形態別)



図表 94 防災訓練の認知(通勤通学地別)



図表 95 防災訓練の認知(友人・知人の数別)



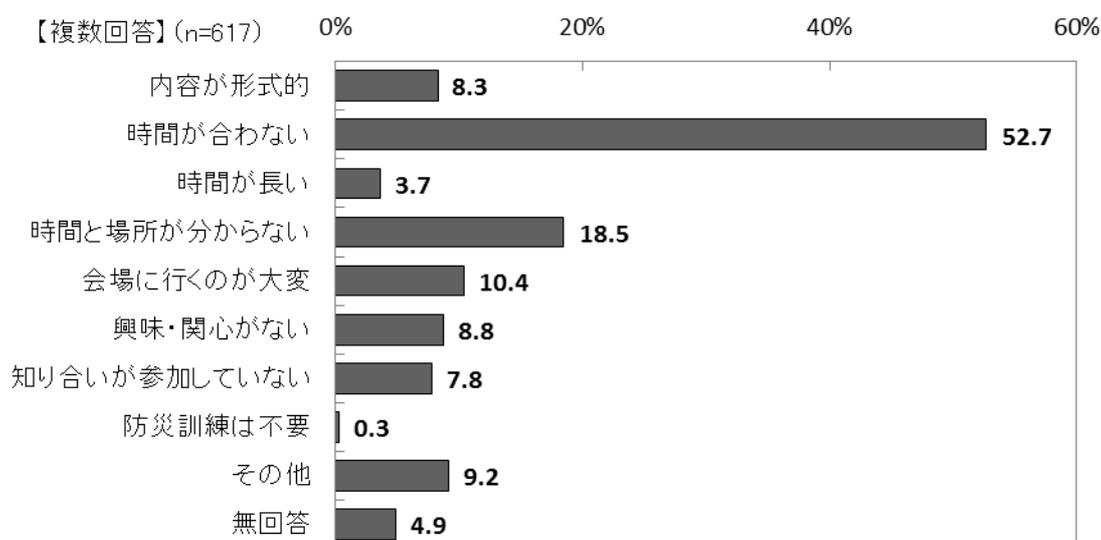
(6) 防災訓練への不参加理由

問 38 (問 37 で 2 か 3 と答えた方におたずねします。) あなたが参加できなかったのはなぜですか。あてはまる理由をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・防災訓練に参加できなかった理由として、「時間が合わない」(52.7%)が高くなっています。次いで、「時間と場所が分からない」(18.5%)が高くなっています。
- また、「防災訓練は不要」は、0.3%と最も低くなっています。

図表 96 防災訓練への不参加理由



【属性別の回答傾向】

- ・性別の「興味・関心がない」についてみると、男性が 12.0%であるのに対し、女性は 6.5%となっています。
- ・性別の「知り合いが参加していない」についてみると、男性が 5.2%であるのに対し、女性は 9.5%となっています。
- ・年齢別にみると 70 歳以上では、「時間が合わない」が 29.1%と突出して低くなっており、「会場に行くのが大変」が 18.9%と最も高くなっています。
- ・年齢別の 20 歳代をみると「時間と場所が分からない」が 40.0%と最も高くなっています。
- ・年齢別の「興味・関心がない」についてみると、16～19 歳では、18.8%と最も高くなっており、次いで 40 歳代が 11.9%と高くなっています。
- ・年齢別の「知り合いが参加していない」についてみると、50 歳代が 11.8%と最も高くなっています。
- ・居住地区別の「時間が合わない」についてみると、上戸田 1 地区の 58.2%が最も高く、下戸田 1 地区は 45.5%と最も低くなっています。

図表 97 防災訓練への不参加理由(全体・性別・年齢・居住地区別)

		内容が形式的	時間が合わない	時間が長い	時間と場所が分からない	会場に行くのが大変	興味・関心がない	知らないが参加して	防災訓練は不要	その他	無回答
全体(617)		8.3	52.7	3.7	18.5	10.4	8.8	7.8	0.3	9.2	4.9
性別	男性(249)	10.0	52.6	3.2	18.5	10.4	12.0	5.2	0.4	6.4	6.0
	女性(368)	7.1	52.7	4.1	18.5	10.3	6.5	9.5	0.3	11.1	4.1
年齢別	16～19歳(16)	0.0	50.0	0.0	37.5	0.0	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0
	20～29歳(35)	2.9	62.9	5.7	40.0	11.4	8.6	8.6	0.0	0.0	2.9
	30～39歳(105)	7.6	66.7	2.9	14.3	4.8	10.5	7.6	0.0	10.5	1.0
	40～49歳(126)	9.5	63.5	4.0	19.0	4.0	11.9	7.9	0.0	5.6	0.8
	50～59歳(102)	8.8	58.8	3.9	17.6	8.8	7.8	11.8	0.0	5.9	2.0
	60～69歳(106)	10.4	45.3	3.8	17.0	16.0	7.5	5.7	0.0	11.3	5.7
	70歳以上(127)	7.9	29.1	3.9	15.0	18.9	4.7	6.3	0.8	16.5	15.0
居住地区別	下戸田1地区(99)	7.1	45.5	3.0	24.2	13.1	9.1	5.1	0.0	9.1	6.1
	下戸田2地区(111)	14.4	55.0	5.4	20.7	7.2	6.3	8.1	0.0	7.2	1.8
	上戸田1地区(67)	6.0	58.2	4.5	14.9	9.0	6.0	6.0	0.0	17.9	4.5
	上戸田2地区(75)	5.3	56.0	4.0	17.3	10.7	12.0	6.7	0.0	6.7	4.0
	新曽地区(128)	8.6	56.3	3.1	17.2	8.6	9.4	9.4	0.0	6.3	5.5
	笹目地区(84)	7.1	48.8	3.6	10.7	11.9	9.5	11.9	0.0	11.9	7.1
	美女木地区(53)	5.7	47.2	1.9	24.5	15.1	9.4	5.7	3.8	9.4	5.7

9. 公共施設について

(1) 公共施設の維持方策

問 39

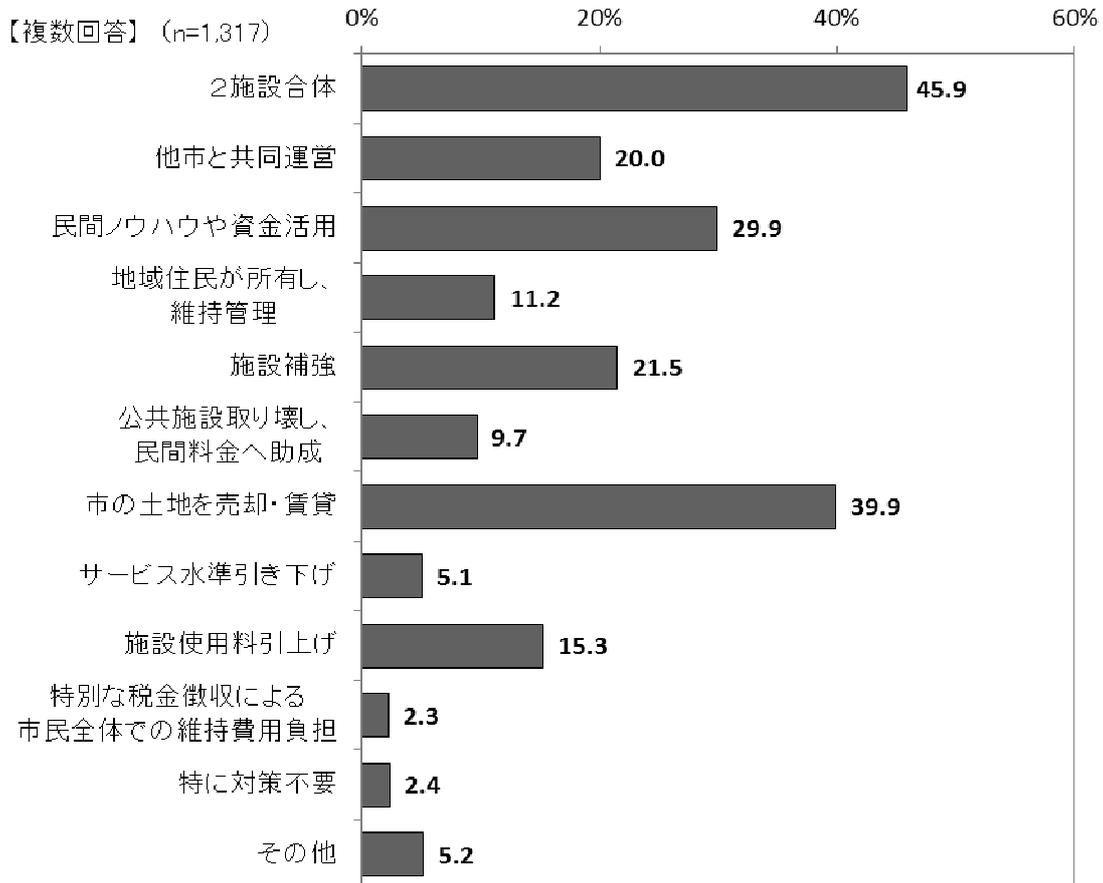
戸田市公共施設マネジメント白書（平成25年6月策定）により、今後の公共施設の維持・管理運営・建替えに莫大な費用がかかり、現状のままで施設を維持し続けていくことが困難であることが明らかとなりました。

以上のことを踏まえた上で、以下の方策について、あなたが良いと思うものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【全体の回答傾向】

- ・公共施設の維持方策について、「2つの施設を合体させる」（45.9%）が最も高く、次いで、「市の土地を売却・賃貸」（39.9%）となっています。

図表 98 公共施設の維持方策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、60歳代を除く全ての年齢で「2施設合体」が最も高くなっています。また、他の年代に比べ、30歳代は、「民間ノウハウや資金活用」が、40歳代は、「2施設合体」と「市の土地を売却・賃貸」が、70歳以上は、「地域住民が所有し、維持管理」と「施設補強」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、全ての居住地区で「2施設合体」が最も高く、特に、上戸田1地区は50%となっています。また、他の地域に比べ、笹目地区は、「地域住民が所有し、維持管理」が、美女木地区は、「公共施設取り壊し、民間料金へ助成」がそれぞれ高くなっています。

図表 99 公共施設の維持方策(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		2施設合体	他市と共同運営	民間ノウハウや資金活用	地域住民が所有し、維持管理	施設補強	公共施設取り壊し、民間料金へ助成	市の土地を売却・賃貸	サービス水準引き下げ	施設使用料引上げ	特別な税金徴収による市民負担	特に対策不要	その他
全体(1,317)		45.9	20.0	29.9	11.2	21.5	9.7	39.9	5.1	15.3	2.3	2.4	5.2
性別	男性(562)	47.9	23.5	32.2	11.9	20.1	12.3	39.3	6.4	16.7	3.4	2.0	5.5
	女性(755)	44.4	17.5	28.2	10.7	22.5	7.8	40.3	4.1	14.2	1.5	2.8	5.0
年齢別	16～19歳(32)	53.1	25.0	15.6	3.1	25.0	9.4	28.1	3.1	0.0	3.1	3.1	9.4
	20～29歳(129)	48.8	24.8	28.7	13.2	16.3	13.2	34.1	6.2	15.5	1.6	2.3	3.1
	30～39歳(262)	51.9	24.4	37.0	8.8	13.4	11.8	41.2	5.0	13.7	3.8	1.1	6.1
	40～49歳(278)	53.6	17.6	32.7	7.2	20.5	10.1	45.0	2.5	15.5	1.4	2.2	4.3
	50～59歳(192)	43.2	20.3	30.7	7.8	20.8	7.8	42.7	4.7	18.8	0.5	2.6	6.3
	60～69歳(202)	40.6	18.8	29.7	15.3	26.2	7.9	42.1	7.4	17.3	3.0	3.5	4.5
	70歳以上(222)	33.3	15.3	20.3	18.5	31.1	8.1	32.4	6.3	14.0	2.7	3.2	5.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	44.8	23.0	27.3	12.1	23.6	9.1	35.8	7.3	13.9	6.7	2.4	3.6
	下戸田2地区(251)	43.0	18.3	29.9	11.6	24.3	7.2	42.2	3.6	13.1	0.4	1.6	6.4
	上戸田1地区(142)	50.0	18.3	35.2	10.6	22.5	11.3	39.4	7.7	19.0	2.1	0.7	4.9
	上戸田2地区(195)	48.2	24.6	35.9	10.8	16.9	8.7	35.4	4.1	16.9	1.0	2.6	5.1
	新曽地区(279)	45.9	19.0	30.1	9.7	20.1	10.8	43.4	5.0	13.3	1.1	2.9	6.5
	笹目地区(164)	45.1	18.3	26.8	14.6	18.9	8.5	39.6	3.7	20.7	3.7	3.7	2.4
	美女木地区(121)	45.5	19.0	21.5	9.9	25.6	14.9	40.5	5.8	11.6	3.3	3.3	6.6

10. 戸田市の取り組みについて

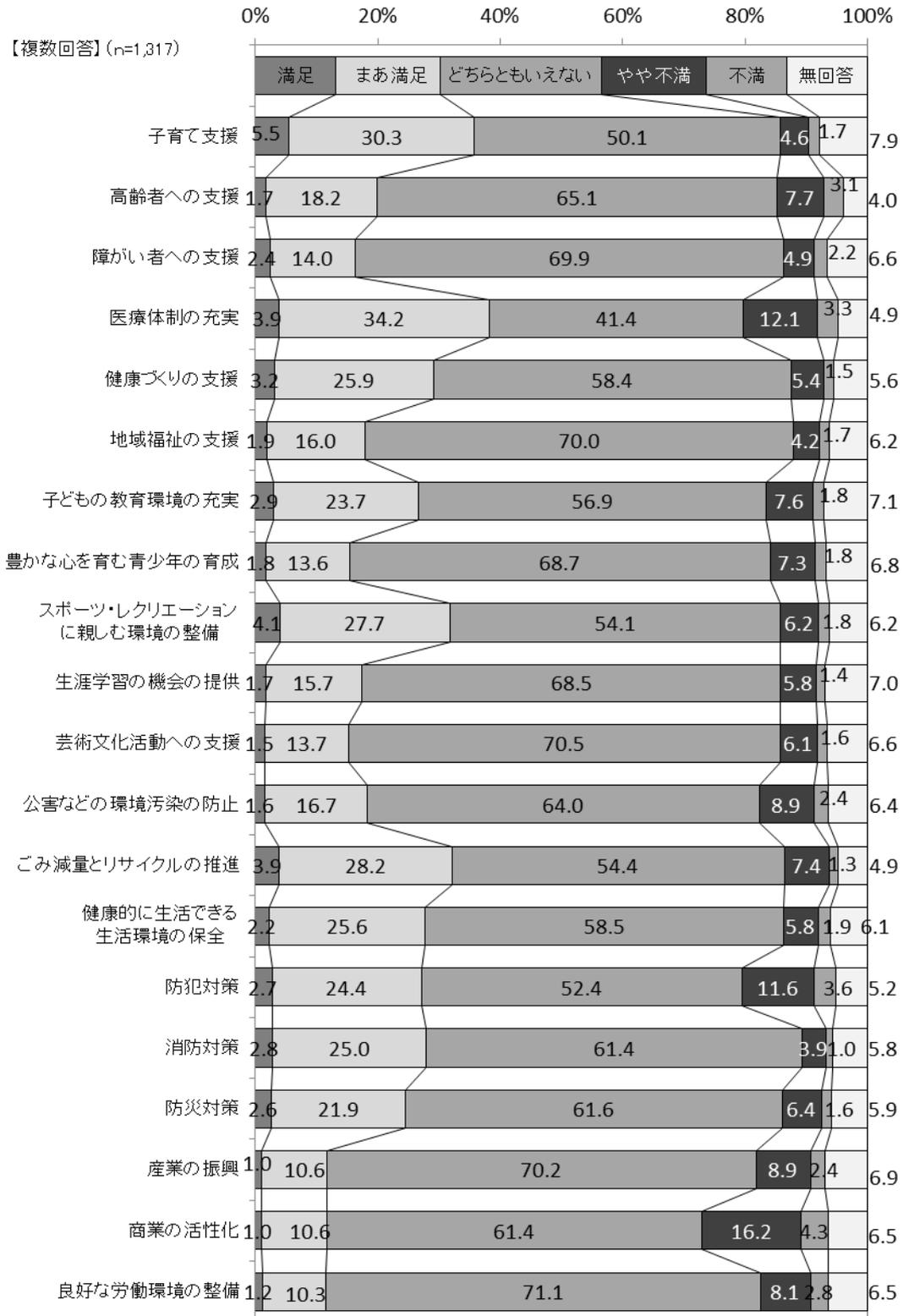
(1) 戸田市の取り組みへの満足度

問 40 次に示す取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか。項目ごとに、「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。
(項目ごとに○は1つずつ)

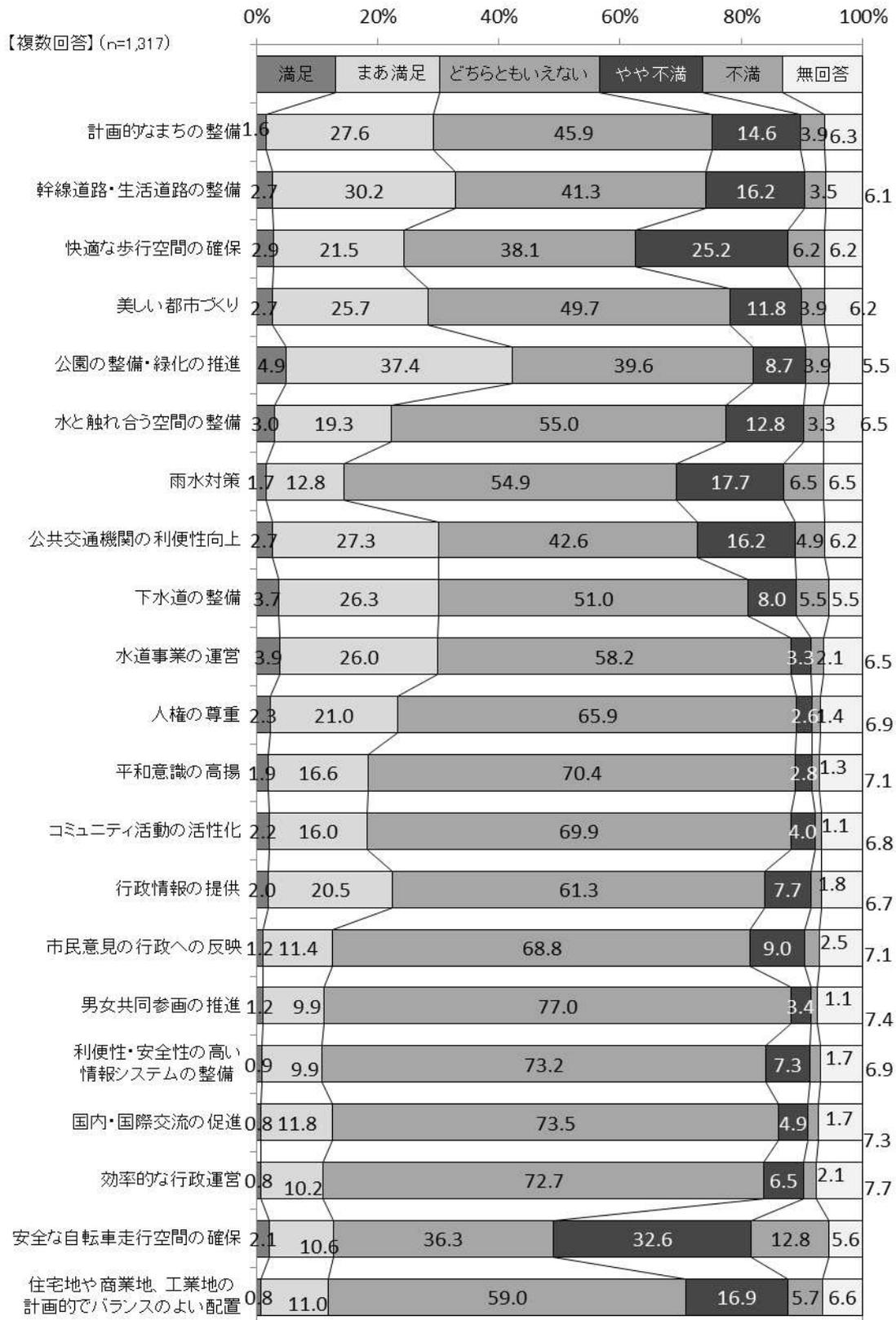
【全体の回答傾向】

- ・「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度が最も高いのは、「公園の整備・緑化の推進」(42.3%)であり、次いで「医療体制の充実」(38.1%)と「子育て支援」(35.8%)でした。
- ・一方、「不満」と「やや不満」を合わせたものが最も高いのは、「安全な自転車走行空間の確保」で45.4%となっています。次いで、「快適な歩行空間の確保」(31.4%)、「雨水対策」(24.2%)となっています。

図表 100-1 戸田市の取り組みへの満足度(全体)



図表 100-2 戸田市の取り組みへの満足度(全体)つづき



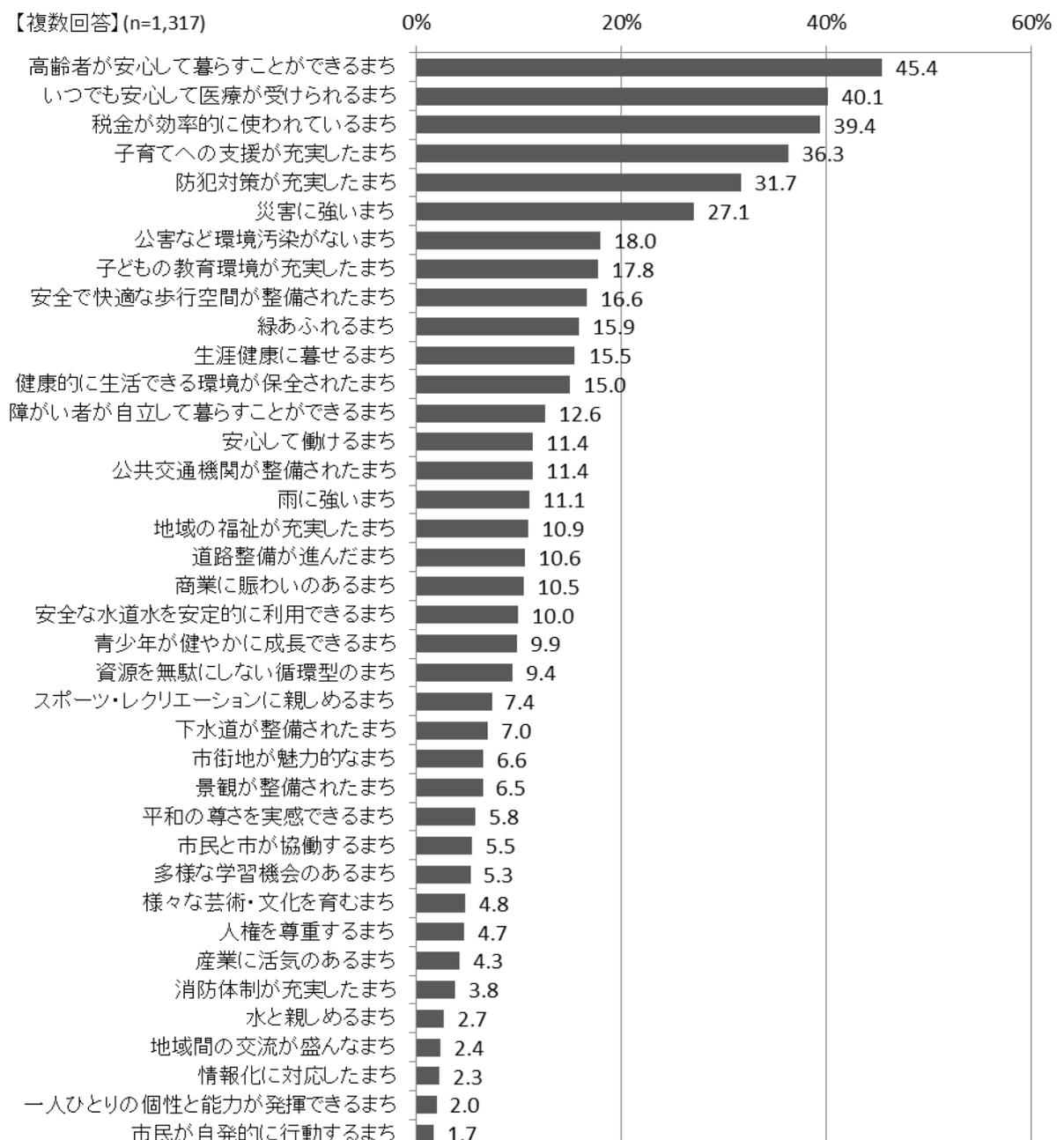
(2) 今後重要だと思う取り組み

問 41 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか。今後重要であると思うものを5つまで選んでください。
(○は5つ)

【本設問の留意点】

- ・本設問に回答する際の意識として、「現状に不満があり、今後推進してほしい重要な分野」という意識と、「現状取組が進んでいるものの、今後より一層推進してほしい重要な分野」という意識があります。したがって、本設問の結果が一概に各分野の進捗状況を示すものではないことに留意が必要です。

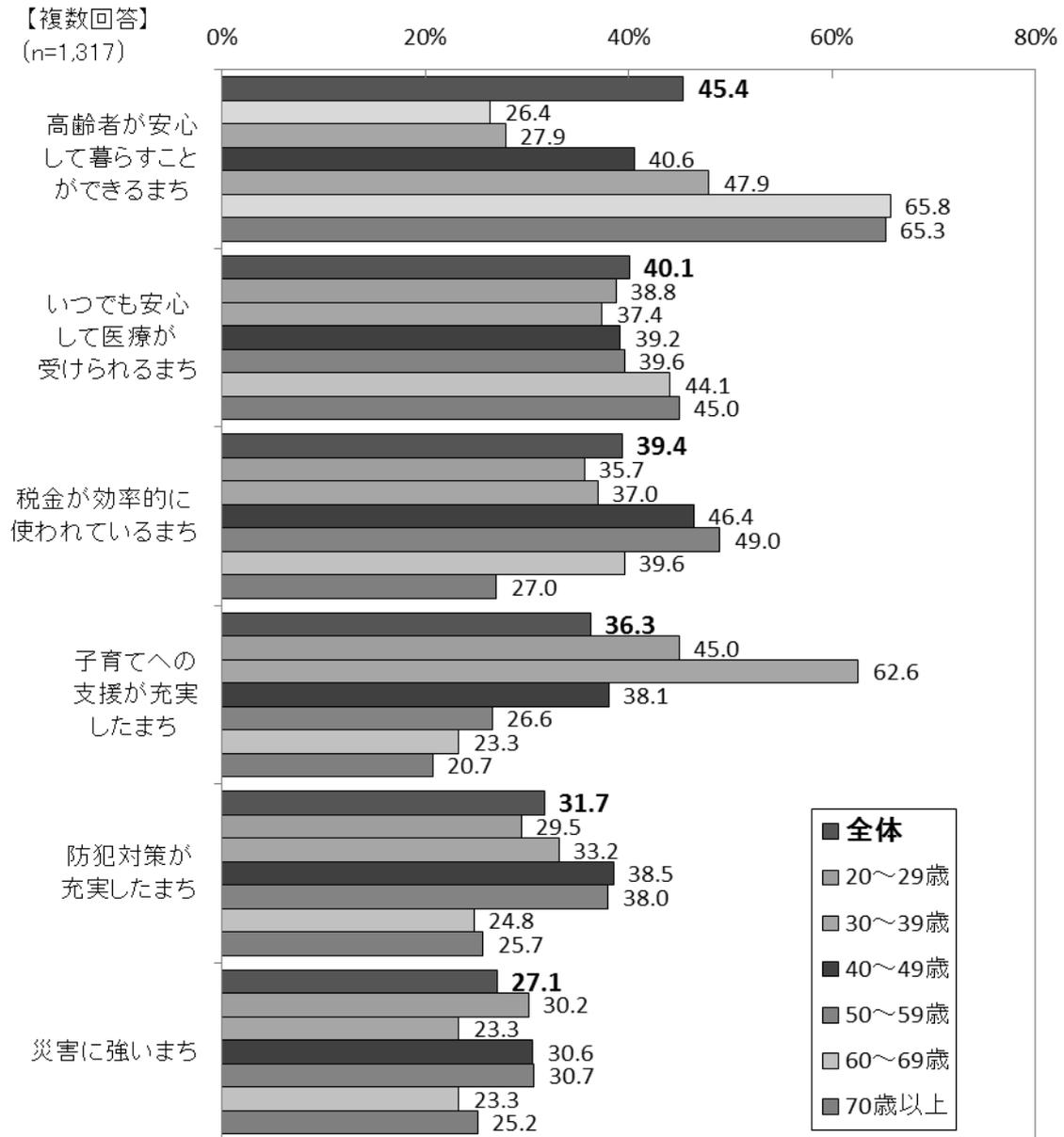
図表 101 今後重要だと思う取り組み(全体)



【全体の回答傾向】

- ・今後重要だと思う取り組み（複数回答）としては、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」（45.4%）が最も多く、次いで「いつでも安心して医療が受けられるまち」（40.1%）、「税金が効率的に使われているまち」（39.4%）、「子育てへの支援が充実したまち」（36.3%）、「防犯対策が充実したまち」（31.7%）、「災害に強いまち」（27.1%）となっています。

図表 102 今後重要だと思う上位6項目の取組（年齢別）



【今後重要だと思う上位6項目の取組（属性別の回答傾向）】

- ・年齢別に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」及び「いつでも安心して医療が受けられるまち」では、60歳代と70歳代で高くなっており、年齢とともに高くなる傾向が見られます。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、50歳代で高く（49.0%）、次いで40歳代（46.4%）でした。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、30歳代が62.6%と最も高く、20歳代（45.0%）、40歳代（38.1%）の順に高くなっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、40歳代が最も高く（38.5%）、次いで50歳代（38.0%）、30歳代（33.2%）となっています。
- ・「災害に強いまち」は、20歳代、40歳代及び50歳代で30%を超えています。
- ・居住地区別に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」及び「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、笹目地区、美女木地区及び下戸田1地区で高くなっています。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、下戸田2地区と新曽地区及び上戸田2地区で40%を超えています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、上戸田2地区（41.0%）、下戸田2地区（39.8%）、及び笹目地区（37.2%）で高くなっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、上戸田1地区（40.1%）が最も高く、次いで上戸田2地区（34.9%）が高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、上戸田1地区（29.6%）、上戸田2地区（29.2%）及び下戸田2地区（29.1%）で高くなっています。

【その他の属性別の回答傾向】

- ・「(5)生涯健康に暮せるまち」や「(6)地域の福祉が充実したまち」を見ると、年齢別では、いずれも50歳代以上で高くなっています。また、居住地区別では、いずれも下戸田2地区で最も高くなっています。
- ・「(7)子どもの教育環境が充実したまち」では、年齢別では20歳代から40歳代で高くなっており、居住地区別で見ると、下戸田2地区、上戸田1地区、新曽地区で高くなっています。
- ・「(8)青少年が健やかに成長できるまち」は、居住地区別で見ると下戸田2地区、上戸田2地区、笹目地区、で高くなっています。

図表 103-1 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
		子育てへの支援が充実したまち	高齢者が安心して暮らすことができるまち	障害者が自立して暮らすことができるまち	いつまでも安心して暮らせるまち	生涯健康に暮せるまち	地域の福祉が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	青少年が健やかに成長できるまち	スポーツ・レクリエーションに親しめるまち	多様な学習機会のあるまち	様々な芸術・文化を育むまち	公害など環境汚染がないまち	資源を無駄にしない循環型のまち
全体(1,317)		36.3	45.4	12.6	40.1	15.5	10.9	17.8	9.9	7.4	5.3	4.8	18.0	9.4
性別	男性(562)	37.0	45.6	14.1	36.5	15.3	10.1	15.5	7.1	8.9	3.9	3.6	17.8	7.7
	女性(755)	35.8	45.3	11.5	42.8	15.6	11.5	19.6	12.1	6.4	6.4	5.7	18.1	10.7
年齢別	16～19歳(32)	18.8	25.0	3.1	18.8	12.5	3.1	9.4	12.5	12.5	6.3	9.4	15.6	12.5
	20～29歳(129)	45.0	26.4	8.5	38.8	10.1	4.7	26.4	11.6	10.1	10.9	10.1	16.3	7.0
	30～39歳(262)	62.6	27.9	10.3	37.4	10.7	6.5	32.8	10.3	8.4	5.3	3.1	13.7	8.4
	40～49歳(278)	38.1	40.6	12.6	39.2	13.3	9.0	18.0	11.9	7.2	4.3	2.9	20.1	5.0
	50～59歳(192)	26.6	47.9	13.0	39.6	19.8	14.1	12.5	5.2	9.9	5.7	6.3	23.4	14.1
	60～69歳(202)	23.3	65.8	14.9	44.1	20.3	12.4	8.9	11.9	4.0	4.0	4.5	18.3	10.4
	70歳以上(222)	20.7	65.3	16.7	45.0	19.4	19.4	9.0	8.1	5.4	4.1	4.5	16.7	12.2
居住地区別	下戸田1地区(165)	33.3	47.9	12.1	41.2	15.8	10.9	14.5	6.7	4.2	3.0	5.5	16.4	13.9
	下戸田2地区(251)	39.8	43.0	12.7	39.8	17.5	13.5	21.5	12.7	6.8	5.2	4.0	15.5	11.2
	上戸田1地区(142)	35.2	43.0	8.5	31.0	16.9	9.9	23.2	6.3	8.5	7.0	9.9	23.9	8.5
	上戸田2地区(195)	41.0	47.7	12.3	37.9	14.4	8.7	15.9	10.3	9.2	7.2	4.6	23.6	9.2
	新曽地区(279)	35.1	41.6	11.8	38.7	14.0	10.8	17.9	9.3	9.0	6.8	4.3	14.3	7.2
	笹目地区(164)	37.2	50.6	18.9	48.8	15.9	10.4	15.2	14.0	7.3	3.0	4.9	14.6	6.1
	美女木地区(121)	28.1	47.9	11.6	44.6	14.0	11.6	14.9	8.3	5.8	3.3	0.8	22.3	10.7

- ・「(14)健康的に生活できる環境が保全されたまち」では、年齢別に見ると、50歳代が最も高く、次いで70歳以上が高くなっています。居住地区別にみると、上戸田1地区と笹目地区で高くなっています。
- ・「(23)安全で快適な歩行空間が整備されたまち」では、年齢別に見ると、10歳代が高くなっており、地区別では特に上戸田2地区が高くなっています。
- ・「(25)緑あふれるまち」は、年齢別では30歳代以下の若年層の割合が高くなっており、居住地区別にみると、新曽地区が最も高く、次いで、笹目地区、上戸田1地区が高くなっています。

図表 103-2 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		(14) 境健康 が保的 全に生 活た でき る環 境	(15) ち防 犯 対 策 が 充 実 し た ま ま	(16) ち消 防 体 制 が 充 実 し た ま ま	(17) 災 害 に 強 い ま ち	(18) 産 業 に 活 気 の あ る ま ち	(19) ち商 業 に 賑 わ い の あ る ま ち	(20) 安 心 し て 働 け る ま ち	(21) 市 街 地 が 魅 力 的 な ま ち	(22) 道 路 整 備 が 進 ん だ ま ち	(23) が安 全 で 快 適 な 歩 行 空 間	(24) 景 観 が 整 備 さ れ た ま ち	(25) 緑 あ ふ れ る ま ち	(26) 水 と 親 し め る ま ち
全体(1,317)		15.0	31.7	3.8	27.1	4.3	10.5	11.4	6.6	10.6	16.6	6.5	15.9	2.7
性別	男性(562)	14.4	33.5	4.4	29.4	5.7	11.7	9.3	7.3	11.6	15.7	8.0	14.8	2.8
	女性(755)	15.4	30.3	3.3	25.4	3.3	9.5	13.0	6.1	9.8	17.2	5.4	16.8	2.5
年齢別	16～19歳(32)	15.6	15.6	3.1	31.3	3.1	9.4	12.5	18.8	15.6	34.4	18.8	21.9	6.3
	20～29歳(129)	10.9	29.5	4.7	30.2	2.3	15.5	17.8	7.0	14.0	17.1	8.5	18.6	3.1
	30～39歳(262)	14.1	33.2	2.3	23.3	5.0	13.0	14.1	7.3	9.9	16.4	6.1	19.5	5.7
	40～49歳(278)	14.4	38.5	3.2	30.6	4.7	9.4	10.4	9.0	11.5	16.2	6.1	12.2	0.7
	50～59歳(192)	17.7	38.0	5.2	30.7	4.7	12.5	13.0	7.3	12.5	16.7	9.4	18.8	2.6
	60～69歳(202)	15.3	24.8	3.0	23.3	4.0	5.9	8.9	3.5	7.4	14.4	5.0	14.9	1.5
	70歳以上(222)	16.2	25.7	5.4	25.2	4.5	8.6	6.3	3.2	8.6	16.2	3.6	12.6	1.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	14.5	29.7	4.8	26.1	4.8	12.7	10.3	6.1	6.7	15.8	4.2	11.5	1.8
	下戸田2地区(251)	15.5	29.9	4.4	29.1	4.8	13.9	9.6	4.0	8.0	15.9	6.0	12.7	3.6
	上戸田1地区(142)	18.3	40.1	4.2	29.6	4.9	12.7	9.9	12.0	10.6	10.6	9.2	16.9	3.5
	上戸田2地区(195)	10.3	34.9	3.6	29.2	4.1	8.7	10.3	5.1	7.2	24.1	8.2	15.4	2.6
	新曽地区(279)	13.6	30.5	2.9	22.9	3.2	11.5	10.8	9.0	16.5	16.1	8.2	19.4	2.2
	笹目地区(164)	18.9	28.0	3.7	28.7	5.5	6.7	14.6	5.5	12.2	16.5	3.7	18.9	1.8
	美女木地区(121)	15.7	30.6	3.3	25.6	3.3	3.3	17.4	5.0	10.7	14.9	5.0	16.5	3.3

- ・「(27)雨に強いまち」は、40歳代と50歳代が高くなっており、居住地区別では、新曽地区、下戸田2地区が他地区と比べて高くなっています。
- ・「(28)公共交通機関が整備されたまち」では、40歳代と50歳代が高くなっており、居住地区別では、笹目地区が最も高く、次いで下戸田2地区、美女木地区が高くなっています。
- ・「(29)下水道が整備されたまち」では、50歳代以上が高くなっており、居住地区別では、新曽地区、上戸田1地区が高くなっています。

図表 103-3 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)
		雨に強いまち	公共交通機関が整備されたまち	下水道が整備されたまち	安全な水道水を安定的に利用できるまち	人権を尊重するまち	平和の尊さを実感できるまち	市民が自発的に行動するまち	市民と市が協働するまち	一人ひとりの個性と能力が発揮できるまち	情報化に対応したまち	地域間の交流が盛んなまち	税金が効率的に使われるまち
全体(1,317)		11.1	11.4	7.0	10.0	4.7	5.8	1.7	5.5	2.0	2.3	2.4	39.4
性別	男性(562)	13.0	12.6	8.2	7.8	4.1	5.0	2.1	6.0	2.1	3.7	2.3	36.7
	女性(755)	9.7	10.5	6.1	11.7	5.2	6.4	1.5	5.2	1.9	1.2	2.5	41.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	9.4	6.3	6.3	0.0	6.3	3.1	12.5	9.4	0.0	9.4	40.6
	20～29歳(129)	9.3	13.2	1.6	5.4	6.2	7.0	0.8	5.4	0.8	6.2	4.7	35.7
	30～39歳(262)	8.0	8.4	5.7	5.3	1.5	3.4	1.5	4.6	4.2	1.1	1.5	37.0
	40～49歳(278)	16.5	17.6	5.0	9.7	3.2	2.5	1.4	3.6	0.4	2.2	1.4	46.4
	50～59歳(192)	13.5	13.5	9.9	9.9	3.6	6.8	2.6	5.2	1.6	3.1	1.6	49.0
	60～69歳(202)	8.9	9.4	7.9	12.4	5.4	7.9	1.0	6.4	2.5	2.5	2.5	39.6
	70歳以上(222)	9.5	6.3	10.8	17.1	10.4	9.0	2.7	7.7	0.9	0.9	3.2	27.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	7.3	6.7	5.5	15.2	7.9	7.3	1.8	5.5	2.4	1.8	1.2	37.6
	下戸田2地区(251)	12.4	12.7	6.4	7.2	4.8	4.4	0.8	2.8	1.2	3.6	2.4	43.4
	上戸田1地区(142)	9.9	8.5	8.5	7.7	4.2	7.0	3.5	8.5	2.1	0.7	1.4	39.4
	上戸田2地区(195)	9.2	10.3	3.6	9.2	2.6	5.1	1.5	3.1	1.0	3.1	2.1	40.5
	新曽地区(279)	15.8	11.8	12.9	9.3	3.6	5.4	1.1	6.8	1.4	3.2	2.2	41.2
	笹目地区(164)	9.8	16.5	6.7	12.2	6.7	6.7	1.8	6.1	3.0	0.6	3.7	31.7
	美女木地区(121)	9.1	12.4	0.8	11.6	4.1	5.8	3.3	8.3	4.1	0.8	5.0	38.0

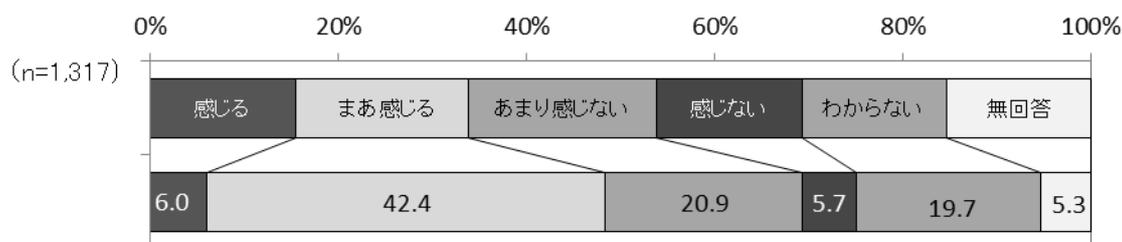
(3) 戸田市らしいまちづくり

問 42 あなたは、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じますか？（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・全体の傾向で見ると、「感じる」(6.0%)、「まあ感じる」(42.4%)を合わせると48.4%となり、約50%が戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じています。

図表 104 戸田市らしいまちづくり(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は44.1%、女性は51.5%となっており、女性の方が7.4ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、40歳代までの年代では、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、50%以上となっているのに対し、50歳代以上の年代では、約40%にとどまっています。また、70歳以上では、「感じる」が13.5%と高くなっているのが特徴的です。
- ・居住地区別にみると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、新曽地区の54.1%が最も高くなっており、次いで、上戸田2地区の53.4%となっています。また、下戸田1地区では、39.4%と低くなっています。

図表 105 戸田市らしいまちづくり(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体(1,317)		6.0	42.4	20.9	5.7	19.7	5.3
性別	男性(562)	3.9	40.2	21.7	8.2	20.3	5.7
	女性(755)	7.5	44.0	20.3	3.8	19.3	5.0
年齢別	16～19歳(32)	15.6	50.0	3.1	6.3	21.9	3.1
	20～29歳(129)	7.0	43.4	20.2	3.9	22.5	3.1
	30～39歳(262)	4.2	47.7	17.9	6.5	22.1	1.5
	40～49歳(278)	3.2	48.9	23.4	6.8	16.2	1.4
	50～59歳(192)	1.6	38.5	26.6	9.4	20.3	3.6
	60～69歳(202)	5.9	36.6	24.8	3.5	20.8	8.4
	70歳以上(222)	13.5	34.7	15.8	3.2	18.0	14.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	7.3	32.1	27.3	3.6	24.2	5.5
	下戸田2地区(251)	5.6	41.8	23.5	3.2	20.7	5.2
	上戸田1地区(142)	5.6	42.3	19.7	9.2	18.3	4.9
	上戸田2地区(195)	3.1	50.3	18.5	7.2	17.9	3.1
	新曽地区(279)	6.8	47.3	17.2	6.8	16.5	5.4
	笹目地区(164)	6.1	37.2	22.0	4.9	22.6	7.3
	美女木地区(121)	8.3	40.5	19.0	5.8	19.8	6.6

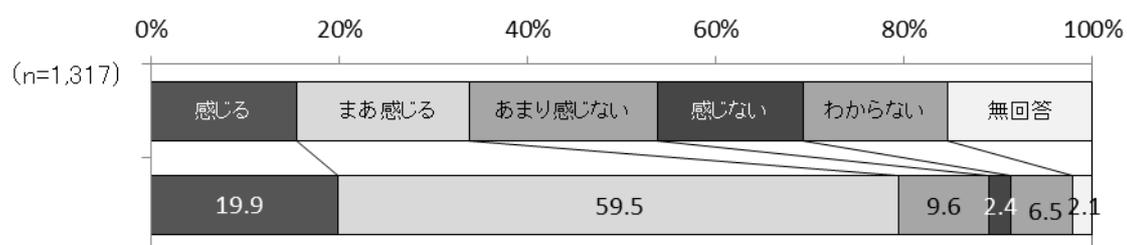
(4) 幸せ実感

問 43 総合的に考えて、あなたは、今、幸せだと感じていますか (○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・全体別にみると、「感じる」(19.9%)と「まあ感じる」(59.5%)を合わせた肯定的な意見が、79.4%となっています。

図表 106 幸せ実感(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別でみると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は 73.0%、女性は 84.2%となっています。
- ・年齢別にみると、肯定的な意見が最も多いのは 16~19 歳の 90.7%で、次いで 30 歳代が 85.9%でした。一方、60 歳代が 71.8%と最も低くなっています。
- ・居住地区別にみると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が最も高いのが上戸田 2 地区の 83.6%で、下戸田 1 地区が 70.9%と最も低くなっています。

図表 107 幸せ実感(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体(1,317)		19.9	59.5	9.6	2.4	6.5	2.1
性別	男性(562)	17.3	55.7	13.2	3.7	7.5	2.7
	女性(755)	21.9	62.3	7.0	1.5	5.8	1.6
年齢別	16～19歳(32)	34.4	56.3	0.0	0.0	9.4	0.0
	20～29歳(129)	28.7	55.8	5.4	1.6	7.8	0.8
	30～39歳(262)	25.6	60.3	6.1	1.9	5.7	0.4
	40～49歳(278)	20.9	61.9	9.0	3.2	5.0	0.0
	50～59歳(192)	9.4	65.6	14.1	4.7	5.2	1.0
	60～69歳(202)	14.9	56.9	14.4	1.5	9.9	2.5
	70歳以上(222)	18.5	55.0	10.4	1.8	6.3	8.1
居住地区別	下戸田1地区(165)	21.2	49.7	13.3	6.1	6.1	3.6
	下戸田2地区(251)	15.1	66.9	8.4	2.0	6.0	1.6
	上戸田1地区(142)	21.8	58.5	10.6	2.1	4.9	2.1
	上戸田2地区(195)	22.1	61.5	7.2	1.0	6.2	2.1
	新曽地区(279)	20.8	57.7	9.7	2.5	7.5	1.8
	笹目地区(164)	20.1	57.3	11.0	1.2	8.5	1.8
	美女木地区(121)	19.8	62.0	8.3	2.5	5.8	1.7